

道府縣	公立				私立	通計	豫算	藏書冊數	閱覽人員
	道府縣立	市立	町村立	組合立					
道									
府									
縣									
歌									
分									
本									
崎									
賀									
岡									
知									
媛									
川									
島									
口									
島									
山									
根									
取									
山									
良									
庫									
阪									
都									
賀									
重									
知									
岡									
阜									

全國公私圖書館數累年比較表  
同 藏書冊數、閱覽人員累年比較表

(文部省社會教育局調查)

年 度	公立				合 計	藏書冊數	一館平均藏書冊數	閱覽人員	閱一日一館平均
	道府縣立	市立	町村立	組合立					
道									
府									
縣									
總	三九	二八	三、〇八八	一四	三、二六九	一、六二二	四、八八一	二、〇五六、七〇八	一〇、九九三、三九四
神									
鹿									
宮									
兒	一	一	二	一	三	三	一	一五、〇〇〇	八三、七〇〇
總	一	一	二	一	三	三	一	三〇、三八三	一三、七九三
計	二	二	三	二	五	四	二	五、八八四	二六、八二〇
昭									
和									
八									
年									
度									
昭									
和									
七									
年									
度									
昭									
和									
六									
年									
度									
昭									
和									
五									
年									
度									
昭									
和									
四									
年									
度									
昭									
和									
三									
年									
度									
昭									
和									
二									
年									
度									
昭									
和									
元									
年									
度									
大									
正									
十									
三									
年									
度									
大									
正									
十									
四									
年									
度									
大									
正									
十									
三									
年									
度									

出版圖書新聞廣告行數累年比較表

—單位千行— (日本電報通信社調査)

新 聞 名	大正十四年	大正十五年	昭和元年	昭和二年	昭和三年	昭和四年	昭和五年	昭和六年	昭和七年	昭和八年
東京十二新聞	五,五二五	六,六四七	六,六四七	七,五八九	八,一九一	六,五八八	七,一六三	六,三三四	六,二二五	七,一七九
大阪三新聞	一,六六九	一,九六五	三,四一〇	三,四一〇	三,八三九	三,五〇一	三,三七八	三,二一九	三,〇九九	三,三三六
合 計	七,一九二	八,六一二	九,九九九	一一,〇〇〇	一二,〇三〇	一〇,〇八九	一〇,五四一	九,五〇一	八,三二四	九,五〇五

出版圖書新聞廣告行數順位累年比較表

—單位千行— (日本電報通信社調査)

品 名	昭和三年	昭和四年	昭和五年	昭和六年	昭和七年	昭和八年
藥 品	五,二二六	五,六二四	五,〇三三	五,〇七五	五,六九〇	五,四四七
化 粧 品	五,〇九〇	五,九三〇	五,六三三	五,八二九	五,一五〇	五,四五六
圖 書	三,四三六	二,七〇六	二,七九〇	三,六七二	三,七三三	三,八三九
食 料 品	二,〇六五	二,三〇四	二,四〇三	三,三二九	三,〇四三	二,八八九
雜 件	一,八四〇	一,七二〇	一,六二六	一,四九三	一,六七五	一,八五八
機 器	一,一八四	一,三〇六	一,〇九六	一,〇九七	一,〇七六	一,一四五五
服 裝 品	八,一九七	九,九一四	九,八八八	九,八二二	九,四六八	九,四八八
以 下 略						

(備考) 以上の比較は全國百十一新聞の廣告行數の比較であるが、これを東京十二新聞のみに就て比較すると、圖書の廣告は大正十四年は第三位であつたが大正十五年(昭和元年)、同本全盛時代たる昭和二年昭和三年と第一位を占め、昭和四年以後は第二位に落ちた。又、大阪三新聞に於ては大正十四年以來第二位であるが、昭和三年に限り第一位であつた。

昭和九年新刊數種類細別表

(本年區所數分)

<b>一、哲學</b> 哲學一般 西洋哲學・西洋思想 東洋哲學・東洋思想 日本哲學・日本思想 論理學 心理學 美學・藝術哲學 倫理學 人生論・人生觀 處世哲學・修養 心靈・妖怪 性學・占術	國民道德・詔勅 社會教育 公民教育 農村教育 勞作教育 學習指導・學級經營 修身教育 國語教育 綴方教育 書方教育 數學教育 理科教育 歷史教育 地理教育 圖畫教育 手工教育 家事・作法教育 裁縫・手藝教育 音樂教育 體育・體育ダンス 學校遊戲 學校劇・學藝會 學校衛生 職業指導	<b>四、文學</b> 幼稚園教育 家庭教育 青年訓練 學校・受験	漢文學 (C)隨筆・感想・文集 (D)詩歌・俳句・民謡 詩集 翻譯詩集 歌論・作歌法 歌集 俳論・俳句法 俳句集 川柳 民謡・歌謠 軍歌 (E)小説・戲曲 現代小説 小説・文庫類 大衆文藝・傳記小説 考證讀物 探偵小説 諧謔小説 軍事小説・戰記文藝 情話・怪談・物語 翻譯小説
<b>二、宗教</b> 宗教一般 神道 佛教 基督教	國民道徳・詔勅 社會教育 公民教育 農村教育 勞作教育 學習指導・學級經營 修身教育 國語教育 綴方教育 書方教育 數學教育 理科教育 歷史教育 地理教育 圖畫教育 手工教育 家事・作法教育 裁縫・手藝教育 音樂教育 體育・體育ダンス 學校遊戲 學校劇・學藝會 學校衛生 職業指導	幼稚園教育 家庭教育 青年訓練 學校・受験	漢文學 (C)隨筆・感想・文集 (D)詩歌・俳句・民謡 詩集 翻譯詩集 歌論・作歌法 歌集 俳論・俳句法 俳句集 川柳 民謡・歌謠 軍歌 (E)小説・戲曲 現代小説 小説・文庫類 大衆文藝・傳記小説 考證讀物 探偵小説 諧謔小説 軍事小説・戰記文藝 情話・怪談・物語 翻譯小説
<b>三、教育</b> 教育學・教育史 教育心理學・兒童研究 教育思潮・教育論 教育一般	國民道徳・詔勅 社會教育 公民教育 農村教育 勞作教育 學習指導・學級經營 修身教育 國語教育 綴方教育 書方教育 數學教育 理科教育 歷史教育 地理教育 圖畫教育 手工教育 家事・作法教育 裁縫・手藝教育 音樂教育 體育・體育ダンス 學校遊戲 學校劇・學藝會 學校衛生 職業指導	幼稚園教育 家庭教育 青年訓練 學校・受験	漢文學 (C)隨筆・感想・文集 (D)詩歌・俳句・民謡 詩集 翻譯詩集 歌論・作歌法 歌集 俳論・俳句法 俳句集 川柳 民謡・歌謠 軍歌 (E)小説・戲曲 現代小説 小説・文庫類 大衆文藝・傳記小説 考證讀物 探偵小説 諧謔小説 軍事小説・戰記文藝 情話・怪談・物語 翻譯小説
<b>出版諸統計</b>	國民道徳・詔勅 社會教育 公民教育 農村教育 勞作教育 學習指導・學級經營 修身教育 國語教育 綴方教育 書方教育 數學教育 理科教育 歷史教育 地理教育 圖畫教育 手工教育 家事・作法教育 裁縫・手藝教育 音樂教育 體育・體育ダンス 學校遊戲 學校劇・學藝會 學校衛生 職業指導	幼稚園教育 家庭教育 青年訓練 學校・受験	漢文學 (C)隨筆・感想・文集 (D)詩歌・俳句・民謡 詩集 翻譯詩集 歌論・作歌法 歌集 俳論・俳句法 俳句集 川柳 民謡・歌謠 軍歌 (E)小説・戲曲 現代小説 小説・文庫類 大衆文藝・傳記小説 考證讀物 探偵小説 諧謔小説 軍事小説・戰記文藝 情話・怪談・物語 翻譯小説



理科參考書	四二	美容	二	料理	三
一五、數學	一六七	一七、運動・趣味・娛樂	五五	禮式・作法	一一
數學一般	二〇	運動一般	六	生花・投入	一
高等數學	二〇	陸上競技	五	一九、兒童書類	三
算術	二〇	水泳	五	(A)兒童讀物	八
珠算	二〇	野球	五	少年少女小説・物語	八
代數	二〇	蹴球・籠球	五	少年文庫	八
幾何	二〇	柔道・劍道・空手・相撲	五	童話	八
三角	二〇	弓道	五	兒童劇	八
數學問題集	二〇	スキー	五	兒童詩・兒童藝術	八
數學要覽・數表	二〇	ゴルフ	五	漫畫・滑稽	八
圖學・用器畫	二〇	學問	五	兒童教訓・美談	八
一六、醫學・衛生	二〇	競馬	五	歷史物語・偉人物語	八
醫學・醫事一般	二〇	釣魚	五	陸海軍・戰爭物語	八
生理解剖	二〇	社交ダンス	五	地理物語	八
細菌・病理・組織	二〇	撞球	五	科學物語	八
榮養	二〇	圍碁・將棋	五	兒童年鑑・兒童辭典	八
法醫學・犯罪科學	二〇	茶道・華道・盆栽	五	少年團	八
藥學・藥草	二〇	食道樂・雜趣味	五	(B)兒童學習書	八
臨床醫學	二〇	娛樂	五	各科學習書	八
家庭醫學・治療法	二〇	一八、婦人・家庭	五	讀方學習書・綴方學習書	八
健康・衛生	二〇	婦人一般	五	算術學習書	八
性・妊娠	二〇	家事・家政	五	歷史學習書	八
兒童衛生	二〇	育兒・お産	五	地理學習書	八
看護學・產婆學	二〇	裁縫・手藝	五	理科學習書	八
				入學試驗問題集	八

# 岩波書店 新刊

解説附圖書  
總目錄進呈

東京・神田・一ツ橋  
振替東京二六二四〇  
電話九段一八七(4)

法律學辭典第一卷	末弘嚴太郎編	六四六頁	七・五〇
動物學辭典	谷津直太郎編	六四六頁	七・五〇
ヒテイ知識學の概念	岡田彌一郎編	一三四頁	二・五〇
對話篇 饗	山本 饒譯	三〇〇頁	二・五〇
心理學研究法	久保 勉譯	二〇〇頁	二・五〇
エペル母の歌と愛撫の歌	茅野蕭々譯	二〇〇頁	二・五〇
ベスタロッパー教育學	長田 新著	三〇〇頁	二・五〇
教育科 學(2)	廣島文理科大 教育學研究室	二〇〇頁	一・五〇
名も無き民のこゝろ	河村幹雄遺稿	一〇〇頁	一・五〇
神ながらの道	寛克彦進講	一〇〇頁	一・五〇
ヘレグ哲學史	武市健人譯	一〇〇頁	一・五〇
佛教の諸問題	金子大榮著	一〇〇頁	一・五〇
追想集 内村鑑三先生	鈴木俊郎編	一〇〇頁	一・五〇
罪と其の救ひ	江原萬里著	一〇〇頁	一・五〇
イエスキ 創造的保守主義	ウオカカ著	二四六頁	一・五〇
世界文學	モウルトン著	二四六頁	一・五〇
漱石先生	松岡 讓著	三六六頁	一・五〇
福澤先生を語る	高橋義雄編	二四六頁	一・五〇
巴里滯在記	小宮豐隆著	二四六頁	一・五〇
世界文化と日本文化	阿部次郎著	二四六頁	一・五〇
宿南昌吉遺稿	阿部次郎編	二四六頁	一・五〇
靜夜集	安倍能成著	二四六頁	一・五〇
觸媒集	吉村冬彦著	二四六頁	一・五〇
碧潭集	橋田邦彦著	二四六頁	一・五〇
春秋草紙	萩原井泉水著	二四六頁	一・五〇
讀本 一日一善	トリスティ著	二四六頁	一・五〇
萬葉集研究年報	萬葉三水會編	二四六頁	一・五〇
柿本人麿	齊藤茂吉著	二四六頁	一・五〇

岩波書店 昭和九年 新刊書

歌集 輕雷集以後 中村憲吉著	旅順入城式 内田百問著	提督秋山眞之 秋山眞之會編	穂積 歌 子 蘆谷蘆村著	平福百穂 畫集	穂積陳重遺文集 第三冊	穂積陳重遺文集 第四冊	御觸書 寛保集 成 高柳眞三編	皇室制度 講話 酒卷芳男著	法律哲學概論 第一分冊 田中耕太郎著	世界法の理論 第三卷 田中耕太郎著	新小切手 法 伊澤孝平著	社會法と市民法 橋本文雄著	法學研究(3) 東京商科大学 研究年報 第四一六卷	十周年紀念法學論集 東北帝國大學 法文學部 第六九四卷	世界大戰原因の研究 鹿島守之助著
二四八六	三四六六	二四八六	三四六六	三四六六	三四六六	三四六六	三四六六	三四六六	三四六六	三四六六	三四六六	三四六六	三四六六	三四六六	三四六六
一・二八〇	一・二八〇	一・二八〇	一・二八〇	一・二八〇	一・二八〇	一・二八〇	一・二八〇	一・二八〇	一・二八〇	一・二八〇	一・二八〇	一・二八〇	一・二八〇	一・二八〇	一・二八〇

國家と階級 高田保馬著	ルサス・リスミス・マ (正統派經濟學研究) 小泉信三著	滿洲問題 矢内原忠雄著	年報 經濟學(1) 東北帝國大學 經濟學會 二四五二卷	新報 經濟學(1) 東北帝國大學 經濟學會 二四五二卷	日本資本主義分析 山田盛太郎著	日本資本主義の機構 平野義太郎著	世界と日本 東京政治 經濟研究所 六〇一八卷	經濟學研究(3) 東京商科大学 研究年報 七〇八六卷	十周年紀念經濟論集 東北帝國大學 法文學部 七〇八六卷	商學研究(3) 東京商科大学 研究年報 七〇八六卷	プロイドウ波動力學 渡邊 慧譯	訂正計算法及び計算器械 小平吉男著	近畿土壤膠質化學 川村一水著	氣象學 第二版(上) 岡田武松著	特種雲形圖 藤原咲平著
四〇〇四	四〇〇四	二四八六	二四八六	二四八六	二四八六	二四八六	二四八六	二四八六	二四八六	二四八六	二四八六	二四八六	二四八六	二四八六	二四八六
二・二八〇	二・二八〇	一・二八〇	一・二八〇	一・二八〇	一・二八〇	一・二八〇	一・二八〇	一・二八〇	一・二八〇	一・二八〇	一・二八〇	一・二八〇	一・二八〇	一・二八〇	一・二八〇

岩波書店 昭和九年 新刊書

四種基本雲形圖 藤原咲平著	石油地質學通論 大村一藏著	地籍測量 石井英橋著	山崩 中村慶三郎著	應用微生物學 宮路憲二著	乳幼兒の哺育と看護 長尾美知著	機械工学便覽 機械學會編	室町時代庭園史 外山英策著	哲學の根本問題 西田幾多郎著	人間の學としての倫理學 和辻哲郎著	東洋倫理 西晋一郎著	基督教史 石原謙著	行政法Ⅱ 美濃部達吉著	民法Ⅱ (物權下・債權) 我妻 榮著	日本經濟史概要 土屋喬雄著	統計學概論 龜川虎三著
三四六六	三四六六	三四六六	三四六六	三四六六	三四六六	三四六六	三四六六	三四六六	三四六六	三四六六	三四六六	三四六六	三四六六	三四六六	三四六六
一・六〇〇	一・二八〇	一・二八〇	一・二八〇	一・二八〇	一・二八〇	一・二八〇	一・二八〇	一・二八〇	一・二八〇	一・二八〇	一・二八〇	一・二八〇	一・二八〇	一・二八〇	一・二八〇

初等微分幾何學 窪田忠彦著	行列及び行列式 藤原松三郎著	物理實驗法 中村清二著	有機化學(1) 漆原義之著	有機化合物分析法 有馬純三著	寫真 藤澤 信著	湖濱學(下) 橋田邦彦著	生理學 橋田邦彦著	齒車 成瀨政男著	水車 成瀨政男著	電氣鐵道 米澤政治郎著	電燈及び照明 關 重廣著	テレビジョン 曾根 有著	橋梁 成瀨勝武著	鐵筋コンクリート 宮本武之輔著	耐震構造汎論 谷口 忠著
三四六六	三四六六	三四六六	三四六六	三四六六	三四六六	三四六六	三四六六	三四六六	三四六六	三四六六	三四六六	三四六六	三四六六	三四六六	三四六六
一・二八〇	一・二八〇	一・二八〇	一・二八〇	一・二八〇	一・二八〇	一・二八〇	一・二八〇	一・二八〇	一・二八〇	一・二八〇	一・二八〇	一・二八〇	一・二八〇	一・二八〇	一・二八〇

北村佳逸著 二八〇頁 定價貳圓 送料十二錢

# 儒教哲學解說

古色蒼然たる古典哲學を銀色燦爛たる新譯活字で丹念に組んで盛装して現れたのが、本書である。孔子の正系である子思孟子、荀子の思想を中列として老子莊子の道家、楊子墨子の異端派、名家、法家、縱橫家兵家の思想を要領よく織りこんであるから、いくら読みかへしても東洋哲學の醍醐味はつきない。

佐久間貞次郎著 四六六頁 定價壹圓貳拾錢 二五〇頁 送料 十錢

# 回教解説

全亞細亞聯盟へ近づかんとする現代日本の國民は回教を知らずしてその業成らず著者は永年南亞細亞にあり回教を研究家として定評あり。今回我國民に回教を教へんとす筆を執り回教全般に互りて解説す。國民はこれを信心する否かを問はず一讀を要する書なり。

豊島與志雄著 四六六頁 定價一・八〇 三五〇頁 送料 一〇〇

# 創作集 道化役

文藝復興の聲は高く、純文學再建の提唱も久しい。だがそれを裏書する作品の何と多々たることか！その虚を衝くのが本書だ。ジャーナリズムの波に乗つて新人の名は目眩しく現はれ消えるが、自然主義巨匠達の腕は益々冴え、一作毎に輝きを増す巨匠豊島聲價は揺がす。

大阪毎日 丸山幹治著 四六六頁 定價一・八〇 論説委員 三六〇頁 送料 一〇〇

# 硯滴 黒頭巾を脱ぐ

新聞界の異彩たる著者は今渾く黒頭巾を脱いだ。世の中の底の底まで見透し来た著者の赤裸々な傍若無人的な自由性を發露したこの一巻は、驚くべき今の御時勢を體陶しる百卅三章、全巻を人物篇と世相篇との二篇に分ち觀察批判の犀利鋭行論斷證の縱橫暢達は既に定評のあるところ新聞で讀むのさ又別な妙味巧味、滋味がある肩が凝らすに讀ませ、而も自然に世相に對する眼を明るく開いてくれる。

東京銀座東本橋町二ノ三 電話東京八二四九八 振替東京八二四九八 言海書房

# 勸業債券 利殖 仕方

大門富之助著 定價 壹圓貳拾錢 送料 八錢 小金持も大金持も勸業債券をすゝめ

る利息を取りながら値上り値下りで利息以外の金を得られるし運よく當該三千圓五千圓殖すことが出来る秘訣が書いてある。

# 白金光助著 公債の賣方買方

公債についてのあらゆる知識公債で利殖をするにはどんな方法がよいか等支人にも業人にもためになる本である

# 國政一新論叢

第一輯 定價三十錢 第二輯 定價壹圓 第三輯 定價六十錢

安藤徳器著 四六六頁 定價一五〇 三二〇頁 送料 一〇〇

# 陸海軍今昔物語

國軍の編制以來六十年武勳赫々たる我等が陸海軍の歴史沿革を一目瞭然たらしむる近來の快著！著者は陸士第三六期生創を擲つて筆を執るや明治維新史の一權威たり史實文學の新星なり日露戰役回顧三十年記念日に當り非常時國民は必讀の趣味參考書なり。

丸岡英夫編 定價一圓五十錢 送料 十三錢

# 武士道教本

所謂非常時は現在日本の姿である。この危機この難局に起る日本を救ふもの——それは黄金でもなく武器でもない。武士道を描いて外には絶對にない。武士道は我が國民性の華である之があるが故に我が國體は君臣一體萬國に冠絶するを得た。吾人は國體の淵源に溯り、士道の因つて來る所を究め、而して來るべき國際危機に備へねばならぬ。武士道教本は正に日本國民に與へられたる天來の聲である。

東京銀座東本橋町二ノ三 電話東京一〇九〇三 振替東京八二四九八 言海書房

・書藝文刊新の評好・

セガロフ著 五味松樹共譯  
國松孝二

ドストエフスキー研究

—醫學的心理學的立場に於ける—

四六判函入 天金製美本  
定價壹圓貳拾錢 送料六錢

ドストエフスキー作  
中村白葉譯

死の家の記録

新菊判中形特製函入五百頁  
定價貳圓五拾錢 送料八錢

龍口直太郎譯

ポイス短篇選集

中形特製函入五百頁  
定價貳圓貳拾錢 送料八錢

D・H ロレンス作  
宮西豊逸譯

島を愛した男

フランス綴美本・四六判三五〇頁  
定價金壹圓 送料金六錢

D・H ロレンス作  
木下常太郎譯

處女とジプシー

フランス綴美本・二百頁  
定價金壹圓 送料六錢

モウパッサン作  
前田晁譯

一市民の日曜日

フランス綴美本・二百頁  
定價金壹圓 送料六錢

一七六

健文社 東京・麴町・富士見町二丁目  
振替口座東京 44864・電話 九段 1828

東京日日新聞 記者松原至大著・和田邦坊裝畫  
大阪毎日新聞

立里心子と遊ぶ  
雑筆

眞に児童を愛さんとする父母と教師に捧ぐ！  
新聞人として詩人として独自の立場にあつて、多年児童研究に精進する著者の文集。児童の日常生活をめぐる直載自在の筆は、何人の心にも透徹するであらう。

新刊好評！

ポブリン特製函入  
定價金 貳圓

送料拾貳錢  
四六判三八〇頁

童謡集 赤い風船 松原至大著

特製函入二〇〇頁樂符付  
定價壹圓參拾錢送料八錢

多年我が児童文學のために、精進する松原氏の限りなき美しきささ明るさを湛へたる童謡小曲集である。眞に児童を愛さるる良き家庭の御愛讀を俟つ。

童話作家協會々員 小野政方先生の句ひ高き新著！

愛兒のつぼみのゆめ  
童話

恩地孝四郎裝幀  
特製函入二〇〇頁挿繪十枚  
定價壹圓參拾錢 送料八錢

母子のあす咲く花  
童話

恩地孝四郎裝幀  
特製函入二〇〇頁挿繪十枚  
定價壹圓參拾錢 送料八錢

一七七

健文社 東京・麴町・富士見町二丁目  
振替口座東京 44864・電話 九段 1828



英 文 學 講 義 叢 書

金子健二著 <b>英語發達史</b> ¥7.00 千 22	富田ネフ著 文學趣味その養成法 一・五〇
金子健二譯註 イギリス中世物語 ¥3.50 千 12	藤谷イケン著 クリスマスカロール講義 一・八〇
金子健二譯註 イギリス中世物語詩集 ¥2.50 千 10	藤谷イケン著 ハーデイ短篇選集講義 二・〇〇
寺井邦男著 <b>英國小説研究</b> ¥2.80 千 20	藤谷イケン著 見知らぬ三人の心家の建つて 二・〇〇
富田 彬著 <b>近代英文學雜考</b> ¥2.30 千 22	藤谷イケン著 黄 金 虫 講 義 一・五〇
高垣松雄著 <b>現代アメリカ文學</b> ¥2.80 千 20	藤谷イケン著 胡 麻 と 百 合 講 義 一・六〇
高垣松雄著 <b>英文の鑑賞と分析</b> ¥1.00 千 06	藤谷イケン著 寶 島 講 義 二・五〇
若目田武次著 <b>フランス語階梯</b> ¥1.50 千 06	藤谷イケン著 ライオン講義 一・八〇
若目田武次著 <b>ラテン語階梯</b> ¥2.50 千 12	藤谷イケン著 ライオン講義 二・二〇
上阪泰次著 <b>英語發音法と綴字法</b> ¥0.80 分類式附俗語	藤谷イケン著 ライオン講義 二・二〇

一七九

**健 文 社** 東京・麴町・富士見町二丁目  
振替口座東京 44864・電話 九段 1828

味 趣

馬術競馬の儲け方 岡田光一郎著 送價 一・五〇	酒 道 西村文則著 送價 二・五〇	茶 道 撫石庵綠堂著 送價 二・〇〇	弓 道 竹内 尉著 送價 一・八〇	弓道新射法 竹内 尉著 送價 一・五〇
俳畫の描き方 鶴月左青著 送價 一・三〇	俳句の用語と季寄せ 鶴月左青著 送價 一・四〇	山へ溪谷へ 池田 博著 送價 一・五〇	登山 太田行藏著 送價 一・三〇	憧れのキャンピング 太田行藏著 送價 一・〇〇

第一輯 新春號 第二輯 風流號 既刊 第三輯 清風號 七月刊

日本趣味は、日本人の心の食物である！

日本人の魂は、結局日本趣味と云ふ故郷に歸らなければ、満足し切れない。亦止むを得なかつた。先づ、日本趣味の置かれてゐる時代には、日本趣味の歐化も亦止むべき時代である。しかし、日本精神を發揮して、世界に於ける日本の一轉化も主眼を吹き飛ばすことに覺醒すべき機会が當來してゐる。國民は外を見ることよりも、自己を見るべきであらう。

# 日本趣味

季刊  
一月・四月・七月・十月  
四月・七月・十月  
刊行  
菊列百三十頁内  
寫眞挿紙豪華版  
上質印刷紙豪華版  
定價金壹圓送共

一七八

**健 文 社** 東京・麴町・富士見町二丁目  
振替口座東京 44864・電話 九段 1828



# ！容陣の典辭語英社究研

！兒寵のトッケポは小

各辭典とも全國諸學校指定の最高位を獨占！

社究研 岡倉由二郎先生編  
**スクール英新辭典**  
四六六頁 特價三、〇〇

明朗な大活字と學生本位の内容に徹底した和英！巻末に英作文本位の講話を添ふ。

社究研 研究社編輯部編  
**新和英小辭典**  
四〇〇頁 特價一、二〇

「研究社小英和」と同題旨に成るスマイルトなる小和英。特に新語に於ては大和英を凌駕す。

社究研 武信由太郎先生編  
**新和英大辭典**  
四三〇頁 並製特價五、五〇

語數五十萬、全日常語を悉し、特に講語はサンソン先生の協力を得た最本格的英譯である。

社究研 中島鏡造・藤田仁太郎先生共編  
**英和商業經濟辭典**  
特價三、八〇

斬新的確なる商業英語の把握は本辭典へ専ら實用を旨として解説・用例は現代活用のももの！

社究研 岡倉由二郎先生編  
**僕の英語辭典**  
四六六頁 特價一、七〇

一・二・三年生の爲の活字明快な英語辭典教科書的全單語を網羅し、譯語も熟語も初年生本位！



(101-24)

一〇六八二 京東替振  
三〇四・二〇四段九話電

社 究 研

# るた々堂よ見

！王の架書は大



## 英語辭典は研究社！！

研究社は英語出版廿有八年の経験と我英學大家編纂の下に既に八種の英語辭典を世に送つて居ります。いづれも最新編纂法を用ひ、而も内容の清新を期する爲には、常に改訂乃至補増を行ひ、一方には學生の負擔を軽減する爲め、犠牲的學生價を以て低廉に提供しつゝあります。此の結果、研究社は今や一大英語王國を現出し、英學界教育界より讚辭雨下と共に、全國諸學校指定の最高位を獨占して居ります。學年に應じてそれぞれ必備御活用を願ひます。

社究研 岡倉由二郎先生編  
**新英和大辭典**  
四六六頁 並製特價五、〇〇

最大・最新而も最廉の英和の大御所！改訂大増補を敢行して學生・知識階級の書架へ頒つ。

社究研 市河三喜先生指導  
**新英和小辭典**  
四〇〇頁 特價一、二〇

薄い軽い一握の小冊に日常語は勿論、新語一切を縮約収録して、而も簡潔明快に終始した小英和！

社究研 岡倉由二郎先生編  
**スクール英新辭典**  
四六六頁 特價三、八〇

目が大切なら本辭典！明朗な大活字、多數の木版畫、學習附録二百頁等で學習能率は昂がる！

士富町麴京東 所行發 【圖全樹賣】  
目丁一町見 店書地各

書考參良優の堂海山るせ越卓に書類

限部次雄著	古田信夫著	幸野省三著	小野圭次郎著	小野圭次郎著	小野圭次郎著	小野圭次郎著	小野圭次郎著	小野圭次郎著	小野圭次郎著	小野圭次郎著	小野圭次郎著	著者名
最新研究	最新研究	最新研究	最新研究	最新研究	最新研究	最新研究	最新研究	最新研究	最新研究	最新研究	最新研究	書名
國語の單語	代數幾何問題融合の研究	受驗算術の融合的研究	昭和九年英語問題集	特選英單語	初歩の英文法	英語の熟語	英語の單語	英語の單語	英語の文法	英語の作文	增訂最新英文の解釋	定價
一・三	七	六	三	三	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	料定
六	四	六	四	二	六	六	六	二	八	八	八	著者名
滋賀多喜雄著	滋賀多喜雄著	川合重太郎著	川合重太郎著	桑原親通著	桑原親通著	桑原親通著	湯地孝著	佐藤正範著	佐藤正範著	佐藤正範著	佐藤正範著	書名
新推理的	新推理的	最新研究	最新研究	最新研究	最新研究	最新研究	最新研究	最新研究	最新研究	最新研究	最新研究	定價
化學の解法	物理の解法	日本地理	外國地理	日本歴史	東洋歴史	西洋歴史	現代文の解釋	國文法の要領	漢文の解釋	國文の解釋	漢文解釋法	料定
一〇	一三	一〇	一三	一〇	一〇	一〇	一三	一三	一〇	一三	一〇	
六	六	六	六	八	六	八	六	二	八	六	八	

番一九六一二京東替振 部版出堂海山 區田神市京東  
番〇一三一一段九話電 十ノ二町保神

歐文社の受驗参考書について

参考書は受験生の最も鋭き武器であります。故に通信教授界にて絶對的權威と信頼とを得て居り斯界の最高權威者を網羅する吾が社は比類なき卓越せる内容と、美麗鮮明なる印刷と 堅牢優美なる製本との三要素を具備する代表的な参考書を出版致します。眞價を御認めの上、何卒御推薦を御願申します。

歐文社々主、第一外語顧問 赤尾好夫先生著  
第廿七版 入試突破の對策を語る Page 220 Price 0.80 郵0.06  
歐文社々主として絶大なる信用をうけてゐる赤尾氏が示す入試突破の正道、勉強方法、學科試験、口頭試問、體格検査等には安心得て居れば大丈夫である。

陸軍士官學校數學部 林茂増先生 同 教授 松室隆光先生共著  
第十三版 秀才の幾何學 Page 580 Price 1.80 郵0.4  
數學の二大家の筆になる受驗界最高の名著、代表的な全問題を系統的に分類し、一題やれば之に關聯したものを全部解き得、千九十六の全問題に圖と解答とを示してゐる。

東京高等商船學校語學部長 須藤兼吉先生著  
第十四版 英文解釋の徹底的研究 Page 390 Price 1.60 郵0.10  
日本の受驗界各語學界の權威者たる著者が全力を注ぎ、代表的な問題に總て實例を以てその用法を示せるもの眞に生きてゐる英文である。紙質、印刷、製本共に豪華なものである。

東京高等商船學校語學部長 須藤兼吉先生著  
第八版 和文英譯の徹底的研究 Page 340 Price 1.60 郵0.10  
内容的に分類して各項目を平易な問題から徐々に困難な問題に進み、何れも平易なる實例をもつて用例を示してゐる。知らず識らずの中に生きた英文を徹底的に知り得る。

日本の最も優れたる出典の研究家 原仙作先生著  
改訂十一版 英文標準問題精講 付 出典解説 Page 300 Price 1.00 郵0.06  
日本の出典研究の第一人者たる著者が示す来る可き入試への恐る可き豫言、最も入試に多く出された問題、出され相な問題を詳細に講義して、且つ出典の研究、出典史を加ふ。

- 最新刊 赤尾好夫 陸士展望と入試問題正解 Price 0.80 郵0.06
- 最新刊 赤尾好夫 東京高師展望と入試問題正解 Price 0.80 郵0.06
- 最新刊 赤尾好夫 第一高等學校展望と入試問題正解 Price 0.80 郵0.06
- 陸士教授 松室隆光著 複式代數學問題選集 Price 0.50 郵0.06
- 陸士教授 江原豊共著 物理學の徹底的研究 Price 2.00 郵0.14

歐文社々主 赤尾好夫編  
最新刊 第十八版 英語單語の綜合的研究 Page 900 Price 1.50 郵0.14  
單語！單語！單語！本書は、受験生の慈父赤尾氏が、その鋭き頭腦とたゆみなき努力をもつて、從來の單語集の缺點を全く清算し、人間の聯想觀念を利用し、單語を根本より分解し、どうしても覚えられない様にして殆ど苦痛なく基本語を覚え、基本語を覚えれば、更に興味に迫られて知らず識らずの内に、派生語、反意語、同意語、用法等を覚えて了ふ。本書を一通り讀んだだけで、諸君の英語の活用力が倍加することを斷言する。  
(發賣以來賣切又賣切の状態第十八版印刷が出来ました)

東京市澁橋區下落合 歐文社出版部 振替東京二四一〇〇番  
四丁目一九八六番地 電話 下落合長崎六〇六番

書考參良優の堂海山るせ越卓に書類

山海堂編輯所編	鈴木 豊著	鈴木 豊著	問谷 力共著	森本清吾著	小倉金之助著	福田武雄著	小倉金之助譯註	柳原吉次著	小倉金之助譯註	三守 守譯	小倉金之助共譯	武邊松衛
短期研究	最新研究	最新研究	最新研究	最新研究	訂新數學公式(附要項及ビ諸表)	工業數學	ルンブルス 幾何學 空間部	ルンブルス 幾何學 空間部	ルンブルス 幾何學 空間部	ベテル セン 幾何學 作圖題解法	プーレー 初等代數學	
植物問題の答案	動物學の講義	礦物學の講義	數學公式要覽	數學公式要覽	圖計算及び表(普及版)	工業數學	幾何學 空間部	幾何學 空間部	幾何學 空間部	幾何學 作圖題解法	初等代數學	
・三	・三	・三	・三	・三	・一	・三	・四	・三	・三	・一	・三	
二	六	六	六	六	八	三	三	三	三	〇	三	
小倉金之助譯註	佐藤良一郎譯註	石井省吾譯註	石井省吾譯註	小倉金之助譯註	小倉金之助譯註	小倉金之助譯註	小倉金之助譯註	小倉金之助譯註	小倉金之助譯註	野田哲夫共譯	西井 潔共譯	限部 一雄著
幾何學	代數學	平面三角法	平面三角法	實用數學	實用數學	實用數學	實用數學	實用數學	實用數學	飛行機の力學	飛行機の力學	内 燃 機 關
・三	・三	・三	・三	・三	・三	・三	・三	・三	・三	・三	・三	・三
二	三	三	三	三	三	三	三	三	三	二	二	二

京東市神田區 山海堂出版部 振替東京二六一九番 電話九一三〇番

書考參良優の堂海山るせ越卓に書類

武原熊吉共著	箕作新六著	有賀 輝著	四方敬一著	四方敬一著	尾形輝太郎著	加藤武夫著	鈴木外岐雄著	久保田 勉之助編	齊藤 勇編	福田武雄著	野口尙一著
有機化學	膠質化學	光 化 學	氣體製法化學	氣體分析化學	感 光 色 素	自然科學 地質概論	自然科學 生物概論	自然科學 化學概論	抒情詩集(英文・註釋)	鐵筋コンクリート論	應用彈性學
有機化學	膠質化學	光 化 學	氣體製法化學	氣體分析化學	感 光 色 素	自然科學 地質概論	自然科學 生物概論	自然科學 化學概論	抒情詩集(英文・註釋)	鐵筋コンクリート論	應用彈性學
・三	・三	・三	・三	・三	・三	・一	・三	・三	・二	・七	・四
三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
新樂金橋著	武田祐吉著	中島悦次著	峯岸義秋著	久松澤一著	和 田 萬 吉 著	藤村清人著	藤川忠治著	深作安文著	入澤宗壽著	紀平正美著	伊東月草著
文法應用 漢文速成	萬葉集新解(上下)	古事記評釋	國文學の批評的研究	明治文學序說	謠 曲 選 釋	明治文學研究(1)	明治文學研究(2)	思想問題研究	現代教育思想概說	論理學及び哲學の基礎概念	俳句の作り方講義
文法應用 漢文速成	萬葉集新解(上下)	古事記評釋	國文學の批評的研究	明治文學序說	謠 曲 選 釋	明治文學研究(1)	明治文學研究(2)	思想問題研究	現代教育思想概說	論理學及び哲學の基礎概念	俳句の作り方講義
・六	・三	・三	・一	・二	・三	・二	・三	・一	・一	・一	・一
八	三	三	四	三	三	三	三	八	三	〇	〇

京東市神田區 山海堂出版部 振替東京二六一九番 電話九一三〇番

文明社 ★特選優良圖書拔抄

東京市小石川區水邊二の十  
電話東京 17016 番  
電話大阪 56, 5717 番

實質本位の權威ある参考書  
御申越次第圖書目錄無代進呈

演習叢書(その他)	佐高教授 大上茂喬	微分學演習	價 3.50	郵稅 .14
	同上	積分學演習	上下各價 1.80	稅 .14
	同上	代數學演習	上下各價 1.80	稅 .14
	弘高教授 若桑光雄	物理學演習	上下價 3.90 4.00	稅 .14
	同上	力學演習	上下價 3.00 2.30	稅 .14
	佐高大上陸士 松室兩教授	解析幾何學演習	二三各價 1.80	稅 .14
	理學士 西鐵之輔	無機化學演習	價 3.00	稅 .14
	同上	有機化學演習	價 2.50	稅 .14
	ロバート・ホル 松室隆光譯	立體 <sup>解析</sup> 幾何學	價 3.50	稅 .14
	大上茂喬	歐米數學教授參觀記	價 2.50	稅 .14
同上	數學閑話	價 2.00	稅 .14	
中等參考書	雙登教授 越智治成	代數學狙ひ所	上下價 1.30 1.50	稅 .08
	明專教授 高橋啓藏	幾何學精解	價 1.50	稅 .06
	越智治成	重要代數學問題集	價 .30	稅 .04
	高橋啓藏	重要幾何學問題集	價 .20	稅 .02
教育書其他	弘高教授 若桑光雄	中等程度物理學演習	價 1.50	稅 .10
	元東京高師 教習 稻次解一著	算術教育原論	價 4.00	稅 .22
	同上	算術の本質 <sup>と指導の</sup> 根抵	價 1.50	稅 .10
	北澤種一	作業教育の本質	價 2.00	稅 .10
	ローンズ 今村有譯	共同海損法論	價 3.80	稅 .22
	神戸商實 大山校長	實業補習教育 二十五年の體驗を語る	價 1.00	稅 .03
	佐高教授 西谷茂喬	外遊 見たまゝ聞いたまゝ	價 2.00	稅 .14
	楠間龜楠	商業讀本	價 1.00	稅 .10

一八七

▶ 誌 雜 門 專 大 二 行 發 堂 賢 養 ◀

斯道の學理と實際とに  
眞に役立つ最優雜誌

# 農業及園藝

農學研究と  
農村收獲と  
増進方法と  
農村更生と  
根本對策と  
を包含する  
最新智識

生物學の研究に、教材に、  
應用に、最適の雜誌!!

每號三三判百七十頁・説明圖多數入  
正價普通號一冊六十錢・送料三錢  
六册分三圓・十二册前金六圓四十錢

理論  
應用

# 植物及動物

生物學家  
動物學家  
醫學家  
畜產學家  
水産學家  
の  
必  
讀  
智  
識

堂賢養 (小石川電話) 〇七町端森區鄉本京東 發發  
(電話五六一) 番〇〇七五二京東替振

一八六

文學士 井上義昌先生著作

# 英語類語辭典

忽  
再  
版

## A DICTIONARY OF ENGLISH SYNONYMS

四六判總クローズ装釘優美 定價金貳圓八拾錢  
上等印刷紙 830頁 送料二十二錢

### 本辭典の七大特色

英語  
々義  
の的  
確な  
る把  
握!!

- 1 収録の語句約五千普通に用ひらるゝ類語・類句を網羅せること
- 2 語句の選擇並びに解説はあくまで邦人本位にして、且つ實用を主眼とせること
- 3 内外文献の總動員により諸學者の説を集成綜合して引證該博なること
- 4 解説中の重要な語句には一々原語の註を加へて original works の解説を髣髴せしめること
- 5 解説の懇切丁寧なること内外の類書にその比を見ぬこと
- 6 例文は多く近代及び現代作家の living English より採用せること
- 7 綿密なる索引を附し所要の語を直ちに檢索し得ること  
要するに本辭典は普通辭典・參考書の足らざるを補ひ、英語の語義を的確に把握せしむる點で一般英語學習者の參考となるのみでなく、英語教壇に立つ人々の好伴侶として時間と努力とを節約し得るであらう

本邦唯一の英語類語辭典!!

一八九

東京市神田區西神田 株式 開拓社 振替東京三九五八七番  
一丁目二番地 會社 電話神田二〇〇一・二〇〇二

# 集語單語英準標

anxious ( 12 )

- ② anxious [ˈæŋkʃəs] 【形】心配な。
- anxiously [ˈæŋkʃəsli] 【副】心配して。
- anxiety [æŋˈzaiəti] 【名】心配。不
- ① any [ˈeni] 【形】何か。誰
- anybody [ˈeni bɒdi] 【代】【名】誰でも
- anyone [ˈeni wʌn] 【代】【名】誰でも
- anything [ˈeni θɪŋ] 【代】何でも。
- ③ anyhow [ˈeni haʊ] 【副】【接】兎も
- ③ anyway [ˈeni weɪ] 【副】【接】どの
- ③ anywhere [ˈeni wɛə] 【副】何處でも。
- ③ apart [əˈpɑ:t] 【副】離れて。
- ③ apartment [əˈpɑ:tmənt] 【名】部屋。割
- ③ apiece [əˈpi:ɪs] 【副】一つにつ
- ④ apologize [əˈpɒlədʒaɪz] 【自】謝罪する。
- apology [əˈpɒlədʒi] 【名】謝罪。申
- (apologetic) [əˈpɒləˈdʒetɪk] 【形】辯解
- (apologetically) [əˈpɒləˈdʒetɪkəli] 【副】
- ④ appeal [əˈpi:l] 【他】控訴する。訴へる。
- ③ appear [əˈpiə] 【自】現れる。
- disappear [disəˈpiə] 【自】消える。
- reappear [riəˈpiə] 【自】再現する。
- appearance [əˈpiərəns] 【名】出現。風
- disappearance [disəˈpiərəns] 【名】消

I am anxious about it. (それが心配です)。  
to go abroad. (洋行したがつて居る)。The new  
anxiety. (その知らせで心配した)。There is  
(假令あつても少い)。He is anything but hone  
ても正直とはいへぬ)。Apart from joking, wh  
with it? (冗談は別としてそれをどうしようか)。  
gize to you for not having written to you s  
早く手紙を路上げないで済みません)。You sh  
apology for your rudeness. (無禮の詫を言ふ

既に横濱高商等は一昨年から本表の範囲内で入試問題用單語を決定されて  
居たが(受験と學生五月號西村教授執筆参照)昭和十年度より各高校・外語  
其他も單語範圍を本表(文部省内英語教授研究所發表)によることとなつた。  
本書は右の單語表に長沼直先生が譯を附すると共に必修熟語を配したもので、受験生必讀の  
寶典である。 三六版 二六〇頁 總クローズ 定價金八拾錢 送料六錢

果然入試用單語は本表に決定!!

一八八

番七八五九三京東座口替振 社拓開 區田神市京東  
二〇〇二・一〇〇二田神話電 二ノ一田神西

文學士 白鳥清編

# 東洋史概説

本書は新界の權威白鳥清博士の筐底に蔵する稿本を授てこれに取捨を加へ東洋の複雑なる民族關係及文化の交流を説き滿州國の建國まで挿圖及地圖を以て要約綜合概説せるが本書である新學研究者及文檢受驗者の必讀の書敢て一本を薦める所以である。

早大教授 文檢委員 中桐確太郎著

# 改訂版 論理學綱

本書は新學の權威者たる、早大教授中桐確太郎先生が、早大學園に於ける講述を基礎として、特に教科書用として公にしたるものを、今回更に改訂を加へ文體を一變して口語體とせられその主旨とする所は初學者をして容易に理解せしむる點にある。今回本書の出現により論理學の難解なものでなく寧ろ興味ある學たることをうなづかむるに至つたのである。文檢受驗者必讀の書である。

菊判上製三百八十頁  
定價金二圓八十錢  
送料 十六錢

一九〇

## 好評嘖々たる大

文學士 重原慶信著

# 增訂 國史概論

東京商大教授 文檢委員 村林專之助著

▲菊判布製函入 ▲定價金二圓  
▲本文二百八十五頁 ▲送料金十四錢  
一國の將來を卜するに其國の過去即ち歴史より立論すべきであるが我が國史より見て日本の將來に於ける隆盛發展は必然の事と云はればならぬ。領土、國民、主權、文化等は國の將來を卜すべき重要要素と云はれるが我が國の歴史に於て此等の點を考へるに何等の優美にして生氣あり此の國史を文化的に平易に書かれたのが本書である。

▲菊判四百七十餘頁 ▲送料二十二錢  
▲定價二圓九十錢

# 實用珠算講義

學習院教授 岩田九郎編

▲定價金十五錢 ▲送料金貳錢  
本書は著者が論述研究の結果工夫自得せられたる所を述べられた得がたき名著である。専ら珠算全般に通曉し敏捷の計算、練達の秘腕を養成せん爲め實用に適切なるを選択せられた。附録として加減乗除練習問題百六十餘頁附。

# 標準假名遣便覽

▲定價金十五錢 ▲送料金貳錢  
日本語を用ふる人は必ず一冊だけは必要だ！家庭でも事務所でも、無造作に使ひ古した言葉や筆を持つてすや當惑するのはカナツカイであらう。厚い何百頁の辭書や文法書を引張り出さず手軽にポケットから出して極めて簡明に「送り假名」「字音假名遣」「國語假名遣」等がわかる

## 觀堂の新刊圖書

東京市橋區戸塚町 觀堂書店  
電話 三三三三 五三三三 二七三三  
振替 東京 一七三三 五三三三 番六

一九一





# 共立社

刊行講座及新刊と重版

東京・神田・駿河臺三  
電話神田一五一八・二六二四  
振替東京四六〇七四

一九四

## 全巻全篇悉く知識の源泉

- 【編輯】濱住・三島・西村三博士  
**實用金屬材料講座**  
全十卷 申込金十一圓  
每卷二圓五十錢
- 【編輯】小栗・永井・内田・友田四博士  
**實用製造化學講座**  
全十二卷 申込金五十二圓  
每卷二圓五十錢
- 【監修】松村・加茂・關口三博士  
**實用機械工學講座**  
全十卷 申込金五圓  
每卷二圓五十錢
- 【監修】大河内・松村・青木三博士  
**實驗工學講座**  
全十八卷 申込金一圓四角  
每卷二圓半
- 【監修】大幸・麻生・厚木・箕作四博士  
**實驗化學講座**  
全十八卷 申込金一圓  
每卷二圓半

- 理學博士 小竹無二雄著  
**有機化學**  
菊判三三〇頁  
送料三十二圓
- 工學士 石橋正樹著  
**塗料**  
菊判三四〇頁  
送料三圓五十錢
- 理學士 渡邊秀雄著  
**高等平面三角法**  
菊判二四〇頁  
送料二圓四十錢
- 工學博士 千葉茂太郎著  
**眞空管**  
菊判二二〇頁  
送料二圓四十錢
- 神馬新七郎著  
**鑄物工場の原價計算**  
菊判四五〇頁  
送料二圓四十錢
- 金子清次著  
**基本圖案學**  
菊判一七二頁  
送料一圓八十錢

## 最新研究と學術の大衆化

- 【監修】坂井・國枝兩博士  
**新修高等數學講座**  
全廿四回 申込金一圓  
每卷二圓
- 【監修】坂井・國枝兩博士  
**演習高等數學講座**  
全十五卷 申込金二圓  
每卷二圓
- 【監修】坂井・國枝兩博士  
**軌近初等數學講座**  
全十二卷 申込金一圓五十錢  
每卷一圓五十錢
- 【編輯】大類博士・松井教授  
**現代史學大系**  
全十五卷 申込金一圓五十錢  
每卷一圓五十錢
- 【編輯】長澤・内田・本田三學士  
**漢文學講座**  
全十二卷 申込金二圓  
每卷二圓
- 【編輯】丹羽・千葉・宗三博士  
**無線工學講座**  
全十二卷 申込金二圓  
每卷二圓

- 工學博士 辻二郎著  
**西洋拜見**  
菊判三六四頁  
送料二圓四十錢
- 國大教授 松井等著  
**東洋史要釋**  
菊判二七三頁  
送料二圓五十錢
- 理學博士 丘 淺次郎著  
**猿の群から**  
菊判一〇六頁  
送料一圓八十錢
- 文學博士 原 隨園著  
**新義西洋史**  
菊判四〇〇頁  
送料二圓八十錢
- 柳田國男著  
**民間傳承論**  
菊判四二〇頁  
送料二圓四十錢
- 文學博士 大類 仲著  
**史學概論**  
菊判二八〇頁  
送料二圓四十錢
- 理學士 杉江重誠著  
**ガウラス**  
菊判三八〇頁  
送料三圓八十錢

▲出版 蟻塔 ハガキにて申込次第 無代にて送呈す

一九五



權藤成卿先生著

# 八隣通聘攷

四六判・上製・函入  
附錄II年表  
定價上卷二圓  
下卷一圓五十錢  
(送料各十錢)

本書は我國上代より豊臣氏文祿征韓の役に至るまで、我國の八隣通聘關係が國內民衆文化の消長に如何に影響し、一國盛衰の大運に係る所以の概要を明かにしたもので、從來故意に歪曲され、隠蔽された史實の偽網を破り、疑義を正し、我國體の眞源を開く不滅の文獻である。

農村の困弊と食糧問題 四六判・一〇二頁 價三十錢(送料十錢)

農村疲弊の眞因を解剖し、食糧問題に就き統計的、歴史的に説明せるもの。

深田順次郎著 (四六判・五一二頁)  
臨終の心境

一・八〇  
〇・八

木村忠二郎著 (四六判・三一〇頁)  
消防組織法概要

一・五〇  
二〇

深田順次郎著 (四六判・寫眞六十六葉入)  
美と愛と ヴィーナスの考察

一・六〇  
〇・八

鬼頭 昭著・牛深誠一作曲 (四六判・三百頁)  
劇集 或る小さな天才

〇・七〇  
〇・六

中桐唯太郎・水野芳艸著 (四六判二百頁)  
風呂の微笑

一・四〇  
二〇

國民新聞社學藝部編 (四六判・二五〇頁)  
童話集 頭を下げなかつた少年

〇・五〇  
〇・八

臺灣總督府井出季和太著 (四六判・四百頁)  
支那の奇習と異聞

一・五〇  
二〇

近江一郎著 (四六判・三〇〇頁)  
小舟を南洋へ

一・〇〇  
〇・八

五廿目丁五郷本市京東  
番八二二五 京東替振  
番四七〇八川石小話電

房書野平

◆グン・デ・ヴェルデ著◆ (全日本版權所有)

贈 說明書

好評 重版

# 完全なる夫婦

◆全家庭必備の世界的至寶!!  
◆結婚生活者の最高指導書!!

此の世界的名著「三部曲」は、結婚生活に必要ならしめる知識と方法を徹底的に入力し、結婚生活を地上の樂園ならしむる指導書の目的である。我國に於ても出版元ドイツでは卅餘萬部を賣り、我國出版界に王座を占むる好評書である。

第一部 二四五十錢(發禁)  
第二部 九月頃發行豫定  
第三部 二四五十錢  
同附錄 五十五錢  
後篇 五十錢 十六錢

スポーツ・スーリマ  
譯郎一島廣 士學文

改譯版  
避妊の研究  
四六判・四百頁・上製・函入 定價壹圓五十錢(送料十錢)

重版  
結婚讀本  
四六判・二百頁・上製・函入 定價壹圓(送料六錢)

本書は各時代・各國に於ける避妊法・我國に於ける避妊法を詳述し、その要を求め、年々刊行の權威・批判・註釋を兼ね、新なるものも採り入れ、益々大なる故、此の再版は、而も本書に對する要求は、益々大なる故、此の再版は、而も本書に對する要求は、益々大なる故、此の再版は、

五廿目丁五郷本市京東  
番八二二五 京東替振  
番四七〇八川石小話電

房書野平

# 談社發行名著名

賀川豊彦	一粒の麥	一〇三	佐々木邦	苦心の學友	一〇三
中村武羅夫	嘆きの都	一〇六	佐々木邦	全權先生	一〇八
池田宣政	父子	一〇五	佐々木邦	村の少年團	一〇九
高橋定敬	怪奇探偵實話	一〇三	佐藤紅綠	あゝ玉杯に花うけて	一〇五
佐々木邦	地に爪跡を残すもの	一〇八	佐藤紅綠	紅顏美談	一一二
佐々木邦	大番頭・小番頭	一〇三	佐藤紅綠	少年讚歌	一〇五
谷脇素文	川柳 いのちの洗濯	一〇八	佐藤紅綠	一年直線	一一三
平田晋策	われ等若し戦はば	一〇五	佐藤紅綠	少年聯盟	一一八
平田晋策	訂改 われ等の陸海軍	一〇四	南洋一郎	征服 吼える密林	一一八
山中峯太郎	大陸非常線	一〇三	田河水泡	のらくろ軍曹	一一〇
山中峯太郎	亞細亞の曙	一〇三	田河水泡	のらくろ伍長	一一〇
山中峯太郎	敵中横斷三百里	一〇三	田河水泡	のらくろ上等兵	一一〇
山中峯太郎	萬國の王城	一〇九	田河水泡	漫畫常設館	一一三
池田宣政	偉人野口英世	一〇三	田河水泡	漫畫の罐詰	一一二
池田宣政	リンカーン物語	一〇三	牧野大誓	無敵三銃士	一一三
池田宣政	輝く凱旋像	一〇三	牧野大誓	長靴の三銃士	一一三

(〇三九三京東座口替振) 社談講會辯

# 大日本雄辯會講

武者小路實篤	釋	一〇五	野間清治	體驗を語る	一〇二
武者小路實篤	二宮尊徳	一〇三	野間清治	處世の道	一〇二
武者小路實篤	大石良雄	一〇三	野間清治	出世の礎	一〇二
永井柳太郎	大隈重信	一〇五	野間清治	養雑話	一〇二
眞山青果	乃木將軍	一〇六	野間清治	榮えゆく道	一〇五
山中峯太郎	九條武子夫人	一〇〇	野間清治	野間清治短話集	一〇二
澤田謙	ヒツトラ一傳	一〇六	本社編纂	現代青年雄辯集	一〇四
澤田謙	エヂソン傳	一〇三	本社編纂	五分間演說集	一〇八
澤田謙	ムツソリニ傳	一〇二	本社編纂	十分間演說集	一〇八
大江專一	ルーズベルト	一〇三	本社編纂	雄辯法講話	一〇五
鶴見祐輔	ナポレオン	一〇二	加藤唯堂	雄辯法講話	一〇四
鶴見祐輔	英雄待望論	一〇五	鶴見祐輔	母子	一〇四
宮内省監修	皇太子殿下 昭和天覽試合	一〇八	久米正雄	月よりの使者	一〇四
宮内省監修	御誕生奉祝 昭和天覽試合	一〇七	久米正雄	白夜は明るる	一〇二
宮内省監修	昭和天覽試合	一〇八			
丸山鶴吉	五十年ごころ	一〇六			
有富光門	滿蒙探検四十年	一〇二			

雄本日大 川石小・京東 所行發

著名行發社談講會辯雄本日大

八波則吉	文例 少年模範文	一・八〇〇	村岡花子	本イソップ繪物語	一・三二〇
友納友次郎	文例 少女模範文	一・〇〇〇	宮尾しげを	漫畫のお祭	一・三〇〇
西條八十	少年詩集	一・五〇〇	宮尾しげを	○サン、助サン	一・〇〇〇
西條八十	少女純情詩集	一・五〇〇	本社編纂	落語全集(全三卷)各	一・五〇〇
佐々木邦	少女百面相	一・八〇〇	本社編纂	評判落語全集(全三卷)各	一・二〇〇
佐藤紅緑	夾竹桃の花咲けば	一・三二〇	本社編纂	喜劇全集(全三卷)各	一・五〇〇
吉川英治	神州天馬俠(前篇)各	一・三二〇	本社編纂	佐々木邦全集(全十卷)各	一・五〇〇
大倉桃郎	少年戦線	一・三二〇	本社編纂	永井柳太郎(大演第一集)各	一・五〇〇
澤田謙	少年ブリーチターク英雄傳	一・五〇〇	本社編纂	松岡全權大演說集	一・八〇〇
横山美智子	級の光り	一・三二〇	菊池寛	未來花・良人ある人々	一・五〇〇
加藤まさを	消えゆく虹	一・八〇〇	賀川豊彦	海豹の如く	一・三二〇
加藤武雄	海に立つ虹	一・三二〇	菊池寛	仇討新八景	一・二〇〇
吉屋信子	三つの花	一・八〇〇	小島政二郎	新版義士銘々傳	一・六〇〇
宇野浩二	母いづこ	一・三二〇	小山莊一郎	猛獸境探検記	一・三二〇
宇野浩二	父の國と母の國	一・三二〇	高垣陣豹	の眼	一・六〇〇
楠山正雄	小太郎と小百合	一・三二〇	高垣陣龍	神丸	一・三二〇

(〇三九三東京座口替振) 社談講會辯雄本日大 川石小・京東 所行發

月刊實踐國語教育

◆執筆者は斯界の權威を網羅◆

實踐教育を目標として編輯された唯一の國語及理科の理想的教育雜誌!!

◆記事は正確にして且つ標準的◆

◆執筆者は斯界の權威を網羅◆

(行發日一回一月) 錢十四各價定

月刊理科教育

五十嵐力著	◆定價一・五〇	修辭學綱要
宮田覺造著	◆定價四・八〇	最新學校體操精義
大和資雄著	◆定價二・八〇	教育的文學理論
渡部政盛著	◆定價三・八〇	最新教育學精義
安達久著	◆定價三・九〇	系統的日本教育史
安達久著	◆定價三・八〇	近視教育心理學提要

東京市本郷區 啓文社 振替 東京 三八七六





本日教育の根源・著名推薦

- 吉田賢龍先生著 **內的生命觀** (新刊) 函四六判 二送價一・二〇〇
- 文學博士 檜崎淺太郎先生著 **教育革新の本道** (九増版補) 函四六判 二送價二・六〇
- 文學博士 西晉一郎先生著 **教の由つて生ずる所** (九版) 函四六判 二送價一・八四〇
- 文學博士 吉田熊次先生著 **教育學說と我が國民精神** (新刊) 函菊入判 二送價四・二四〇
- 廣島高師教授 佐藤熊治郎先生著 **國民教育の中心問題** (五冊) 六各判四 二送各一・五四〇
- 文學博士 福島政雄先生著 **教育原理概說** (九版) 函菊入判 二送價二・二四〇
- 文學博士 久保良英先生著 **心理學概說** (九版) 函菊入判 二送價一・六四〇
- 文學博士 深作安久先生著 **思想と國家** (五版) 函菊入判 二送價四・二〇〇
- 文學博士 吉田靜致先生著 **倫理學原論** (五版) 函菊入判 二送價四・五二〇

二〇六

發行所 東京市神田區駿河臺三ノ一 目録書店 振替口座東京 九〇八番

目録書店受驗自習參考キト

- 東京高師教諭 山本幸雄先生著 **外國地理** 三五判 二送價一圓二十錢
- 自習受驗 **新制物理要義** 三五判 二送價一圓四十錢
- 中等教育研究會編 **受驗代數問題練習法詳解** 四六判 二送價一圓二十錢
- 中等教育研究會編 **標準國文問題** 四六判 二送價四十五錢
- 中等教育研究會編 **名著漢文問題選** 四六判 二送價六十錢
- 中等教育研究會編 **代數學重要問題集** 四六判 二送價五十五錢
- 中等教育研究會編 **幾何學重要問題集** 四六判 二送價五十五錢
- 中等教育研究會編 **英文和譯重要問題集** 四六判 二送價五十五錢
- 中等教育研究會編 **和文英譯重要問題集** 四六判 二送價六十錢
- 東京高師附屬中學校內 國語漢文研究會編 **國語書取力ード** 初・中 上級用 菊牛裝 最新裝 定價各廿五錢 送料各四錢

1107

東京市神田區駿河臺三ノ一 目録書店發行 振替口座東京 九〇八番

# 觀世流

改訂謠本

謠本界の最高權威！

當刊行會の改訂謠本は常に新界謠本の最高權威であることは、今茲に喋々するまでもない周知の事實であります。此度の昭和決定版は、本文は勿論十頁に互る前附の完備！全卷書下し！黒朱二色刷の豪華であります。今後もこれ以上の謠本は出版不可能と信じ、敢て決定版とした所以であります。

昭和決定版

並	特	一時拂	並	特	一時拂
製	製	金四〇圓	製	製	金五〇圓
價	價	分割拂	價	價	分割拂
一ヶ月金二・三〇宛	一ヶ月金二・三〇宛	二十回拂込	一ヶ月金二・九〇宛	一ヶ月金二・九〇宛	二十回拂込

豫約發賣中！ 内容見本御申込次第進呈

東京市神田區 會行刊本訂改流世觀 區田神市京東 五八二二段九話電 五七四三一京東替振 六ノ三町保神

二〇九

# 數寄屋聚成堂々全廿卷



顧問 高橋義雄先生 數寄屋聚成會  
正木直彦先生 北尾春道編修

鮮麗玻璃版アト紙印刷・四六倍寸伸列  
每卷四十五葉内外圖數約六十乃至八十圖

純粹日本建築の姿

- 1 數寄屋建築史圖聚 (東山松山時代)
- 2 數寄屋建築史圖聚 (徳川時代前期)
- 3 數寄屋建築史圖聚 (徳川時代後期)
- 4 數寄屋建築史圖聚 (明治大正時代)
- 5 數寄屋名席聚 (各流茶室好)
- 6 數寄屋名席聚 (武人文人好)
- 7 數寄屋名席聚 (續武人文人好)
- 8 數寄屋名園聚 (茶庭・書地)
- 9 數寄屋名園聚 (茶庭局部)
- 10 數寄屋名園聚 (庭・書)
- 11 近代數寄屋名席聚 (現代茶人好)
- 12 近代數寄屋名席聚 (寄院式茶室)
- 13 近代數寄屋名席聚 (新興茶室)
- 14 數寄屋住宅聚 (歷史圖樣)
- 15 近代數寄屋住宅聚 (中流住宅)
- 16 近代數寄屋住宅聚 (別荘小住宅)
- 17 數寄屋建築構造聚 (外圍構成)
- 18 數寄屋建築構造聚 (額外圍構成)
- 19 數寄屋建築構造聚 (室內構成)
- 20 數寄屋建築構造聚 (積室內構成)

近代建築への示唆

昭和十年三月第一回配本

内容概及頒布規定制申越次第贈呈

東京市牛込區 洪洋社 東京市牛込區 四二八一二京東替振 二六四四谷四話電 〇一町臺谷市

二〇八





# 滿洲研究圖書

◇上呈代無第次越申御録目書圖◇

滿洲國國務院御編纂

四六版七〇〇頁  
定價一圓五十錢  
送料十錢

## 第二卷 滿洲國年報 普及版

內容  
總說 地理 行政 警察及衛生 水產 貿易  
外交 軍事 教育及宗教 社會事業 農林畜産業 工業 商業及物價 通貨及金融  
交通及通信

滿洲新史 價一、〇〇送、一〇

北滿洲概観 價三、二〇送、一四

滿洲國外貿易統計年報 價三、二〇送、三三

滿洲民族變遷史 價一、〇〇送、一〇

滿洲に於ける糧機 價一、七〇送、〇四

滿洲高粱研究 價一、〇〇送、〇六

滿洲商工事情 價一、五〇送、〇六

滿洲の鑛業 價二、八〇送、二一

店理代京東  
目丁二町川小區田神市京東  
店書堂文海  
(番三九九〇八京東替振)  
(番二〇七二田神話電)

◀所賣發並行發▶  
一十九町伊紀市連大  
會協化文洲滿  
(番〇五八二連大替振)  
(番一四七三國話電)

忽六十五版

# スタンダード英和辭典

▲類書を歴して現代最高の標準を示せる

◆ポケット英和辭典界の大權威!!

各學校の指定辭書

ドクトル・オブ・フィロソフィ  
神戸商業大學教授 竹原常太編  
文部省英語教授顧問 パーマー 兼責任  
ポケット型千三百頁  
優良總羊革裝三方金  
印刷鮮明・製本堅牢  
定價金貳圓八拾錢  
送料金十六錢

八大特色

評批の書本  
スタンダード英和辭典はズツト多右に置いて愛用してゐるが、使へば使ふ程よく出來てゐるのに入心してゐる。新語殊に米の俗語の多く入れてあるは勿論、熟語成句の妥當なるものが實に豊富に取入れてある。同種の他の辭書に比べて役立つこと數倍であります。徒らに語数の多きを誇つて編輯上にかの良心も用ひてない粗雑な辭書の多い中に本辭典のみは不思議に光つてゐるので嬉しく思ひます。此様な辭書こそ學生のみなならず一般の人々にも敢て推奨し度いと思ひます。天理外語承島教授

（語數）現代活用の單語・新語・熟語・成句の總てに亘り絶對的豊富を誇り得る實質的英和辭典である。

（熟語）常用熟語・成句の收載數は如何なるポケット型は勿論、所謂大辭典をも遙かに凌駕してゐる。

（新語）新語の採録とその現代的正譯とは著者の實際文例研究の必然的結果であつて、正に卓越獨歩。

（完備）例研究の必然的結果であつて、正に卓越獨歩。

（實際）著者は眞に「和英大辭典」に於て實際應用文例の研究を大成し更に本書にも及ぼされた。

（發售）文部省顧問パーマー氏が全責任を以て萬國發音記號を記入せられた本邦唯一の發音公認の辭典である。

（指圖）基本標準語一萬を別掲として一々其の重要順位を示し、巻末の標準語表は副讀本の效用を兼ねる。

（入試）本書により入試問題の單語は大凡豫想し得、試験官にも受驗者にも良指針となる。

（至廉）一冊一冊の最廉價である。

目丁三町錦田神市京東  
番九三七二田神話電  
番四〇五〇四京東替振  
行發店書館修大 (本見進)

**鐵道** 國有鐵道採用試驗準備書  
**道** 內容見本急呈

**國有最新就職受驗教典**  
 鐵道に就職するには國作算地歴等で學術試驗が行はれる。之に要する參考書は左記の受驗教典一冊でよい。本院は鐵道受驗専門の出版に十餘年の歴史と十萬餘の愛讀者を有す。信用せられて然るべし。

定價 四圓  
 參金 貳圓  
 圓 貳圓

國語作文……東鐵教習所講師 山田兼勇  
 算術……東鐵教習所講師 陶山實雄  
 地理……東鐵教習所講師 浦上亮一  
 歷史……東鐵教習所講師 前田好次郎  
 受驗手續一般 東京鐵道局書記 廣岡日義  
 試驗門並解答、教習所受驗案内等。

- 發行所 東京鐵道局教習所講師 山田兼勇著  
 東京鐵道局教習所講師 陶山實雄著  
 東京鐵道局教習所講師 山田兼勇著  
 東京鐵道局教習所講師 山田兼勇著  
 東京鐵道局教習所講師 山田兼勇著  
 東京鐵道局教習所講師 山田兼勇著  
 東京鐵道局教習所講師 山田兼勇著  
 東京鐵道局教習所講師 山田兼勇著

二二五

再出版來 現下緊要 教壇の實典

文部省裁縫新教授書準據  
**尋常裁縫科指導細案**  
 細案とか指導書とかいふ種類のものには随分出版されたが、本書は其の中の最も眞面目なもの、最も信用すべきものとして好評を博してゐる。一人一冊必携。

菊判・四八〇頁  
 定價金 一圓  
 送料 金十錢

郷土に立脚した家事裁縫、家事裁縫の施設經營。それが立案は本書に據らなくては後悔するところがあらう。本書は斯方面の唯一無二の參考書である。

菊判美本三四〇頁  
 定價金 一圓八十錢  
 送料 十錢

郷土に立脚した家事裁縫、家事裁縫の施設經營。それが立案は本書に據らなくては後悔するところがあらう。本書は斯方面の唯一無二の參考書である。

菊判美本三四〇頁  
 定價金 一圓八十錢  
 送料 十錢

裁縫の創作的學習  
 奈良の木下竹次先生の名は裁縫創作的學習によつて天下に噴々。その噴々たる名聲の内容を知らんがためには本書に據れ。本書は先生の最近の發表。

菊判美本三四〇頁  
 定價金 一圓八十錢  
 送料 十錢

裁縫及家事社 振替 東京 二八三二

二二四

**日獨書院** 株式會社 **★卓越せる優良參考書★**

東京市本郷區湯島二丁目五ノ七  
 振替東京六二六五六  
 電話小石川三七三

(圖書目錄送呈要二錢郵券)

初級用參考書	東京外語教授 小笠原 稔著	直截に 掴める	印象的獨逸文法	定價 .80	送料 .04
	東京齒科醫學 別府・山田共編	(新刊)	獨逸文法大要	定價 .90	送料 .04
	日獨書院 編輯部編	例解 (動詞篇)	獨逸文法カード	定價 .50	送料 .04
	責任講述者 谷口秀太郎	模範	獨逸語講座(上・下)	定價各 1.30	送料各.08
	明治大學教授 道部・小島共編	日英對照	獨逸語標準單語辭典	定價 1.20	送料 .04
東京外語教授 小笠原 稔著	グリム	お伽噺講義	定價 .80	送料 .04	
中・上級用參考書	東京高校教授 小柳篤二譯註	クローン	獨逸日常生活	定價 1.30	送料 .06
	東京外語講師 ワルナル・ロエン著		實用獨逸語會話	定價 1.20	送料 .06
	醫學博士 濱田三郎著	醫家必携	日獨對譯臨床短文例	定價 1.00	送料 .04
	第四高校教授 小原度正著	帝大受験 參考書	獨文抄釋	定價 .70	送料 0.4
	甲南高校教授 堀田正次著	自修用	獨作練習	定價 .50	送料 .04
	放山口小太郎著	新案和文	獨譯一千題	定價 .80	送料 .04
日獨書院獨逸語全書	日獨書院 編輯部編	帝大入試	獨逸語問題と解答	昭和七年版 1.20 昭和八年版 .50 昭和九年版 .50	送料 .04
	共立女子藥學教授 中山久編	日獨對譯	物理と化學	定價 1.50	送料 .06
	東京醫專教授 松室重行編	日獨對譯	モルナール傑作短篇集	定價 1.20	送料 .04
	タールハイム原著 佐瀬芳太郎譯	日獨對譯	世界經濟	定價 1.20	送料 .04
	續刊告	日對日對日對日對	太平洋爭霸戰 ホーフマンズ エツセイ選集 西洋哲學史 基礎和文獨譯法	定價未定	送料未定

二一七

**權威的學術書藝推**

遠西叢考 (四六判四〇〇頁)	新村出史傳叢考	伊波普猷南島方言史攷	新屋敷幸繁義秋國語教育と國文學研究	津田青楓雜炊(隨筆集)	津田青楓墨莊雜記	田中茂穂魚と人生	篠田太郎近代日本文學研究	森敬三幕末歌壇の研究	渡邊幾治郎著(菊判四二〇頁) 明治史研究
	金田一京助石川正雄共編(三四六頁) 石川啄木研究	宮渡邊秋田兩雀島崎藤村研究	宮田戊子近代俳句研究	石川波オルバルザック批判	木村毅明治文學を語る	内田百間王様の背中	横本レエフ金時計(新童話)	松本喜作農家經營法	松本喜作著(四六判五百頁) 農家經營の根本
	定價 十錢圓 四送五錢料十二	定價 四送二六判四〇	定價 四送二六判四〇	定價 四送二六判四〇	定價 四送二六判四〇	定價 四送二六判四〇	定價 四送二六判四〇	定價 四送二六判四〇	定價 四送二六判四〇
	定價 十錢圓 四送五錢料十二	定價 四送二六判四〇	定價 四送二六判四〇	定價 四送二六判四〇	定價 四送二六判四〇	定價 四送二六判四〇	定價 四送二六判四〇	定價 四送二六判四〇	定價 四送二六判四〇
	定價 十錢圓 四送五錢料十二	定價 四送二六判四〇	定價 四送二六判四〇	定價 四送二六判四〇	定價 四送二六判四〇	定價 四送二六判四〇	定價 四送二六判四〇	定價 四送二六判四〇	定價 四送二六判四〇
	定價 十錢圓 四送五錢料十二	定價 四送二六判四〇	定價 四送二六判四〇	定價 四送二六判四〇	定價 四送二六判四〇	定價 四送二六判四〇	定價 四送二六判四〇	定價 四送二六判四〇	定價 四送二六判四〇
	定價 十錢圓 四送五錢料十二	定價 四送二六判四〇	定價 四送二六判四〇	定價 四送二六判四〇	定價 四送二六判四〇	定價 四送二六判四〇	定價 四送二六判四〇	定價 四送二六判四〇	定價 四送二六判四〇
	定價 十錢圓 四送五錢料十二	定價 四送二六判四〇	定價 四送二六判四〇	定價 四送二六判四〇	定價 四送二六判四〇	定價 四送二六判四〇	定價 四送二六判四〇	定價 四送二六判四〇	定價 四送二六判四〇
	定價 十錢圓 四送五錢料十二	定價 四送二六判四〇	定價 四送二六判四〇	定價 四送二六判四〇	定價 四送二六判四〇	定價 四送二六判四〇	定價 四送二六判四〇	定價 四送二六判四〇	定價 四送二六判四〇
	定價 十錢圓 四送五錢料十二	定價 四送二六判四〇	定價 四送二六判四〇	定價 四送二六判四〇	定價 四送二六判四〇	定價 四送二六判四〇	定價 四送二六判四〇	定價 四送二六判四〇	定價 四送二六判四〇

**院書浪樂** 地番四五〇二ノ一田古江區野中市京東  
 番〇八〇一谷四話電七四〇〇八京東替振

二一六

# 交響音 管絃樂

伊庭孝責任編纂・樂壇權威者十餘名執筆  
世の音樂愛好者よ！本書によりて名曲の  
眞隨を味讀せよ！

本篇は交響詩、他に組曲、舞踊曲、序曲等を包  
容し、亦通俗的の娛樂曲、歌劇の序曲にして獨  
立的なもの、交響曲にして特殊の標題を有す  
るもの、及び近代曲のものを各權威者の手  
明達意の筆によつて解説す。之が泰西の作曲  
者は百五十餘家、之が名曲は五百曲を超ゆ。  
尙作曲者のABC順によりA—L迄を上巻に  
M—Zを下巻に收めてある。  
四六判總布裝・函入・約五百餘頁 定價各三・五〇  
本文新編八\*・挿入樂譜約六百餘 送料各〇・一四

前東京音樂學校教授乙骨三郎氏學生の大  
業成る！日本人の筆になる最初の西洋音  
樂史。堂々八百餘頁の豪華版！  
本書は稿を起してより十數年の長き歲月に亘  
り鋭意刻苦一字一句を忽せにせざる著者の  
眞面目は病床に呻吟して尙之が彫琢の筆を  
抛たず本書の脱稿と共に忽然として長逝さる  
に本書を先生の代稿と共にして待望の書た  
り。關心を持つ士の一讀翫味すべき待望の書た  
り。  
挿入圖版の豊富、正確なること正に記録的  
四六判總布裝・函入・約八百餘頁 定價四・五〇  
(送料〇・一四)

# 西洋 音樂史

東京市神田區淡路二丁目一七番  
東京市橋區四ノ五番九〇三番

東京文社

高木壬太郎	基督教大辭典	二五・〇〇
阿部義宗	基督教大辭典 増補版	四・五〇
別所梅之助	聖書民俗考	二・〇〇
別所梅之助	聖書動物考	三・〇〇
マクネヤ	改讚美歌物語	二・二〇
別所梅之助	訂讚美歌物語	二・二〇
竹中勝男	社會と基督教の經濟倫理	一・五〇
トウニ	宗教と資本主義の勃興	一・八〇
賀川・健田	宗教と資本主義の勃興	一・八〇
海老澤 亮	宗教教育教授法要領	一・〇〇
海老澤 亮	聖地パレスチナの今昔	〇・八〇
渡邊善太	舊約書の文學	二・二〇
渡邊善太	預言文學	二・二〇
渡邊善太	詩歌と劇	一・五〇
渡邊善太	舊約書の文學	二・五〇
渡邊善太	歴史文學	二・五〇

小出正吾	童話りんご	〇・九五
ロバトソン	秘めたる新約聖書ロマンス	一・三〇
福田君子	秘めたる新約聖書ロマンス	一・二〇
網島佳吉	逆境の福音	一・〇〇
山田寅之助	耶穌傳	二・〇〇
田中龍夫	神の發見	二・〇〇
田中龍夫	科學の哲學及宗教	二・五〇
田中龍夫	革新と科學の哲學及宗教	二・五〇
田中龍夫	物質觀の革命	一・四〇
警醒社編	對註新約聖書	三・五〇
藤井 整	N・R・Aの米國	一・五〇
小泉一雄	父八雲を憶ふ	二・五〇
櫻井忠温	塹壕のある顔	一・五〇

東京市神田區淡路二丁目一七番  
東京市橋區四ノ五番九〇三番

警 醒 社

東京市神田區淡路二丁目一七番  
東京市橋區四ノ五番九〇三番

# 優 良 科 學 名 著 選

改稿物理學通論 本多光太郎氏著 五.三〇	高校物理學本論 本多光太郎氏著 上巻.五.三〇 下巻.四.三〇	物理學詳解講義 本多光太郎氏著 五.三〇	應用物理學實驗 眞島正市氏著 外四名共著 四.三〇	ベクトルとテンソル 山田光雄氏著 三.三〇	電 子 論 三枝彦雄氏著 四.三〇	新 電 子 論 三枝彦雄氏著 四.三〇	電 氣 磁 氣 學 三枝彦雄氏著 五.三〇	質 點 の 力 學 玉城嘉十郎氏著 四.三〇	増訂 化 學 語 彙 日本化學會編 三.三〇	無機化學要説 越山季一氏著 二.七〇	化學理論及計算 越山季一氏著 五.三〇	有機化學構造論 全二冊 山岡 望氏著 上.六.三〇 下.七.三〇	わが有機化學 山岡 望氏編 三.三〇	實驗有機合成化學 全二冊 森山剛一郎氏著 上.三.三〇 下.八.三〇
代 數 學(全二冊) 藤原松三郎氏著 上.七.三〇 下.八.三〇	微分積分學(第一卷) 藤原松三郎氏著 四.三〇	微分積分學序論 池田芳郎氏著 三.三〇	高等代數學通論 池田芳郎氏著 三.三〇	高等代數學通論 山崎榮作氏著 四.三〇	植 物 學 通 論 石川光春氏著 上.二.三〇 下.四.三〇	改刻新版 植物學通論 石川光春氏著 上.二.三〇 下.四.三〇	大學入學試驗に於ける 生物學問題集附解釋 石川光春氏著 一.八〇	樹 木 和 名 考 白井光太郎氏著 一.五〇	植物分類學 第一卷 早田文藏氏著 一.五〇	植物分類學 第二卷 早田文藏氏著 一.五〇	藻類系統學 岡村金太郎氏著 二.〇〇	日本細胞學史 篠遠喜人氏著 六.五〇	細胞學總論 田原正人氏著 三.五〇	

東京市本橋區 田内老鶴園 電話 振替東京一四六一  
東京市本橋區 田内老鶴園 電話 振替東京一四六一

# 營 業 要 目

## 體 育 部

- △體育館施設及兒童遊園ノ設備
- スライディング式吊棒吊索トラベリング吊環其他特殊ノ技術ヲ以テ設計製作ス
- チエストウエート其他矯正用器械器具製作
- △體操器械器具ノ製作
- 高低式横木高低閉閉式バラレルバー
- 殊ニスプリングボールドハ特殊ノ用材多數準備ス
- △陸上水上競技用具
- 野球、庭球、蹴球、籠球ノ設備及用具、ヴァレー、バスケツト、ドッチ用ノ優秀ボール
- △運動會用諸用具
- △身體檢査用、度量衡器其他一式

## 理 化 學 部

- △理化學器械及理科室ノ設備
- △博物及學術標本及各種模型類

創業明治三十三年ノ老舗

# 合 資 會 社 杉 田 日 進 堂

東京市神田區錦町三丁目四番地  
電話 神田一五五七番  
振替東京一八九〇番

哲學倫理學理論教育學參考書

同	三浦藤作者	田中潤一著	同	八住利雄著	宮原 眞著	同	同	香原一勢著	杉浦重遠著	山根鎮夫著	同	香原一勢著
表解	倫理學	初學者の爲の現代思潮概論	初學者の爲の美學概論	初學者の爲の文學概論	初學者の爲の論理學概論	初學者の爲の社會科學概論	初學者の爲の心理學概論	初學者の爲の倫理學概論	初學者の爲の東洋哲學史	初學者の爲の東洋哲學	初學者の爲の西洋哲學概說	初學者の爲の哲學概論
西洋	日本	三浦藤作者	同	阿部清美著	川崎利市著	河野通保著	杉上長造著	三浦藤作者	渡部政盛著	同	倍賞義雄著	同
三・五	一・四	一・三	一・三	一・三	一・三	一・三	一・三	一・三	一・三	一・三	一・三	一・三
四〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
稻森縫之助著	西治公著	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
生命の勞作教育	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
二・一六	二・一八	二・一三	二・二〇	二・一八	二・一八	二・一八	二・一八	二・一八	二・一八	二・一八	二・一八	二・一八
四〇	六〇	四〇	〇〇	四〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
番三七四五二京東座口替振	番八一二川石小話電	番八一二川石小話電	番八一二川石小話電	番八一二川石小話電	番八一二川石小話電	番八一二川石小話電	番八一二川石小話電	番八一二川石小話電	番八一二川石小話電	番八一二川石小話電	番八一二川石小話電	番八一二川石小話電
房書化文	房書化文	房書化文	房書化文	房書化文	房書化文	房書化文	房書化文	房書化文	房書化文	房書化文	房書化文	房書化文
區郷本市京東	區郷本市京東	區郷本市京東	區郷本市京東	區郷本市京東	區郷本市京東	區郷本市京東	區郷本市京東	區郷本市京東	區郷本市京東	區郷本市京東	區郷本市京東	區郷本市京東
地番三町生彌	地番三町生彌	地番三町生彌	地番三町生彌	地番三町生彌	地番三町生彌	地番三町生彌	地番三町生彌	地番三町生彌	地番三町生彌	地番三町生彌	地番三町生彌	地番三町生彌

版七

樂典

最も完全にして最も新しい樂典であり、その説明は教科書的でない、最新の方法に従ひ、懇切周到を極めてゐる、音楽を習ひ初める者、音楽理論の研究、實際家の便覧として好参考書である。

版五

最新音樂辭典

- 一、本辭典は東京放送局の檢定語による
- 一、語数は歐和七〇〇〇語を収む
- 一、言葉の選擇は現代語を主とする
- 一、言葉の説明は簡単にして要を得
- 一、發音は各國語に亘り妥當を得
- 一、和歐辭書あり見出五〇〇引用二〇〇〇
- 一、シヤズ音楽の最新用語滿載
- 一、各國音樂家人名辭書の收録
- 一、活字新鑄、印刷鮮明無比

版再

哲學敎説

本書は我國古聖先哲の思想を西歐哲學移入に即する新形式を以て紹介してゐるものである、我國從來の哲學入門書は即ち西洋哲學のそれを指すものと稱すべく、茲に本書を得て始めて有るべくして生れざりしもの、誕生を見たりと言ふべきである。

正統計算練習

模範算術學習書

Commonest mistakes in English 四六洋布 一〇〇頁 定 1.10

Sentences in Basic English 菊版一〇〇頁 定 .30

基礎日本語 土居光知先生著 菊版128頁洋布 (普及版) 定 1.00

擬古文讀本 吉田辰次先生著 菊版 150 頁本 定 0.50

東京市神田區 六星館 振替東京四六二三六番 佐久間河岸三七 電話 下谷 一七九三番

1111111

11111

藤井達吉先生著 (參百部限定出版・再版絶對不可能)

# 達吉 創作 染織圖案集

縦一尺三寸五分横一尺  
厚さ二寸絞製絞染タト  
ウ箱入 定價貳拾五圓  
特價貳拾圓  
送料内地五拾四錢

### 特色

●木版手摺十數度刷・比類なき超豪華版・染織圖案界の驚異  
●應用範圍は廣汎・染織業界へ革命的衝動を與へる大圖案集  
●學校に圖書館に應接室に織元に・外國人への贈物に到る處で大歡迎

外箱圖案一・表紙  
圖案一・扉圖案三

本圖五十葉

(圖案六十一圖)

モチーヴが、自然の視野から採集されたところの景色を草に限られてゐるけれども、收められたところの本圖案五十葉六十一圖のオリヂナルは、染織の圖案と標識してはゐるけれども、裝幀に、印刷に、陶磁に、漆器に、刺繍に、硝子に、木工に、總ゆる工藝及び圖案一般に應用して、いさゝかの遺憾のないものばかりである。わけでも、紙質は、著者の郷土の山奥にて漉かせたものであり、木版た第一人者たる山岸主計氏の刀の冴えたものであり、摺りもまた西村熊吉氏の腕の確かさに俟たされたのであるだけに、外包の紺紙の木版から初まつて、外箱の絞りの装ひから、表紙から、扉繪から、まことに高尚にして優雅な圖案集として、また家庭の趣味的な裝飾品としても、よくその眞價を示した教育家、文藝家並びに實際營業者の左右に必携の創作集として推薦する所以である。

杉浦非水先生著

## 非水 創作 圖案集 一

非水氏唯一の圖案大成  
全五十葉八十八圖何れも  
木版十數度摺の豪華本

定價拾八圓  
特價拾五圓  
送料内地五拾四錢

發行所 東京市麴町九段一ノ四番 文雅堂

月刊 雜誌

# 綴り方俱樂部

世に雜誌は多からん。あるひは、華美にあるひは豪華に、その絢爛を誇る雜誌は多からん。されど眞に子女百年の前途のために、心を痛めたるは少し。

心の健を期せば先づ良心もて編輯する

本誌一度世に出づるや、心ある人々は誌面に流るゝ編輯者の至誠を汲んで、日を逐ひ月に従つて隆盛を極む、今や全國小學校に愛讀者を有する實に參萬。

本誌によれ良誌は啻に愛兒の手に

實に綴り方は子供の生活なり、従つて文はその鏡なり、歪める者は歪み、正しき者は正し。されば本誌によつて學業を通じ、人間の育成を完成せしむるも宜なり。

のみかは必ずや家人悉く聲を和して讀まん

每號誌面に推薦さるゝ小學校凡五十、推薦さるゝ作者尋一より高二まで百五十人見るからに天下の偉。父も讀め、母も讀め、師も讀め、眞に大衆の教育雜誌。

★百田宗治先生選詩  
★千葉春雄 編輯

よつて、愛兒の心を伸長せしめよ、滋味芳醇にして忽ち強壯なる心身を鍛へるこゝが出来よう

▲毎月一日發行  
▲但し前月五日店頭にあり  
▲定價一冊參拾錢  
▲送料 不要

★東京市麴町六下番三番地 東宛書房 振替東京二六二番四番

入封手切鏡二・望進本見容内

# 把め榮冠!! 逃すな良書

獨學受驗の界最の大權威  
高橋鐵也先生著  
法學士

<p>高橋鐵也先生著 法學士</p> <p>獨學受驗準備指導研究</p> <p>價銀十圓</p>	<p>高橋鐵也先生著 法學士</p> <p>試驗問題全集</p> <p>價銀八圓</p>	<p>高橋鐵也先生著 法學士</p> <p>模範答案集</p> <p>價銀九圓</p>	<p>高橋鐵也先生著 法學士</p> <p>女子專檢問題集</p> <p>價銀八圓</p>	<p>高橋鐵也先生著 法學士</p> <p>女子專檢模範答案集</p> <p>價銀九圓</p>	<p>高橋鐵也先生著 法學士</p> <p>職業指導總案內</p> <p>價銀十圓</p>	<p>高橋鐵也先生著 法學士</p> <p>立身指導總案內</p> <p>價銀十圓</p>	<p>高橋鐵也先生著 法學士</p> <p>實業學校肄業試驗問題全集</p> <p>價銀十圓</p>
--	--	---	---	---	---	---	--

昭和七年度... 試験問題全集... 模範答案集... 女子專檢問題集... 女子專檢模範答案集... 職業指導總案內... 立身指導總案內... 實業學校肄業試験問題全集

東京市神保町一丁目 弘文堂書店 振替五〇四 口座五〇四 東京五〇四

各地販賣に切實のれ際發行所宛直接注文願

境鏡解釋	增鏡讀本	常用最新字典	新俳畫講座	釣狂五十年
堀本哲三著	同	同	俳畫講座刊行會	松岡文翁著
價銀 六二〇頁 三・五〇	價銀 四六〇頁 一・八〇	價銀 三五〇頁 一・八〇	價銀 七五〇 三・〇〇	價銀 七〇〇 三・〇〇

改訂幾何學考へ方	訂四國文考へ方	訂四漢文考へ方	算術學力増進法	幾何學と研究 受驗新法	幾何學軌跡作圖 吟解法	代數因子分解活法	省略算
藤森良藏	堀本哲三	同	松岡文太郎	同	佐久間謙	松岡文太郎	金澤卯一
價銀 二二〇 〇・六	價銀 一三〇 〇・六	價銀 一三〇 〇・六	價銀 二〇〇 〇・二	價銀 二〇〇 〇・二	價銀 一八〇 〇・六	價銀 一六〇 〇・六	價銀 一六〇 〇・六

東京日本橋區 青野文魁堂 電話(24)三八〇八 振替東京一五九二五



昭和最新版

# 大字典典

上田萬年博士・岡田正之博士・飯島忠夫博士  
榮田猛猪教授・飯田傳一教授共編

新定價 金三圓五十錢 内地送料金三十錢

東京・丸ノ内三ノ六  
振替東京二〇五五

株式會社 啓成社

電話 丸ノ内二六八六番

二二九

大字典の絶對的優越  
名實共に断然類書を抜く

堂々三千頁  
總字數二萬五千餘  
熟字成語十三萬餘  
指定校數二千二百餘  
重版千八百五十回  
總發行部數百七十六萬餘

内容實物見本御申越次第進呈

## 漢和字典界の最高權威 絶對の信用無限の需要

懸賞文挿入あり

# 増訂 最新圖說 內外植物誌

編共 理學博士 齋藤 功太郎  
功太郎 藤吉 禮部 齋藤 功太郎  
訂増 禎一郎 賀大 禎一郎



〔最新刊〕

特價提供 (限部千五)  
背紙 定價 特送  
革金 價金 料  
文金 拾金 廿金  
字百 千二 拾金  
裝頁 圓圓 圓

◇本書は既に發行した「内外植物誌」に大增訂を加へたもので類書中の最高權威書と自負する。  
◇本書所載の植物は本邦産普通種の總てと外國産の重要種を網羅し約二千九百餘の圖版を挿入し、各植物の説明・産地・効果等は勿論植物分類法各科の特徴分布等をも記述した。  
◇又、最近研究に由る新學名を採用し、必要なものに有つては舊學名をも併記し、滿洲植物を増補し、新に學名索引を附して一層の整備を圖つた。

發行所 東京銀座一丁目 大日本圖書株式會社  
振替東京二九一

二二八

全學界、讀書家の絶大なる期待、聲援裡に今や歩一步、卷また卷、完璧無比の総合的國語『大辭典』は日に日に完成への

全廿四卷

# 大辭典

日本語を語る人種必備の寶典

本大辭典は日本人が嘗て用ひまた現に用ひつゝある一切の「辭」を網羅する、凡ゆる術語辭典、専門語の辭典から人名、地名、動植物より、方言、古語、俚語、語原、音韻、五體漢字典等をも兼ね、政治外交、法律、社會、宗教、科學、家庭、醫學、農商工業、美術、音樂、哲學、文藝、歴史、經濟は勿論の事外來語、有職故實、故事成語、隱語、通語辭典等の用をも兼ね備へて居る。而してその採録語彙の解説は現學界の専門大家の模範的解説を附し、語彙は廣く原本文獻から拾ひ、現代用語にはアクセントを附し、一切の語彙を表音的に排列する等、最も新しい特色を有してゐる。而も之を印刷するに鮮明なる單式印刷を以てし、その裝幀たるや明瞭なる空色の美本と爲し、書齋の高級裝飾品とも爲す事が出来る。加之その價格の廉なる事既に一切の書籍にその比を見ず、普及の爲めその採算を度外視する。日本の國家的大業たる本大辭典の完成の爲め滿天下の讀書家の國民的援助を切願する。

一路を辿りつゝある。此の世界的最大最高の日本國語總辭典の完成の爲め尙一層の御熱援を祈る！

定價 一冊 五圓 毎月一冊配本  
豫約規定  
既刊全拂 特價一冊 四圓  
申込と同時に既刊分拂込あと順次拂込毎一冊配本  
毎月分拂 特價一冊 四圓  
申込の月より毎月拂込毎に配本  
全卷一時拂特價 廿四卷 九圓  
申込と同時に金九十四圓拂込既刊即時配本あと毎月一冊宛配本  
既刊七冊 (昭和十年一月現在)

東京 東橋本 平凡社 振替 九三六 東京 九

工學博士 齋藤 大吉 著

## 金屬材料及其加工法 金屬篇

菊判三〇〇頁 定價 三圓 送・一四

最近に於て驚異すべき發達をみせた各種金屬材料及其加工法について新界の權威なる著者が蘊蓄を傾倒せる新著。この金屬篇は第一卷に該當し、各種金屬の歴史、現在の製鍊法、各種の性質、用途、生産額、價格の變遷等を懇切に練説してゐる。

工學博士 宮城 晋五郎 著

## 改訂 宮城 渦卷 ポンプ

菊判四〇五頁 定價 三圓五十錢 送・一四

名著「渦卷ポンプ」の全的な改訂にして、最近まで發達し來つた代表的な新ポンプの理論及計算を要説すると共に、著者の卓見卓説を隨所に示してその赴く所を明らかにしてゐる。學究者及實際家の好指針である。

工學博士 大島 義清 著

## 燃料及燃燒概説

菊判二八八頁 定價 二圓五十錢 送・一四

燃料及其燃燒並に熱の利用効果に關する技術的概念を平易に習得せしめんとするもの。燃料の合理的燃燒から熱の利用効果増進を説述して以て燃料節約よりその資源充實に及び、技術的にして理論に偏せず、巷間の類書が缺く重點を網羅してゐる。

商工省技師 尾川 岸太 著

## 浸透劑及浸透性試驗法

菊判二二四頁 定價 二圓八十錢 送・一四

多種多様の浸透劑につき從來のものは勿論、新たな試驗方法、測定裝置を創案、各種新劑を比較試驗して浸透性の意義を明確にするのみならず、既往の所説を實驗的に是正してその進歩に示唆を與へてゐる新著。

通橋本日京東(所行發)

京 札 仙 福 横 大  
城 棧 臺 岡 濱 阪  
丸 善 株 社 凡 平

ルピ丸・田稻早・田三・田神=京東

◎本書は断然受験数学の王座を占むもの!

# 新修百科大辭典

定價 八圓五十錢  
内地送料 三十錢

萬有知識の大寶庫

(内容の一斑)

- ▲本文一、七一四頁
- ▲別刷圖版一〇〇餘頁
- ▲挿畫四、〇〇餘圖
- ▲附録常用百科便覽

(特長)

- ▲優美高尚且つ堅牢第一の製本装幀
- ▲最高技術印刷の粹を盡し鮮明無比
- ▲價格線をリードしたる犠牲的廉價
- ▲説明は平易簡潔にしてしかも明快
- ▲新語はもとより古語も餘す處なし
- ▲最も圓滿なる常識と普遍的知識

# 新修漢和太字典

定價 三圓八十錢  
總革 五圓五十錢  
内地送料 三十錢

文學博士 小柳司 氣太著

斯界の最高權威小柳博士の全人格と全蘊蓄の結晶は遂に成る! 全國各學校採用の模範的太字典!  
◆◆◆總字數一萬八百有餘  
◆◆◆熟語成句十萬  
◆◆◆四段組二千三十二頁

- ◎二十餘年努力編纂内容正確
- ◎五年を費せる鮮明なる高級印刷
- ◎犠牲を惜まぬ最低廉の價格

東京文理科大学助教授 間谷 力先生序  
陸軍教授 理學士 宮田正彦先生著

(忽三版)

内容見本進呈

# 受験 補習 代數のちから

東京文理科大学助教授間谷先生は本書に序して「著者宮田君は受験界の新人である。其の内容豊潤・充實、各例題の選擇、新傾向問題の挿入、解法の平明にして嚴密、印刷の鮮明、装幀の新味等の點に於いて申分なく、確に本書は新時代の受験書として満天下の受験生に薦め得る……」と述べてゐる一事に徴しても本書は受験界の王座を占むべきものと信ずる。

新刊 四六版上下各四〇餘頁  
上下全 貳冊  
定價 各壹圓五拾錢  
送料 各八錢

東京市神田區鍛冶町一丁目四番地  
文盛堂出版部

電話(25)神田四六一  
振替口座東京三九〇

二三三

二三三

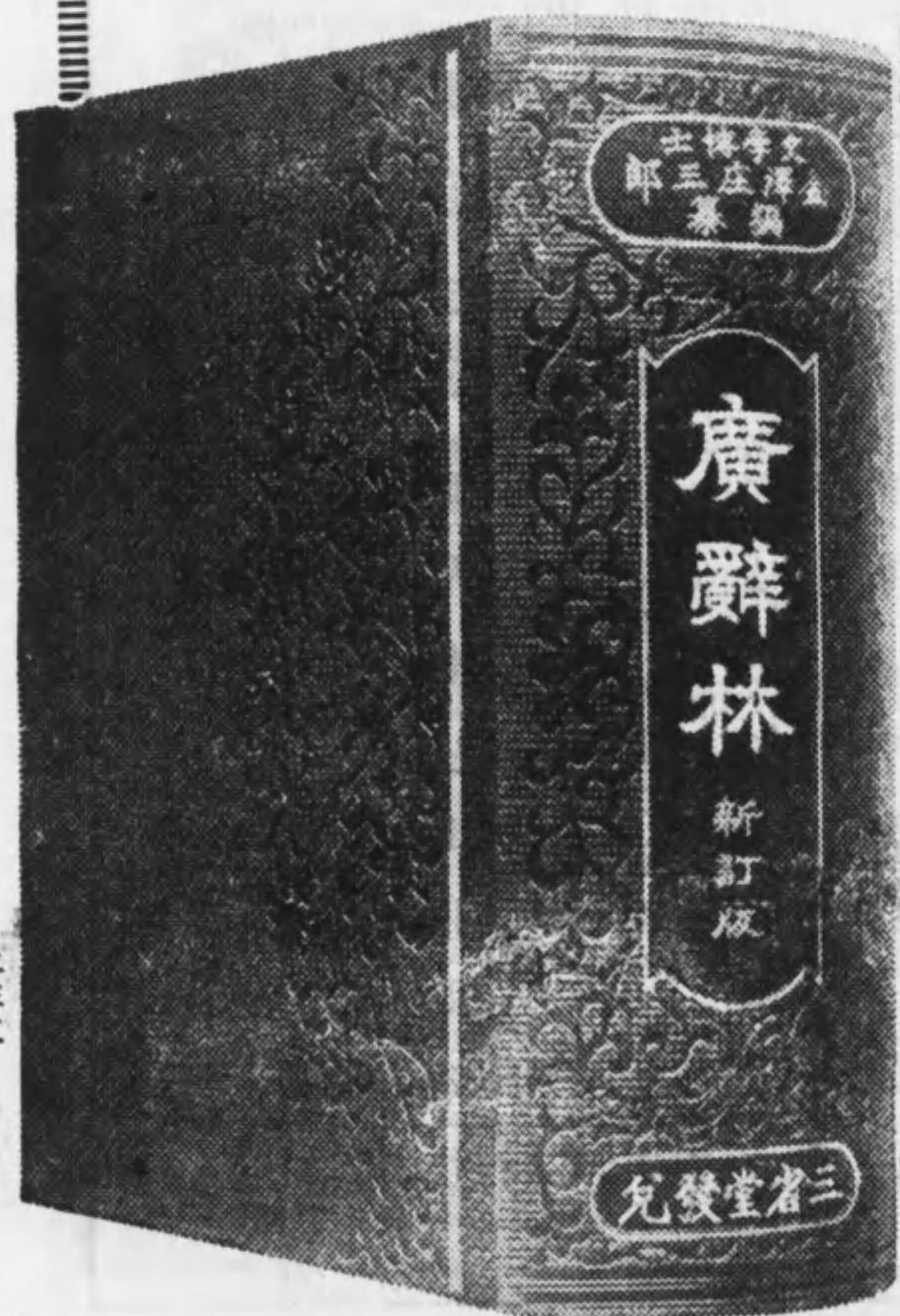
●東京日本橋區本町 博文館 振替東京二四〇番●

編生先郎三庄澤金士博學文

# 廣辭林

— 版訂新 —

林辭定指校餘十五千二國全



これさへあれば學習に、實務に不便と云ふ事を感じない。

正に日本一の國語辭典!!

四六判・總クローズ装・挿畫豊富・二千頁・函入  
三百萬部突破 二圓九十錢 (送料三、二〇)

東京市神田區神保町一  
振替東京三一五五五番

三三三 三省堂

大阪市西區興盛座下通  
振替大阪八一三〇〇番

三省堂發行

二三五

三省堂版

!! 賣發版新度年十和昭

# 新輯六法入玉書

參照條文及事項索引附

著任責纂編

東京帝國大學教授	宮澤 俊義
東京地方裁判所判事	日沖 憲郎
士浦區裁判所判事	元林 義治
東京地方裁判所判事	赤木 曉
東京地方裁判所判事	河本喜與之
東京控訴院判事	前野 順一
東京地方裁判所判事	尾後實莊太郎
東京地方裁判所判事	城 富次

三省堂編輯所編纂 訂判・革製・優良紙使用・爪掛付  
買に六法を適用する爲には、どうしても完備せる參照條文と事項索引とが必要である。本書は最新までの法令を悉く收め、個々の條文には詳密なる參照條文を、又各法の末尾には事項索引を、巻頭には全法令の總目次を、各編の始めには簡明なる法令の見出と別に詳細なる目次とを掲げたから、その檢索に際しては、研究たると實社會活用の爲たるとを問はず些の不便をも感ずる事がない。また參照條文は單に之を掲ぐるのみに止らず如何なる點で參照せらるべきかを述べ、事項索引も徒に條文の語詞のみに提はるゝ事なく、學問的で實際的の語彙を収録した。且つ之が責任編纂に當られし新界の權威八氏は、學者であり實際家でもあるから、本書が最新にして極めて學的價值高く、又實社會にも活用し得る最高完璧の六法たるは實ふまでもない。而かも價格の至廉なるは絕對他の及ばざる所である。

三省堂編輯所編纂

訂判・革製・優良紙使用・爪掛付  
定價一円九十錢・送料八錢

三省堂

東京市神田區神保町一  
振替東京三一五五五番

大阪市西區興盛座下通  
振替大阪八一三〇〇番

二三四



島崎藤村著 全二卷

# 文學予讀本

これは一世の文豪の體驗記録だ！ 思索する  
默示録だ！ 春夏の巻出てて季節は茲に蘇る  
のだ！

文豪藤村先生の眼裏の世界は、「春夏の巻」に入るに及んでますます深え、端正・静雅なる風格は、自然と人生を清新に體  
現する。  
春と夏よ！ われらは如何に愉しく、如何に豊かに、日の光り  
と樹の蔭を暮つてゆくのか？ この快適な季節には感激がわ  
れらの生活にも溢れ出るのだ！  
この文豪の思念の深さ！ 感情の豊かさ！ この新鮮な描寫  
は、われらをして高いイデーの世界へ導きだせるのだ。

春夏の巻・秋冬の巻

文部省・省部文  
本日圖書協推會漢



四六判四百十頁  
定價一圓八十錢

第一書房好評増刷書

岡田正三著 論語講義 四六判四百三十頁 定價一圓五十錢

高神覺昇著 眞理を歩む 四六判四百頁 定價一圓五十錢

山田靈林著 禪學讀本 四六判三百三十頁 定價一圓五十錢

友松圓諦著 阿含經講義 四六判三百三十頁 定價一圓五十錢

木村善之著 西行 四六判三百六十頁 定價一圓五十錢

平野止夫著 親鸞 四六判五百二十頁 定價一圓五十錢

三井光彌譯 シツダールタ 菊判二百頁 定價一圓

西川一草亭著 風流生活 四六判三百二十頁 定價一圓五十錢

大田黒元雄著 洋樂夜話 四六判二百七十頁 定價一圓

田部重治著 心の行方を追うて 四六判三百六十頁 定價一圓

## 林 權助述

四六判四百十頁  
定價一圓八十錢

### 日露戦役後三十年！

國運を賭して  
活躍する日本外  
交の活舞臺！

國際的事件百十二、  
登場人物五十人！  
是は一世を聳動し  
た日本外交の側面史だ！



林男の活躍した跡には太い線がのこる。日清、日露の兩戦役から  
日露併合へまで引きずつて行つた國策の軌道！ この時期は事件と  
とに列國の野心の手が極東を覆ひ、一步を誤れば日本も傾滅する  
その重大危機だ！ そこに備として現地交渉の第一線に立ち、翻  
えず強引に事件を處理して、日本外交の勝利を擲んだのが林男だ！  
これぞ深く深奥な側面史である。

この險謀と謀詐の躍動する國際外交戦に、或は強引に、或は理詰  
めに、不動の信念を以て闘えず、先を制して國策を敢行した林男の  
苦心と手廻し！ そこに我々は、一人の確固たる信念がいかにか國家を  
正道に立たせ、一人の正義感がいかにかに不純な策動を排撃するかの事  
實を見るのだ！

全國書店にて發賣中

第一書房の雑誌「セルパン」  
を毎月お読み  
下さい。



東京麹町  
三番町一  
番 第一書房  
振替東京  
二四二二三

## 第一書房







哲學(哲學一般)

佐藤 慶二	船山 信一	廣島 定吉	哲學研究會譯	廣井 武夫	伊藤 安二	スズキ アラント	菅 圓吉	藤平 武雄	佐々木 隆彦	石丸 梧平	福來 友吉	大森 義太郎
認識論の概説	認識論としての辯證法	唯物辯證法辭典	唯物的唯物論	史的唯物論	社會科學の方法論	歴史及宗教哲學	現代の宗教哲學	歴史と生の哲學	現代の代表的哲學	創造哲學概論	生命主義の信仰	まてりありすむす
洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六
278	393	306	170	822	281	361	334	326	209	392	447	310
一七〇	二〇〇	二〇〇	一〇〇	一〇〇	二二〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	三〇〇	二〇〇
理想社	政經書院	ナウカ社	白揚社	ナウカ社	敬文堂	新協書院	日本評論社	モナス	理想社	人生創造社	人文書院	中央公論社
二月	六月	四月	三月	五月	五月	三月	九月	十月	四月	八月	四月	八月
▲哲學の基礎たる認識論に就ての概説で、認識論の問題、認識の問題の二章。▲「認識論としての辯證法」に就いて、歴史的なもの、論理的なもの、日本現代哲學批判の典、用語其他を五十音順に排列す。哲學辭典で、用語其他を五十音順に排列す。	▲第廿六冊は、量の質への移行並びにその逆の法則(ヤンコフスキー)外四篇。	▲史的唯物論に就て述べたもので、辯證法的唯物論と唯物史觀外八章。▲合編版	▲ミルの社會學方法論を譯出したもので、緒言、自由と必然とについて外十章。	▲「歴史哲學」「宗教哲學」の二篇の譯。	▲アルナトの「哲學の館」中の一部たる「歴史哲學」の宗教哲學を述べ。	▲ハイデッゲルに於ける「有限性」の把握に就いて(高橋里美)外十一篇より成る。	▲人生創造哲學に就て論述されたもので、哲學序説、人生創造哲學、價值創造論外二部。	▲生命主義の人生觀に就て述べた書で、生命主義の信仰、生命の流れ、信仰の生活外八篇。	▲哲學に關する論文集で、まてりありすむすみりた入す、唯物論の旅のもとに外五篇。	▲觀念論から唯物論への發展の必然性を説述したもので、世界觀としての唯物論外六篇。	▲科學の目的と其方法、自然科學發達の徑路現今の代表的な科學者の態度外五章。	▲自然科學の唯物論的基礎を説述した書で、宗教に就ての回想、エチソン外十四篇。

西洋哲學・西洋思想

船山 信一	大島 豊	岡 邦雄	梯 明秀	松原 寛	文士 健人	岡田 隆平	松本 義雄	永野 芳夫	岡田 正三	岡田 正三	阿久部 保次
觀念論から唯物論へ	自物科學より哲學へ	唯物論と自然科學	物質の哲學的概念	西洋哲學物語	哲學(ヘーゲル集)	近世哲學	現代歐米の哲學	現代歐米の哲學	パイド	宴	宴
洋四六	並編	並四六	並四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六
362	185	336	505	209	498	512	222	319	226	214	241
一〇〇	一〇〇	一〇〇	三〇〇	六〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇
大畑書店	第一書房	大畑書店	政經書院	同文館	岩波書店	鐵塔書院	政經書院	改造社	第一書房	第一書房	岩波書店
一月	六月	二月	二月	五月	九月	二月	五月	十一月	六月	三月	十月
▲觀念論から唯物論への發展の必然性を説述したもので、世界觀としての唯物論外六篇。	▲科學の目的と其方法、自然科學發達の徑路現今の代表的な科學者の態度外五章。	▲自然科學の唯物論的基礎を説述した書で、宗教に就ての回想、エチソン外十四篇。	▲物質過程、イデオロギー批判の二部にて論述せるもの。	▲西洋哲學に就て述べたもので、希臘時代の哲學、中世より文藝復興へ外七章。	▲ヘーゲルの哲學史を譯せるもので、上巻は哲學史の緒論、東洋哲學其他。	▲第二巻は希臘哲學で、前期の第二部、前期の第三部の二章より成る。	▲序言、ヴェルラムのフランツ・ペーコンヨリヤコブ・ペーメまでを譯載。	▲佛、英、米、伊の哲學を紹介せるもので、現代フランスの哲學外四篇。	▲毒藥をあふつての死の直前にあるソクラテスの口から魂の不死を説かした哲學談。	▲戀愛の聖典としてプラトンの著作の中で最もひろく讀まれてゐる宴篇の譯。	▲プラトンの「宴」を邦譯し巻末に註譯を附せるもの。

哲學(哲學一般・西洋哲學・西洋思想)

哲學(西洋哲學・西洋思想)

マックス・ヴァント著 山照 訳	希臘人の世界観	洋四六 布判	254	一、〇〇〇	理想社	月六	▲希臘的世界観を叙説したもので、自然、神人間、人間、任務、社會、藝術外一篇。
フイヒテ著 山照 訳	知識學の概念並に第二序論	洋四六 布判	299	二、〇〇〇	岩波書店	月一	▲知識學一般の概念に就て、知識學の概念の究明、知識學の假定的區分等三章。
鈴木謙彰 譯編	スピノーザ哲學批判	布四六 裝入判	269	一、〇〇〇	隆章閣	月二	▲スピノーザ哲學の評價に對する批判をなし更に哲學體系と唯物論史に於ける地位を示す
橋本文夫 譯	ゲーテの世界観	布四六 裝入判	276	一、七〇〇	理想社	月二十	▲ゲーテの認識論、自然觀、宗教觀、倫理觀人生觀等を描けるもの。
甘粕石介	ヘーゲル哲學への道	並四六 製判	311	一、〇〇〇	清和書店	月十	▲初期の宗教研究、精神現象學、倫理學、自然哲學、法律哲學、人としてのヘーゲル其他
小日長ハルトマン著 松高 譯	ヘーゲルの辯證法	洋四六 布入判	286	一、〇〇〇	同文館	月六	▲ハルトマンのヘーゲル解説の中の論理學の部分を取めた書で、絶対者の諸範疇外十章。
小日長ハルトマン著 松高 譯	ヘーゲルの思想體系	洋四六 布入判	224	一、〇〇〇	同文館	月九	▲ハルトマンの「獨逸觀念論の哲學」中の第四章「倫理學を基礎とせる體系」の邦譯。
小日長ハルトマン著 松高 譯	ヘーゲルの精神現象論	洋四六 布入判	295	一、〇〇〇	同文館	月二十	▲ハルトマンの「哲學に對するヘーゲルの概念」及び「精神現象論」の譯。
田村實	ヘーゲルの法律哲學	洋四六 布入判	302	一、〇〇〇	建設社	月六	▲ヘーゲルの「法律哲學綱要」に對する論理的解釋で、法律哲學の領域に客觀的精神其他
笠信太郎 著	ヘーゲル	並四六 製判	107	二、〇〇〇	岩波書店	月五	▲ヘーゲルに關する論文を取めた書で、ヘーゲル論(ブレハノフ)外一篇。
陶山ハルマヘル著 務譯	獨り想ふ	洋四六 布入判	252	一、〇〇〇	第一書房	月一	▲シュライエルマヘルの抒情詩「獨り想ふ」を譯述せるもので、内に省みる外五篇。
陶山ハルマヘル著 務譯	獨り想ふ	洋四六 布入判	255	一、〇〇〇	第一書房	月四	▲獨逸浪漫派哲學者シュライエルマヘルの隨想錄で、内に省みる、内に索める其他。一書及原一
竹村清 譯	パスカル隨想錄	並四六 製入判	227	一、〇〇〇	新生堂	月一	▲信仰の體驗、改悔の過程をその實相の儘に披露せるパスカルの隨想錄。

東洋哲學・東洋思想

飯田アリス著 安譯	續断片	洋四六 布入判	196	二、〇〇〇	第一書房	月五	▲獨逸浪漫派の一人ノヴァアリスの断片的な思想語録を譯出せるもの。
高橋里美	フツセルの現象學	洋四六 布判	126	一、〇〇〇	第一書房	月十	▲フツセルの現象學に就て述べたもので、フツセルの現象學、批判論と現象學外二篇。
松本滋 譯	ダーウイン主義とマルクス主義	上四六 製入判	284	一、〇〇〇	橋書店	月三	▲マルクスとダーウイン(コールマン)ダーウイン主義トマルクス主義(ブハリー)其他
阿部六郎 譯	悲劇と悲劇學	洋四六 布入判	194	一、〇〇〇	芝書店	月六	▲「悲劇の哲學」の譯。
阿部六郎 譯	悲劇と悲劇學	洋四六 布入判	278	一、〇〇〇	芝書店	月一	▲ドストエフスキとニイチエを解剖して其處に悲劇の哲學を探究した書。
鈴木賢之 著	ニーチエとヴァークナー	並四六 製判	195	一、〇〇〇	叢文閣	月一	▲「ヴァークナーの立場」、「ニーチエ對ヴァークナー」、及び「拔萃された箴言」を載。
今井嘉雄 著	森の生活	並四六 製判	418	一、〇〇〇	新潮社	月三	▲コンコードの哲人ソロオの代表的著作「ウォルデン」一名森の生活の譯。
アダムスベック著 永野芳夫 譯	東洋哲學史話	洋四六 布入判	718	二、〇〇〇	アルス	月二十	▲インドのアリア民族、古代の教育組織、佛陀の大家、孔子物語外廿五章にて説述。
小柳司氣太	東洋思想の研究	洋四六 布入判	623	二、〇〇〇	關書院	月五	▲東洋思想に關する論文集で、漢宋兩學談、清國現時の思想界、墨子論、道學と哲學其他
伊福吉部 隆	東洋精神の復活	洋四六 布入判	267	一、〇〇〇	版第協一會出	月七	▲古き東洋の文明精神の新らしき復活を論述せる書で、文明論、東洋文明とその精神其他
瀧熊之助	支那經學史概説	洋四六 布入判	447	一、〇〇〇	大明堂	月四	▲支那經學史の概説で、序説、經書、西漢の經學、東漢の經學、魏晉南北朝隋の經學其他
山田準	陽明學講話	上四六 製判	246	一、〇〇〇	章華社	月九	▲ラチオにより放送せるもの、稿本で、陽明學は何が爲めに起りしか、適地に赴く外八講

哲學(西洋哲學・西洋思想・東洋哲學・東洋思想)

哲學(東洋哲學・東洋思想)

中野	江漢	通俗	道	教	並四六	二〇〇	東亞研究會	二月	▲支那の民衆を支配する道教、道教とはどなんものか、道教の神祕と宗派、道教の經典。▲古典大學の新解釋にして六章(人格完備、誠意正心、修身齊家、治國平天下)より成る。▲四書の全體に就て述べたもので、四書とは何ぞや、四書各論、四書相關論、人生論其他
山下	博章	如是	我	讀	布四六	四〇	日章塾	四月	▲孫子の原文を収め、之に假名、通釋、語釋を施したるもの。
内野	室嶺	四書	通	論	洋四六	三〇〇	賢文館	六月	▲東洋兵法の鼻祖たる孫子の原文を収め讀み方、通釋、語釋を施し戰術綱要等と比較す。
友田	宜剛	孫子の讀方	と	解釋	洋四六	八七	成武堂	九月	▲孫子の思想に吳子の兵法を配し、老子の哲理及び儒教を加減し白人の支那兵法觀を収む
尾川	敬二	孫子論	講		洋四六	二〇〇	菊地屋	十月	▲大學と中庸を解説して孔子の全貌と儒教の主體を述べた書。
北村	佳逸	孫子	解	說	洋四六	二〇〇	出立版命部館	二月	▲面目と思想を描いて孔子の傳記を述べたもので、十五、學問、四十不惑外十三篇
北村	佳逸	孔子	解	說	洋四六	三三	出立版命部館	二月	▲老子の傳記、老子時代の社會狀態外十講、讀みのばしたるもの。
室伏	高信	孔子	講	話	上四六	一六〇	日本評論社	八月	▲孟子の講義で、本文、讀み、口語譯及び解説で、解説は英譯を挿んで語意を究む。
小柳	司氣太	老子	講	話	上四六	一〇六	章華社	八月	▲論語の全文を現代語譯して孔子の思想、生活、を明らかにする爲め當時の社會其他を述べ
笹岡	末吉	老子	を	歌	並四六	一〇〇	研究社	十月	▲論語の原文に讀み方を附し、解釋及び序說を施して講義す。
北村	佳逸	孟子	子	解	洋四六	四〇〇	出立版命部館	四月	
室伏	高信	孟子	子	解	上四六	一六〇	日本評論社	九月	
岡田	正三	論語	講	義	洋四六	四三六	第一書房	十一月	

哲學(東洋哲學・東洋思想・日本思想)

諸橋	徹次	新論	語	講	布四六	二七四	章華社	六月	▲嘗てラヂオにて放送せるものを其礎として論語を述べた書で、友に交るの道其他。	
飯島	忠夫	聖典	孝	經	洋四六	二三一	出版協會	十月	▲孝經講義の放送講演に六章の講話を補ひ、更に孝經略解、二十四孝外二篇を附す。	
山口	察常	譯註	茶	根	並四六	一三六	岩波書店	六月	▲文政五年梓行の洪自誠本を底本として譯出せるもの。	
三枝	博音	於ける	哲學的	觀念論	の	發達史	文圃堂	三月	▲明治初年より今日までの日本に於ける哲學の發達を批判的に考察せる書。	
宮西	一積	日本	精	神	史	三、三〇	新生閣	三月	▲序説、古代主潮、上代主潮、中世主潮、近代主潮の五篇より成る日本精神史の研究。	
日本文化研究會編	日本	精	神	論	並四六	三六四	東洋書院	六月	▲日本精神の特質に就て(井上哲次郎)聖徳太子の日本精神(花山信勝)外廿三篇。	
日本文化研究會編	日本	精	神	論	並四六	三六四	東洋書院	六月	▲儒教の國民生活に及ぼせる影響(山口察常)教育家としての佐藤一齋(高瀬代次郎)其他	
井上	哲次郎	日本	精	神	の本	質	大倉廣文堂	七月	▲精神科學の立場から日本精神を闡明せるもので、日本精神と神ながらの道外二篇。	
彌富	破摩雄	日本	精	神	十	講	素人社	四月	▲成人教育講座に「我が國の上代精神と現代意識」の題の下に講演せしを文體にせる書	
村山	惣作	日本	精	神	太	源	耕進社	二月	▲日本精神の内景その概論、日本精神一元綜合、神代と神性眞顯の祖先人其他。	
藤原	擴	日本	精	神	説	の	批判	株明式會社	二月	▲道德に關する論文集で、日本精神説の批判國民道德が皇道外十二篇。
吉田	靜教	倫理學	上	日	本	精	神	式合資會社	十一月	▲千葉縣津郡教育會の依頼により講演せる「倫理學上より觀たる日本精神」の速記。

哲學(日本哲學・日本思想)

清原 貞雄	雄山閣編輯局編	河野 省三	給田茂太郎	若宮卯之助、松永永材、高須芳次郎、武田豊四郎、三井甲之北、時吉	紀平 正美	河野 省三	諸橋 徹次	加藤 咄堂	日本精神文	松永 永材	松永 永材	松永 永材
國民と日本精神の顯現	日本精神の研究	日本精神の研究	日本精神顯現の根本問題	日本精神を闡明す	日本精神と辯證法	日本民族の信念	日本精神と儒教	日本精神と大乘思想	日本思想の精髄	日本主義の理論的根據	日本主義の世界觀	
洋函編	洋函編	洋函編	洋函編	洋函編	洋函編	洋函編	洋函編	洋函編	洋函編	洋函編	洋函編	洋函編
布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判
613	385	415	360	156	143	74	235	265	468	82	164	28
三〇	二〇	三〇	二〇	四〇	四〇	二〇	二〇	一〇	三〇	二〇	二〇	二〇
藤井書店	雄山閣	大岡山書店	創文社	出版部	青年教育	青年教育	帝國學會	時潮社	目黒書店	日本主義	日本主義	日本主義
月一	月五	月九	月二	月十	月二十	月九	月一十	月七	月一十	月七	月二	月一
▲我が國家の發展史と日本精神との關係を明らかにせるもので近世期の日本精神十章。	▲教育と日本精神(大瀨甚太郎) 日本佛教と國民思想(辻善之助) 外廿八篇。	▲日本精神史並びに日本思想史に關する各個にわたる精密該博なる研究論文を收む。	▲日本精神顯揚の史的的研究であり、進んで現代に於ける顯現の方策を研究せる書。	▲大亞細亞主義と日本精神(若宮卯之助) 皇道と王道(松永材) 外五篇。	▲「日本精神と辯證法」及「國體の眞意義」の講演速記を收む。	▲文部省開催の思想問題講習會に於ける講演速記で、國民精神作興の重點外五篇。	▲群馬縣教員學識向上講習會に於て講演した速記で、兩者の關係、儒教成立の経緯外四篇。	▲日本精神と大乘思想、大乘佛教の考察、日本精神の顯揚の三篇にて説く。	▲日本の意識に於て表現されたる一切の思想詩歌の代表的なるもの、精髄を鈔録し叙述す。	▲現實問題、現在の人間學と國家及民族主義、人間學を基礎とせる世界觀の一斑。	▲生活原理を闡明せる書で、人間學、家族主義、民族主義、個人主義、日本主義外一章。	▲現在の人間學、矛盾とその解決、日本主義の世界觀、日本主義史觀の概略外二篇。

哲學(日本哲學・日本思想)

井乃 香樹	井乃 香樹編	井乃 香樹	鈴木 暢幸	賀藤川 政吉	安藤 文	大槻 正一	植木 直一郎	山鹿 素行	高須 芳次郎	松岡 梁太郎	高須 芳次郎	會澤 正志	岩橋 遵成	寺石 正路
日本主義宣言	我が國體と國民性	日本道徳統計要覽	思想と日本	師塞哲學講話	神古事記講話	中朝事實講話	水戸學の指導原理	青山延光・延干集	新論講話	徂徠研究	南學史			
洋函編	洋函編	洋函編	洋函編	洋函編	洋函編	洋函編	洋函編	洋函編	洋函編	洋函編	洋函編	洋函編	洋函編	洋函編
布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判
183	276	128	532	502	215	243	403	212	424	481	554	1291		
八〇	八〇	八〇	八〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇
建設社	春秋社	大倉廣文堂	改造社	明治圖書	株式會社	藤井書店	章華社	平凡社	啓文社	日東書院	平凡社	關書院	富山房	
月八	月三	月四	月二	月二	月十	月十	月二十	月三	月二	月五	月六	月五	月六	月五
▲日本主義の發展及び本質を論述して日本主義の内容を批判せるもの。	▲神皇正統記、國意考、直昆靈、玉勝間、入學問答外五種の名著を收載し註を附す。	▲我が國體の觀念と國民性とに就て述べた書で、序説、國體の概念、日本の國民外五篇。	▲道徳犯罪統計、道徳生理統計、道徳心理統計、道徳經濟統計、勞働統計、外三編。	▲思想、教育、神道、民族的自覺、現代の五章にて日本の思想に就て述ぶ。	▲我國に於ける師塞哲學の古き先驅者、實在の種々相と師塞哲學外三篇。附録八十七章で、古傳承と古事記外七篇。	▲山鹿素行の「中朝事實」の原文を掲げ、譯讀、字義、大意、批評の四項目にて講述。	▲水戸學の思想を體系化したもので、水戸學の指導原理、「道の大系」の「默議會」其他及び青山延光の「皇朝史略」其他を編收す。	▲政治改造、經濟改造、教育改造等に關する原理及び具體案を示せる「新論」を詳註す。	▲日本儒學史上に輝やく徂徠の事蹟及び遺著に關する研究で、序論外二篇。	▲土佐南學の沿革を明らかにせるもので、上古並宋學篇、鎌倉並建武時代篇外十七篇。上				



美學・藝術哲學

岡田 恒輔	悲哀の情緒の研究	洋四六	布入判	364	一、八〇	北文館	月五	▲悲哀の眞理、生理、表情等を研究し解明せるもので、悲哀の情緒とは何ぞや外廿二章。
-------	----------	-----	-----	-----	------	-----	----	--

黒田 鷹心	美學概論	洋四六	布入判	244	一、七〇	弘文社	月十	▲心理的學態度で經驗科學としての美學を平易に説明せる書で、美の種類其他。
-------	------	-----	-----	-----	------	-----	----	--------------------------------------

山際 靖	新美學概論	洋四六	布入判	213	二、五〇	東洋圖書株式會社	月二	▲藝術論・藝術の起源、藝術の本質、美意識論・感情移入其他にて論述。
------	-------	-----	-----	-----	------	----------	----	-----------------------------------

デイル 泰介	近世美學史	洋四六	布入判	121	一、〇〇	第一書房	月六	▲近世美學史の三劃期を特色付け、その歴史的背景に基いて美學の課題を明らかにす。
--------	-------	-----	-----	-----	------	------	----	---

エミール・ウチイツ	美學史要	洋四六	布入判	152	一、〇〇	第一書房	月一	▲希臘以來現代までの美學史上重要な問題を簡潔に、公平に發生史的に述べたもの。
-----------	------	-----	-----	-----	------	------	----	--

久富 貢	テミール・ウチイツの美學	並菊	製判	126	二、〇〇	玉川學部	月二	▲ウチイツの美學及び藝術哲學の根本的問題を考察して、形式と意味外廿七章。
------	--------------	----	----	-----	------	------	----	--------------------------------------

竹内勝太郎	藝術論	上四六	製入判	274	三、〇〇	芸舞堂	月一十	▲美は何處にあるか、どんな動きを持つか殊にそれが藝術上如何に現れて来るかを述べ。
-------	-----	-----	-----	-----	------	-----	-----	--

兒山 敬一	世界認識の藝術	並菊	製判	65	四、五〇	表現社	月二十	▲藝術一般、文學、詩歌、童話、書道、英詩獨文學、ベルシヤ文學、人形藝術などの論集
-------	---------	----	----	----	------	-----	-----	--

倫理學

櫻井 匡	倫理學概論	洋四六	布入判	288	二、五〇	隆章閣	月四	▲倫理學に關する一般を平易に叙述した書で精論、本論、道徳的行為外四章。
------	-------	-----	-----	-----	------	-----	----	-------------------------------------

照澄	倫理學概説	洋四六	布入判	255	一、五〇	同文館	月五	▲學としての倫理學の構造の基礎的概念を明らかにした書で、道徳の本質外二篇。
----	-------	-----	-----	-----	------	-----	----	---------------------------------------

文翁	倫理學概論講義	洋四六	布入判	165	一、八〇	東洋書院	月五	▲倫理學一般、現代の倫理學の二篇にて説述せる倫理學の入門書。
----	---------	-----	-----	-----	------	------	----	--------------------------------

和辻 哲郎	人間の學としての倫理學	洋三六	布入判	272	八、〇〇	岩波書店	月三	▲人間の學としての倫理學の意義と方法を述べた書。
-------	-------------	-----	-----	-----	------	------	----	--------------------------

佐藤 徹	倫理學研究	洋新編	布入判	326	二、〇〇	嶺光社	月一十	▲個人倫理を説き、更に社會生活及國家生活との關係並に倫理を宗教に結び付けて述べ。
------	-------	-----	-----	-----	------	-----	-----	--

ウエンチャイ	倫理學史要	洋新編	布入判	230	一、八〇	甲文社	月九	▲ウエンチャイの倫理學史を譯せる書で、西洋倫理學史の簡明なる叙説。
--------	-------	-----	-----	-----	------	-----	----	-----------------------------------

高橋 敬視	新西洋倫理學史	洋新編	布入判	618	四、八〇	東洋圖書株式會社	月二	▲古代倫理學、中世(スコラ哲學)倫理學、近世倫理學、現代の倫理學其他。
-------	---------	-----	-----	-----	------	----------	----	-------------------------------------

馬場 文翁	最近獨逸倫理學綱要	洋新編	布入判	147	一、五〇	東洋書院	月五	▲現下の獨逸倫理學界の傾向を歴史的、體系的の二方面より説く。
-------	-----------	-----	-----	-----	------	------	----	--------------------------------

藤井 種太郎	カント倫理の批判	洋新編	布入判	604	三、〇〇	目黒書店	月四	▲緒論、欲向、道徳派、理性意志、結論並に餘論の五章にてカントの倫理を批判す。
--------	----------	-----	-----	-----	------	------	----	--

西晉 一郎	東洋倫理	洋三六	布入判	331	八、〇〇	岩波書店	月四	▲主として儒教倫理思想を參照し、我が國體及び道徳が如何に發展してゐるかを述べ。
-------	------	-----	-----	-----	------	------	----	---

清水 眞澄	神道倫理學	洋新編	布入判	403	三、〇〇	中文館	月六	▲日本倫理の研究中、研究眼目の提示、複合意識の分析、統覺意識の分析外六編。
-------	-------	-----	-----	-----	------	-----	----	---------------------------------------

人生論・人生觀

帆足 理一郎	人生の目的	洋四六	布入判	446	一、八〇	新生堂	月三	▲創造的人格主義の指導原理に立つて政治、教育、宗教其他の社會現象を批判した講演集
--------	-------	-----	-----	-----	------	-----	----	--

大島 正徳	新思想の人生	布四六	製入判	404	二、五〇	至文堂	月十	▲人生論の根本問題に觀點を置いて立論せる書で、社會生活の原理外二章。一訂正版。
-------	--------	-----	-----	-----	------	-----	----	---

岡本 かの子	人生	布四六	製判	103	四、五〇	建設社	月一十	▲幸福と不満、物心一如、超人格、無意識界の消息其他にて人生を論じた書。
--------	----	-----	----	-----	------	-----	-----	-------------------------------------

岡本 利吉	美教と人間論	布四六	製判	108	四、五〇	建設社	月八	▲唯物論と自然科學、人間性、人間實質、永久生命、自己完成、人類完成の六章。
-------	--------	-----	----	-----	------	-----	----	---------------------------------------

哲學(倫理學・人生論・人生觀)

哲學(美學・藝術哲學・倫理學)



飯田 豊二	昭憲皇太后御歌讀本	青函菊	布入判	262	一、二〇	二松堂	月二十	▲昭憲皇太后の御坤徳、御生涯を偲び奉り、追慕の情を偲び御歌三百二十四首を掲ぐ。
田中 常憲	明治天皇御製讀本	並四六	製判	260	六、五	文友堂	月一十	▲明治天皇の御製及び昭憲皇太后の御歌を收め、之に註解を施す。
熊谷 辰治郎	青年に呼びかく	祥函四六	布入判	314	一、三〇	泰文館	月一	▲青年の生活に就ての論説感想集で、死に對する敢然たる態度、貧しい配達夫其他數十章。
國民教育會	前途に小國民に與ふ	並四六	製判	63	三、五	第一會	月二	▲第二の國民に對して日本の國情及び智徳に關し又は進むべき道等を示せるもの。
講談社編	格言金言集	並三五	製判	194	三、三	講談社	月二	▲東西古今の格言金言を廣く渉獵せるもので愛國、學問、家庭、艱難其他。
講談社編	彼が旗擧げるまで	並三五	製判	196	三、三	講談社	月十	▲菊池寛、丸山鶴吉、伊東深水、松岡洋右其他廿七氏の旗擧げるまでの人間記録。
講談社編	識讀本	並三五	製判	196	四、〇	講談社	月一十	▲現代の紳士淑女が日常必ず心得てゐなければならぬ各方面の常識を解説す。
講談社編	名人巨匠一夕話	並三五	製判	194	三、三	講談社	月五	▲現代日本に於て名人、巨匠と稱される人々の體験、感話を收めた書。
加藤 美命原	是丈は心得おくべし	上菊半	製判	274	六、八	誠文堂	月四	▲社交上のすべての注意、心得を説いた書で洋式社交一般は心得おくべし外九篇。
村上 寛	母ごころ	上四六	製判	314	二、〇	文友堂	月五	▲血と涙で綴られた吾が國の母性愛を説ける名作實話。
小瀧 淳	話美談	上四六	製判	470	二、〇	厚生閣	月一十	▲安土桃山時代より徳川末期に至る英雄其他の人物の日本精神に關する逸話美談を掲ぐ。
野口 孝國	受難を越へ	上四六	製判	150	一、〇	新國家社	月九	▲出羽酒田町の孝子飯戸繁子を中心にした人情美談。
友田 宜剛	軍人勅諭謹解	青函四六	製判	362	二、〇	珠磨社	月十	▲軍人に賜はりたる勅諭の謹解。

松本 亮二	名譽の聯隊旗手	青函四六	布入判	206	一、五〇	大正書院	月二	▲忠君愛國の物語を戯曲化した書で、名譽の聯隊旗手、山田一等兵外三篇よりなる。
陸軍省つば	兵營の横顔	並三五	製判	106	三、〇	發行所	月二	▲兵營生活の赤裸々なる半面を描いたもので愛人と手紙、軍旗祭の夜外二十五篇。
陸軍省つば	呼六烈士	並三五	製判	106	三、〇	發行所	月二	▲日露戰爭中北滿の大雪に散つた横川、沖、松崎、中山、藤、田村等の悲壯なる物語。
陸軍省つば	思ひ出	並三五	製判	120	三、〇	發行所	月二	▲國運を賭して戦つた日露戰役の回想で、傲慢なる露國側の言動外五十三篇。
陸軍省つば	手記	並三五	製判	106	三、〇	發行所	月四	▲滿洲事變で勇名を馳せた松木本部隊に屬する歩兵一等兵宮原義夫の手記。
陸軍省つば	挿話集	並三五	製判	132	二、〇	發行所	月六	▲珍談奇談、壯話悲話、美談佳話の三篇に大別して蒐録せる職陣挿話集。
谷口 雅春	出生前・生死後の研究	布函四六	製入判	350	二、〇〇	藝生社	月六	▲差別心より觀たる靈界の消息、平等心より觀たる靈界の消息の二章にて説述。
山本 精一郎	驚異	上函四六	製入判	344	二、〇〇	朝日書房	月四	▲總論、體靈、心の靈、人の心の靈、憑依靈、邪神靈、外靈の影響、幽界の靈等十二章。
加藤 大岳	易學病占	青函菊	布入判	328	六、〇〇	紀元書房	月二十	▲病占に對する易學方術の秘傳を公開せるもので、易學概説、病占要訣外三篇。
講談社編	科學的運命判斷	並三五	製判	196	二、〇	講談社	月二十	▲自分の運命に對して正しき指針となるやう運命判斷を科學的に解説す。
戸田 景明	姓名秘傳書	和四六	製判	191	一、〇〇	大正書院	月二十	▲姓名學に就て述べた書で、姓名構成上必要なる五條件、姓名鑑定的方式外六篇。



哲學(性相學・占術)

龜田 壹弘	姓名と人生	四六	250	一〇	樂園書房	月六	▲量龜流性名學を記述したもので、自然と人生、姓名學とは、読み下しの意義外廿九篇。
大和田 齊眼	運命	四六	210	二〇	誠光堂	月九	▲人相學の急所を解説し易く解説せるもので人相をみる近道、額の相、眉の相外十二章。
熊崎 健翁	相手相・骨相	四六	739	二〇	五聖閣	月六	▲人相、相手相、骨相に就て説いたもので、骨相篇(骨相學の沿革其他)外二篇。
中村 文	人と人の手	四六	325	二〇	鷲峯社	月二十	▲手相學に就て研究せるもので、キロ抄傳、手相雜話、手型性格學、觀字運氣學外一篇。
大谷 南	最新手相科學	四六	202	一〇	隆章閣	月五	▲概説(線に就て其他)本論(鍵としての判例其他)實例解説(アレキサンダー博士の手相其他)キロマンシー(掌紋學)の三篇。一普及版。
永島 眞雄	手は運命を語る	四六	241	一〇	手相學部院	月三	▲手相研究で、序篇、キログノミー(手型學)キロマンシー(掌紋學)の三篇。一普及版。
永島 眞雄	手相の見方	四六	47	二〇	手相學部院	月一	▲容易に誰にでも理解出来るやう手相の見方を圖入りにて説いた書。
長谷川 滔浦	運命を掴む	四六	47	二〇	現實處	月十	▲指紋にて幸運への道を指示せるもので、指紋は個人の價値を闡明する鍵其他。

金子馬治著(東京堂版)  
現代哲學概論  
定價 一・八〇 送料一四

二、宗教

宗教(宗教一般)

著者	書名	裝形	頁數	定價	發行所	月行	内容大意
菅 圓吉	宗教復興	四六	174	一〇	日本評論社	月九	▲轉回期にある宗教の今後の方向は何處へ動かすかを述べた書で、最近の宗教思潮外五篇。
友松 圓諦	宗教讀本	四六	309	一〇	日本評論社	月九	▲宗教を現代生活に即して述べた書で、時代と宗教、知識の脱落するところ外十三課。
井川 定慶	宗教入門の知識	四六	309	一〇	非凡閣	月七	▲序説、世界の三大宗教、日本の宗教、雜纂の四部にて述説。
柳 宗悦	宗教とその眞理	四六	601	一〇	叢文閣	月六	▲宗教的眞理に就ての論文を集めたもので、宗教的一無外十四篇。一普及版。
福島 政雄	人生問題と信仰	四六	170	一〇	渾沌社	月二十	▲人生問題と信仰、空のところ、歲月悠々、風繩雪井、浦島の子、曉の深省、久遠の親心。
大東出版	宗教生活叢書	四六	143	一〇	大東出版社	月二	▲家庭に於ける宗教教育の重要性を力説して宗教と教育の内奥にひそむ一なるものを觀る。
大東出版	宗教生活叢書	四六	195	一〇	大東出版社	月二	▲第七卷は、諸宗教の大綱及現勢(古野清人)新興宗教の現在及將來(木下仁夫)の二篇。
大東出版	宗教生活叢書	四六	195	一〇	大東出版社	月二	▲宗教々育の實際(賀川豊彦)の一篇にて説述す。

宗教(宗教一般)

大東出版社編 宗教生活叢書	大東出版社編 宗教生活叢書	姉崎正治 已辨集	大正大學教授 椎尾辨匡 人間の宗教	安藤兼次郎 道徳と宗教	大草時仰 文化人の信仰	吉田清太郎 活ける宗教と人生	今井三郎 人・自然・宗教	谷口雅春 生命の烈風	朝日融溪 眞理を生かすもの	泉道雄 報恩生活	高楠順次郎 東西思想二千五百年の清算	濱田本悠 滿洲國之宗教
並編	並編	洋函編	洋函編	洋函編	洋函編	洋函編	洋函編	洋函編	洋函編	洋函編	洋函編	洋函編
製判	製判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判
157	198	561	363	270	124	484	379	458	354	188	86	54
一〇〇	六〇	四〇〇	三〇〇	一〇〇	四〇	一八〇	一〇〇	三〇〇	一八〇	一〇〇	二〇〇	二〇〇
大東出版社	大東出版社	大東出版社	甲子社	文華堂	時教社	雄山閣	新生堂	藝術生命社	大同館	白蓮社	大雄閣	天沼研究室
月二	月二	月二十	月三	月十	月八	月二十	月六	月九	月二十	月六	月六	月二
▲社會生活と宗教々々(中島眞幸) 女性と宗教及宗教々々(市川源三) 外一篇。	▲第二十卷は、美術と宗教々々(霜田静志)を収録す。	▲佛教聖典史論、基督教聖書批評略史、薄伽梵歌の哲學及宗教外三篇の宗教論集。	▲眞人間の宗教、淨土教の特色外四篇(改題)。	▲道徳と宗教との同異を辨じ、その國民性による事を明にす。	▲現代文化に即せる信仰を述べたもので、幸福を求めて、神佛とは何か外十篇。	▲人生と宗教、信仰の眼に映じたる古今の人生生活安定の基礎を何處に置くべきか。	▲聖誕、「人あらたに生ずれば」、風景美、修道院を訪ねて、「夜來る」其他の隨筆集。	▲第一篇聖靈の言葉、第二篇燃えさかる聖靈の火の二篇數十章にて生命の實相を説く。	▲眞理を生かすもの、芭蕉の人間味、自然のいのち、漲れる慈光其他の宗教隨筆集。	▲忠孝道徳の根柢、國王の恩、父母の恩、四恩報謝の表現、非常時と平常心其他。	▲二千五百年の一轉機、清算さるべき錯覺的信仰外一篇。	▲滿洲國の宗教に就て、土民の宗教、滿洲國の佛教、喇嘛教外一章にて述ぶ。

神

道

加藤支智 本邦生祠の研究	坂野龍雄 佛耶兩教の種々相	水谷壽 異安心史の研究	日本講演通信社編 八聖殿講演集	松本君平 徳	河野省三 神道學序説	日本文化研究會編 神道精神	小林健三 日本神道史の研究	J.W.T.メーソン述 創造の日本	鹿野久恒編 附註家のメーソン	寛克彦 神ながらの道	田中治吾平 神ながらの修養	齋藤襄吉 神道と國語國體
洋函編	洋函編	洋函編	洋函編	洋函編	洋函編	洋函編	洋函編	洋函編	洋函編	洋函編	洋函編	洋函編
布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判
436	190	273	201	345	242	377	341	228	680	304	86	86
三、八〇	一、四〇	二、七〇	六、五〇	一、〇〇	二、〇〇	一、八〇	二、四〇	一、二〇	四、三〇	一、八〇	二、〇〇	二、〇〇
中文館	福音館	大雄閣	日本講演社	出版部	金星堂	東洋書院	至文堂	大東出版社	皇波書店	雄山閣	神誌社	神誌社
月一	月二十	月三	月五	月二十	月五	月五	月十	月一	月九	月五	月四	月四
▲本邦の生祠を史實に徴して指摘し、更に生祠の特質を宗教史、宗教心理等から攻明す。	▲佛教、基督教の異同特質を明かにし、兩教の根本教理を比較對照して研究す。	▲高倉學寮の宗學を究明し、その反面の研究として異安心者の主張を検討せる書。	▲八聖殿開殿式以來本年四月までの講演を輯録した書で、八聖殿建立に就て外九篇。	▲著者の創立せる青年教團の指導精神を説ける書で、宇宙の現象は力争なり外三篇。	▲神道の研究、神道の發達、神道と我が國體と神道と神社、神道と日本文化の五章にて説く。	▲大神宮兩宮之御事に就いて(宮地直一) 神道と日本精神(河野省三) 外十七篇。	▲日本神道の史的變遷の跡を研究すると共に所謂神性の道の宣揚に努めた書。	▲日本神道研究家メーソン氏の日本觀たる講演新聞雜誌等寄書及び視察談等を集録。	▲大正十三年沼津御用邸にて皇后陛下に進講せるもの速記で、神代本紀外二段、一訂正版。	▲信仰と人生(上)、信仰と人生(下)、自暴自棄と自我の破産、藝術と其の心境外卅一篇。	▲靈魂不滅の原理を我が國語の條理より解説し、其他祭祀の面目に至るまでを記述す。	

宗教(宗教一般・神道)

宗教(神道・佛教)

佐伯有義補註	神道名目類聚抄	洋書編	布入判	371	三六〇	大岡山書店	月五	▲神社に關する事項、七百十八項について、舊説によりて釋せり。
河野省三	神道と國民生活	洋書編	布入判	214	二二〇	中文館	月九	▲神道と國民生活に就て日本精神を考察せるもので、さわやかな心、敬神の心其他。
久保田眞種	惟神讀本	洋書編	布入判	117	一〇〇	大日書房	月一	▲日本靈科學の見地から惟神を檢討せるもので、惟神、造化三神、國家外十五課。
宮崎興基	戰と神々	並編	製判	463	二二〇	會通社	月三	▲戰と神祇との關係を文獻と神界出人の見聞記とで觀察した書で、日清戰爭の豫言其他。
齋藤襄吉	或人に與へたる我神道の説明	並編	製判	75	四〇	神道誌	月二	▲我が國體の淵源、造化の神理を説述せる書で、大道と言葉、言葉と原理、天地外八篇。
神道雜誌社	國民の寶典	並編	製判	125	二二	神道誌	月七	▲大正天皇御踐祚勅語をはじめ奉り各種勅語詔書、三種祓禊、大祓禊、御祭等を收載。
宇佐美景堂	守護靈の祭り方	並編	製判	32	二二	日協本會	月八	▲我が古神道の精神に基き拍手、祓ひ、罪穢神候の意義より各人の守護靈の祭り方を説く。
矢部善三	神札考	洋書編	布判	151	一〇〇	素人社	月六	▲神札に就て述べたもので、由來と制度の巻影札もろく／＼の巻の二篇。
金子大榮	佛教の諸問題	洋書編	布入判	475	二二〇	岩波書店	月九	▲佛教の諸問題を考究せるもので、教理史論智慧、世界觀、煩惱、普賢行の五篇。
岡本かの子	佛教の讀本	並編	製判	309	一三〇	大東出版社	月一十	▲悲觀と樂觀、誰でも持ったから、飽くまで生き抜く力、苦勞に就いて外七十一課。
山邊習學	佛教の要義	上四六	製判	130	六〇	法藏館	月一十	▲手近な例話を以て佛教の内景を物語つたラヂオによる放送講演で、一度は眼覺めよ其他。
加藤咄堂	佛教とは何ぞや	布四六	製判	260	一〇〇	大東出版社	月一十	▲佛教の大綱を誰れにも解るやう記述したもので、序曲、總叙、佛教の出発點其他。

(9-5)

宗教(佛教)

ブッサーン著	佛教倫理學	洋編	布判	404	三三〇	大雄閣	月五	▲一般的知識と要略、禪定の道徳と宗教人、涅槃道、所作の定義、菩薩と佛陀外十教篇。
高楠順次郎	東方の光としての佛教	上四六	製判	420	一四〇	大雄閣	月五	▲佛教と戰爭、佛誕二五〇〇年、東方の光としての佛教外十篇を収めた評論書。
淺野研眞	社會宗教としての佛教	上四六	製判	348	一三〇	大雄閣	月七	▲佛教に關する論文、隨筆を集めた書で、非常時宗教を語る、イデオロギイは儒外三部。
中央佛教社編	日本精神と佛教	並編	製判	300	八〇	中央佛教社	月四	▲日本精神と佛教との關係を闡明したもので、日本精神と佛教(加藤咄堂)外四十四篇。
小野清一郎	佛教と現代思想	上四六	製判	231	一〇〇	大雄閣	月一	▲佛教と現代の思想との關係を論述したもので、ウエルスの佛教觀と其批評外廿三篇。
自在丸新十郎	佛教と科學	上四六	製判	248	一八〇	甲子社	月四	▲科學の立場からの佛教に就て述べた書で、佛教と科學外四篇。
木村泰賢	解脱への道	上四六	製判	442	二二〇	甲子社	月三	▲生命觀より解脱問題への進展、原始佛教より大乘佛教へ、現代生活と佛教の三篇。一改装。
宇井伯壽	唯心の實踐	洋編	布入判	250	一四〇	大東出版社	月六	▲佛教に關する論文を集めたもので、唯心の實踐、成道の一意味、佛教の倫理想外八篇。
野依秀市	印度佛教史講話	洋編	布入判	184	二二〇	秀文閣	月二	▲印度佛教に關する講話で、佛教の「佛」の解説、原始佛教について外十九篇。
宇井伯壽	印度大乘佛教中心思想史	洋編	布入判	590	二二〇	久遠閣	月三	▲大乘佛教に關する講話で、佛教の「佛」の解説、原始佛教に關するもの。
鈴木宗忠	原始華嚴哲學の研究	洋編	布入判	256	二二〇	大東出版社	月六	▲華嚴哲學の創始者としての杜順に關する疑問、法藏の華嚴哲學と智儼の華嚴哲學外二篇。
山邊習學	於ける地獄の新研究	洋編	布判	269	一〇〇	春秋社	月三	▲佛教に於ける地獄を檢討したもので、序論地獄界、天上界の三篇より成る。
立止孝	法華經成立史	洋編	布入判	340	二五〇	大東出版社	月六	▲法華經の原形を考察し、その成立に於ける自然及必然性を論じて法華經の意義を闡明す。

宗教(佛教)

吉田 龍英	中央佛教社編	常盤 大定	清水 龍山	山川 智應	中村 智秀	山本 曉得	大須賀 秀道	藤 秀	加藤 咄堂	井上 秀天	稻津 紀三	本田 義英
佛新釋	釋尊の新研究	佛祖と師友	立正安國論講義	法華思想史上の日蓮聖人	日蓮に於ける宗教と國家との關係	佛	生活教話	念佛生活の諸相	大乘佛教講話	大乘佛教の新考察	龍樹空觀の研究	佛典の内相と外相
洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六
布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判
344	304	540	477	669	191	309	688	158	145	188	311	678
二、五〇	一、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	三、〇〇	七、〇〇	一、〇〇	一、八〇	六、〇〇	六、〇〇	一、〇〇	二、〇〇	四、〇〇
佛敎年鑑社	中央佛教社	大雄閣	東方書院	新潮社	久遠閣	法藏館	法藏館	法藏館	學而書院	學而書院	大東出版社	弘文堂
月四	月四	月九	月三	月五	月八	月二	月四	月二十	月十	月二十	月六	月九
▲釋迦の御誕生以前の印度思想界から涅槃に至るまでを描く。	▲釋迦の傳記を述べたもので、成道以前、成道、成道以後の三篇。	▲釋尊の弟子たる五比丘、耶舎、摩訶迦旃延、三迦葉、舍利弗其他の人達の傳記を収む。	▲聖德太子に就て述べたもので、聖德太子傳概要、氏族制度の發展と國體の危機外八章。	▲聖德太子の十七條憲法解義と大乘思想を論破す。	▲各宗各派の經論の概要を述べた書で、般若心經より、修證義より外十三講。	▲維摩經講話の速記で、佛國品第一、方便品第二、弟子品第三、菩薩品第四其他。	▲佛遺教經の本文を挙げその大意を講述せるもの。	▲東京中央放送局より講演せる遺教經に加筆し更に卷末に遺教經略解を附す。	▲法句經の講義で、うちみは熄む、本味をたづさへて去る、死の領土にあり外十二講。	▲ラヂオ聖典講義により放送せる釋尊の阿含經に補正加筆せるもの。	▲釋迦の巡禮記たる阿含經を苦、集、滅、道の四諦の組織によつて譯出す。	▲般若心經に就て述べたもの。

宗教(佛教)

赤沼 智善	木村 善之	山邊 習學	稻葉 圓成	佐伯 定胤	岡本 かの子	大谷 光瑞	大内 青巒	高島 米峰	友松 圓諦	友松 圓諦	友松 圓諦	大山 青梧
釋	釋尊物語	佛弟子傳	佛弟子傳	聖德太子に學べ	合佛敎聖典講話	維摩經講話	佛遺教經講話	遺教經講話	佛敎法句經講話	佛敎法句經講話	佛敎法句經講話	般若心經講義
洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六
布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判
442	341	451	339	108	162	540	76	370	486	308	304	85
三、〇〇	一、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	三、〇〇	四、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇
法藏館	大東出版社	大東出版社	法藏館	信濃毎日	交蘭社	大乗社	學而書院	丙午出版社	第一書房	第一書房	進教社	學而書院
月四	月四	月四	月六	月七	月十	月十	月七	月九	月四	月十	月十	月六

宗教(佛教)

高神	覺昇	聖典	般若心經講義	洋四六	布判	310	一、五〇	第一書房	月六	▲般若心經講義で、眞理の智慧、語るよりも歩め、色即是空、かぎりなき生命外八講。
玉置	箱晃	聖典	觀音經禮讚	洋四六	布判	416	一、三〇	日本放送出版協會	月八	▲京都放送局から十二回に亘つて放送した觀音經禮讚に幾分加筆せるもの。
濱地	八郎	聖典	觀音經要義	洋四六	布判	166	一、八〇	中央佛教社	月二	▲觀音經の要義を述べた書で、無盡啓請分、稱名解脫分、七難解脫分外九章。
吉村	光雲	聖典	病氣の治る十句觀音經	和蘭編	綴入判	72	一、〇〇	弘文館	月六	▲經文の讀み方、延命十句經、妻の重病を治す、死人が蘇生する、十句經の靈驗外十一篇
清水	谷恭順	法華經	我が偶の講話	布四六	綴入判	331	一、二〇	香風閣	月一	▲仙臺放送局より講演せる「法華經壽量品自我偶の講話」を收め觀音經の大意を附す。
推尾	辨匡	聖典	大方禮經講話	布四六	綴入判	305	一、〇〇	大東出版社	月二十	▲ラヂオ講演による大方禮經講話を根幹とし之に佛教精神を補説し、大方禮經の譯を附す。
勝平	大喜	聖典	十牛圖講話	布四六	綴入判	342	一、〇〇	大東出版社	月十	▲ラヂオ放送によつて一頭の牛を中心とする十幅の繪で悟道を説ける「十牛圖」の講話。
清泉	芳巖	聖典	大衆禪いろは碧巖	洋四六	布判	516	一、二〇	大東出版社	月十	▲いろはかるたの各句を主題とし碧巖集に模し垂示、擧す、頌の型式にて四十八則を説く。
天軸	接三	聖典	白隱禪師坐禪和讃	洋四六	布判	385	一、五〇	佛教年鑑社	月八	▲聖典講義として京都及び静岡の兩放送局より放送せる白隱禪師の坐禪和讃の講話。
中根	環堂	聖典	玉耶經講話	並四六	綴判	142	一、四〇	時潮社	月十	▲釋尊が女子の行くべき道を指導し、女性の守るべき務めを垂示した玉耶經の講話。
峯尾	大休提唱	聖典	開筵普説講話	洋四六	布判	561	一、三〇	中央佛教社	月二十	▲「白隱禪師開筵普説講話」の提唱を筆録せるもの。
梅原	眞隆	聖典	吳鈔講話	洋四六	布判	366	一、五〇	明治書院	月十	▲九月三日から十五日まで放送局から講演した親鸞聖人の歎異鈔を收む。
高瀬	承殿校註	聖典	迷心集	並四六	綴判	259	一、四〇	岩波書店	月四	▲鎌倉初期に於ける佛教復古運動の先鋒山城笠置の解脱上人の著述を校註す。

宗教(佛教)

佐藤	泰舜校訂	聖典	中間答	並四六	綴判	207	一、四〇	岩波書店	月九	▲夢窓國師疏石が足利直義の問に答へた法話を録した夢中間答集を讀み易く校訂す。
藤原	正校訂	聖典	一遍上人語錄	並四六	綴判	166	一、四〇	岩波書店	月六	▲文化八年版の學寮本を底本として校註を施せるもの。
伊藤	康安	聖典	新釋澤庵和尚法語	上四六	綴判	24	一、四〇	昭和書房	月五	▲澤庵和尚の法語中東海夜話、玲瓏集、結繩集、不動智神妙錄の四種を通釋す。
永	久岳水編	聖典	禪門曹洞法語全集	洋四六	布判	89	一、四〇	中央佛教社	月六	▲曹洞の一門に屬する法語を集めたもので、正法眼藏佛向上事(永平道元禪師)外廿九篇
高	橋竹送	聖典	應用引導大全	和四六	綴判	224	一、三〇	鴻盟社	月一	▲人品類、別種門上下、總體門、雜種門、禪韻句集、或名字選。
岸	澤惟安	聖典	安心院藏海和尚志料	洋四六	布判	130	一、三〇	鴻盟社	月七	▲正法眼藏私記の著者藏海和尚に關する志料を收む。附録、恬林良寂和尚志料。
高	崎直承	聖典	校註從容錄	洋四六	布判	278	一、四〇	鴻盟社	月二十	▲從容錄百則を和漢對照し脚註を施す。附録として人名略歴、故事典據を收む。
孤	峰智瑛	聖典	冠註傳光錄	洋四六	布判	278	一、三〇	鴻盟社	月五	▲常濟大師の傳光錄五十三章に詳註せるもの
阿	滿得壽	聖典	梵本(ローマ字譯)阿彌陀經と和譯の對照	並四六	綴判	36	一、二〇	大乘社	月十	▲梵文阿彌陀經和譯、梵語字母表、本文梵和對照。
井	川定慶	聖典	高僧山下現有上人	上四六	綴入判	274	一、二〇	政經書院	月五	▲知恩院第七十九世山下現有上人の生涯、詩及び識者の感想を撰輯せる書。
山	田靈林	聖典	學讀本	洋四六	布判	325	一、五〇	第一書房	月一	▲著者自らの信と行との體驗に基て禪の妙味を十五課に分けて述ぶ。
飯	田德隱	聖典	學讀本	並四六	綴判	69	一、四〇	中央佛教社	月十	▲禪は佛法の總府、禪の正道、正しき坐禪の仕方、坐禪と工夫其他にて禪學を平易に説く
鈴	木大拙	聖典	禪の第一義	洋四六	布判	259	一、四〇	丙午出版社	月八	▲第一義(宗教の本義外十章)英妄想(禪的生涯外八章)解打鼓(二十四則)の三篇。

宗教(佛教)

横尾賢宗	菅原洞禪	秋野孝道	竹田默雷	鈴木大拙	井上秀天	飯田樞	釋 瓢	釋 瓢	高橋竹迷	中村辨康
禪と武士道	禪門佳話	の骨髄	の面	の研究	達磨禪の新研究	參禪漫錄	隨想毒	隨想毒	一休奇行錄	信仰讀本
洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六
布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判
238	269	282	276	104	176	324	358	356	217	76
一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
丙午出版社	丙午出版社	丙午出版社	丙午出版社	丙午出版社	學而書院	中央佛教社	二松堂	出版命部館	玄洋社	出版部寺
月八	月八	月二十	月二十	月二十	月二十	月二十	月二十	月二十	月二十	月二十
▲禪の如何なるかを考究し、更に武士道を述べて忠誠奉公の氣象を説けるもの。	▲一揆石(至道無難禪師の前半生其他)二般士(白隠會下の俊才其他)の二篇。	▲枯木龍吟、露露金風、全提不起の三篇にて説述せるもの。	▲義に公にした「默雷禪話」「續默雷禪話」の中より百五十則を選んだもの。	▲禪の一方、祖師傳の三篇。	▲無門關中の第六則「拈華微笑の古則」及び碧巖録に就て述べたもの。	▲東印度國王と般若多羅、菩提達磨と梁武帝雙林の傳大士、六祖慧能と神秀上座外十一章。	▲書で「大乘禪」に寄稿せるものを補正したもので、夏禪、秋禪、山水禪外九篇。	▲書で「徹底禪」と稱して公にせるものを補正した書で、禪的修養、安全立命の妙用其他。	▲四天王護國の風、釋尊抹殺論、堂々たる女犯、電燈閣、心境は變化す其他の隨想隨筆集。	▲社會萬般の事象を著者の透徹せる悟道より説ける書。

宗教(佛教)

野依秀市	江部鴨村	宮島資夫	福井天章	岸澤惟安	小瀧淳	高柳泰壽	小笠原秀昱	淺野研眞	高楠順次郎	佛及協會	東京帝大	大東出版
信仰生々の記	獄一定	雲水は語る	幸福への道	わが子のかはいふ心	一話家庭佛教	東本願寺問題真相	法城	日本佛教社會事業史	散華法樂集	國民佛教聖典	佛敎聖典	綜合敎新辭典
洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六
布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判
368	300	242	78	62	366	79	373	26	228	1224	714	1224
一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
秀文閣	學藝社	大雄閣	鴻盟社	鴻盟社	吉田書店	新知社	千倉書房	凡人社	大雄閣	秀文閣	三省堂	大東出版社
月三	月九	月三	月七	月十	月九	月五	月五	月二十	月七	月四	月七	月四
▲著者の信仰體驗及び佛教に關する感想集で厄年萬々歳の年、反駁の反駁外五十篇。	▲親鸞の悟りを把握する道を隨想風に説いたもので、一相處より、自然隨順の二篇廿九章。	▲文士から佛門に入つた宮島氏の感想集で、新發意禪話、雲水掛錫雲水の禪堂修業其他。	▲幸福への道、怒るな、慎むべきは色と酒等を收む。	▲親心は佛心である、この佛心を平易に説いた書。	▲一日一話づゝ三百六十五日に亘て佛教を誰が讀んでも解るやう平易に説述す。	▲東本願寺の現法主の側近者及其他の本山重役等の不法を述べ問題の真相を説く。	▲大谷派本願寺及び句佛上人に就て述べたもので、法城のあらし、聖者を慕ひて其他。	▲日本佛教の社會事業活動の史的的研究と併せて教壇依存者生くべき將來への方途を明示す。	▲佛誕二五〇〇年を祝して、釋尊を讃仰せし佛教歌を集録せしもの。	▲佛敎に關する一切の知識を網羅したもので印度の佛敎、支那の佛敎、日本の佛敎外九篇。	▲一萬教子の經卷中より百數十種の聖敎を收録し、和文はその儘に漢文は國譯す。	▲布敎に關する一切の指導、修養の材料等を宗敎概説篇、年中行事篇外八篇に分け收む。

宗教(佛教・基督教)

高田 研一	鎌田 研一	岸田 軒造	田 島 進	古屋 孫次郎	札 根 眞 泉	中村 順三	比屋根 安定	有賀 鐵太郎	石 原 謙	佛 教 年 鑑 社 編	
南無御父様大明神	基督教と教異鈔	國體と基督教との融合	我國民性と基督教の使命	日本の使命と基督教	日本精神と基督教	東洋文化の復興と基督教	聖サビエル傳	基督教思想史	基督教史	昭和十年一佛敎復興臨時調査會	
並四六 製判	並四六 製判	並四六 製判	並四六 製判	並四六 製判	並四六 製判	並四六 製判	並四六 製判	並四六 製判	並四六 製判	並四六 製判	
294	150	704	258	132	120	286	179	244	189	337	
八〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	
新生堂	向山堂	岩波書店	大村書店	日獨書院	日獨書院	叢書刊行會	叢書刊行會	叢書刊行會	叢書刊行會	叢書刊行會	
月三	月二十	月八	月十	月五	月三	月五	月五	月二十	月四	月二十	
▲クロニクルの次席主筆であり救世軍々人たる著者の自叙傳物語でグループ運動の一名著	▲基督教の入門書で、序言、父なる神、神の獨子、聖靈によりて生る、教會外八講、神の	▲雑誌「聖書の眞理」に發表された著者の遺稿集で、短文抄、罪の赦、日本外三篇。	▲神の思ひと慈を中心とする説教集で、世は彼を知らざりき、神の思ひ外三篇。	▲現代に於けるイエス傳の研究をその方法論的觀點から述べた書で、緒論外四篇。	▲特質を示した書で、原始基督教會外八章、その	▲紀元前二百年頃から紀元後百年頃までのユダヤ及びローマの政治、宗教其他を説述す。	▲基督教倫理の原理論より神と罪惡の問題を解釋した書で無限、靈的實在としての神其他。	▲現代の意識に於てキリストの教義が如何に永遠の意義を帯びて取扱はれ得るかを考察す。	▲福音主義基督教の本質を述べた書で、聖書の言と教會の言、創造者なる神外五章。	▲序説、教會の内に於ける基督、教會とベトロ外十章にてカトリシズムの本質を解説す。	▲五月末より六月初めに互つて東京中央放送局より講演せるものを纏めたもの。

基督教

▲大勢篇、各宗篇、教學篇、時事篇、事業篇  
統計篇、國際篇、家庭篇外三篇の佛敎年鑑。

宗教(基督教)

今井 三郎	大 島 豊	カール・アドラム著 吉満 義彦譯	熊谷 政喜	熊野 義孝	龜 德 正 臣	松本 卓夫	郷 司 健 爾	高柳 伊三郎	出 隆	江原 萬里	塚本 虎二	レッドウッド著 福島重義譯
基督教の中心思想	シユライエルマツハアの信仰論	訂改カトリシズムの本質	福音主義基督教の本質	キリスト論の根本問題	神と罪惡の問題	新約の時代	基督教諸分派の起原とその特質	現代に於けるイエス傳研究	神の思ひ	罪と其救ひ	信 仰	闡 世 的 救
並四六 製判	並四六 製判	並四六 製判	並四六 製判	並四六 製判	並四六 製判	並四六 製判	並四六 製判	並四六 製判	並四六 製判	並四六 製判	並四六 製判	並四六 製判
236	298	337	189	244	179	286	120	132	258	704	150	294
一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
新生堂	第一書房	岩波書店	新生堂	叢書刊行會	叢書刊行會	叢書刊行會	叢書刊行會	日獨書院	日獨書院	大村書店	岩波書店	向山堂
月八	月二十	月二十	月四	月二十	月四	月二十	月五	月三	月五	月十	月八	月二十
▲五月末より六月初めに互つて東京中央放送局より講演せるものを纏めたもの。	▲シユライエルマツハアの「基督教信仰」を紹介せる書で史的解説外二篇。	▲序説、教會の内に於ける基督、教會とベトロ外十章にてカトリシズムの本質を解説す。	▲福音主義基督教の本質を述べた書で、聖書の言と教會の言、創造者なる神外五章。	▲現代の意識に於てキリストの教義が如何に永遠の意義を帯びて取扱はれ得るかを考察す。	▲基督教倫理の原理論より神と罪惡の問題を解釋した書で無限、靈的實在としての神其他。	▲紀元前二百年頃から紀元後百年頃までのユダヤ及びローマの政治、宗教其他を説述す。	▲特質を示した書で、原始基督教會外八章、その	▲現代に於けるイエス傳の研究をその方法論的觀點から述べた書で、緒論外四篇。	▲神の思ひと慈を中心とする説教集で、世は彼を知らざりき、神の思ひ外三篇。	▲雑誌「聖書の眞理」に發表された著者の遺稿集で、短文抄、罪の赦、日本外三篇。	▲基督教の入門書で、序言、父なる神、神の獨子、聖靈によりて生る、教會外八講、神の	▲クロニクルの次席主筆であり救世軍々人たる著者の自叙傳物語でグループ運動の一名著

宗教(基督教)

宮本武之助著	奈良常五郎	館岡剛	阿部義宗監修	小川内美男編著	アルバ社編輯部編	中山昌樹譯	中山昌樹譯	松田明三郎	富森京次	ウオーカー著	八木一男	田クリステイ著	
基督教的世界観と哲學的世界観	チヨーチ・ウイリアムズと基督教青年會	聖書解釋法	聖書地名事典	聖書地名事典	新約馬可傳	アッシジの聖フランチェスコ	聖アウグスチヌス懺悔錄	モーセと十誡	イエスの私生涯	イエスと創造的保守主義	キリストの基督教	基督教中心の奉仕	
上四六製判	並四六製判	上四六製判	上四六製判	上四六製判	並四六製判	上四六製判	洋四六布入判	洋四六布入判	洋四六布入判	洋四六布入判	並四六製判	並四六製判	
171	58	170	200	96	87	460	507	258	252	237	120	114	
一〇〇	二〇	六〇	四〇	六〇	二〇	二〇	一八〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	四〇	四〇	
長崎書店	同會青年會	日本基督教會	警醒社	警醒社	日曜學校局	アルバ社	新生堂	新生堂	出版者	文書堂	岩波書店	向山堂	新生堂
月二	月十	月七	月五	月一十	月五	月四	月十	月二十	月七	月十	月四	月九	
▲基督教的世界観と哲學的世界観との對立外六篇	▲基督教青年會創立者の傳記、基督教青年會の現勢	▲解釋學の原理、解釋學の目的其他にて論述	▲聖書に出でくる地名を五十音順に並べ、地圖上に於けるその位置を明らかにし解説す	▲神學博士高木太郎著の増補で原著以後の記録を補つたもの	▲明治十四年米國聖書會社から出版された口語體の「馬可傳」を其文體のまま、收めたもの	▲聖書に出でくるその位置を明らかにし解説す	▲ザバタイエの著を譯せるフランチェスコの評傳、青春時代、回心の段階外十八章	▲モーセの人物を評價し、彼の十誡の意義を明かしてイスラエルの宗教の發展其他を叙す	▲イエスの私生涯の研究、ナザレの自然と少年イエス、ヘロデ王の時外五章	▲現代人に向つて信仰家庭社會政治等の實際問題を明示した書で、イエスと財寶外七章	▲聖書中心の基督教を説いたもの	▲クリステイ博士の豐富なる體驗と思索との結晶的具體化で、動機、使命外二章	

宗教(基督教)

宮家磐夫	シロー、エー、ガン	小林喜一	黒田四郎	磯部泰治譯	ハルバット原著	フランボウ	松尾相譯	川添繁郎	高桑純夫譯	高桑純夫譯	桑田秀延編	藤田孫太郎譯	カアル・ハイム著	松尾野川譯	バタリソン著	ブルンナー著	
北氷洋の聖勇グレンフェル	主イエスの自己紹介	舊約の律法	神の恩寵を語る	舞新約聖書物語	Religious Values in Japanese culture	教會と文化	病床の樂園	聖トマス・アキナスの生涯及び思想	神學と教會	聖書の世界観	聖パウロの神學思想	神と人	神と人	神と人	神と人	神と人	
洋四六布判	並四六製判	並四六製判	上四六製判	上四六製判	洋四六布判	上四六製判	上四六製判	洋四六布入判	上四六製判	上四六製判	上四六製判	上四六製判	上四六製判	上四六製判	上四六製判	上四六製判	
274	118	222	239	800	154	70	200	283	188	207	214	211	211	211	211	211	
一〇〇	六〇	六〇	六〇	二〇〇	一〇〇	四〇	六〇	一四〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	
教文館	教文館	教文館	教文館	教文館	教文館	長崎書店	長崎書店	長崎書店	長崎書店	長崎書店	長崎書店	長崎書店	長崎書店	長崎書店	長崎書店	長崎書店	
月十	月十	月七	月五	月三	月三	月二十	月二十	月一十	月十	月七	月九	月五	月五	月九	月五	月五	
▲地球の北端に踏み入つて教化事業に奮闘する聖者及び傳道者グレンフェル博士の傳記	▲聖書の句を取りて其中に表はされしイエスの御自分に就ての言葉の説明を掲ぐ	▲舊約の律法を民法刑法訴訟法など現行法的に類別して一目瞭然ならしめたもの	▲舊約の律法を民法刑法訴訟法など現行法的に類別して一目瞭然ならしめたもの	▲各自が受けし神の恩寵を掌の上にのせて見たやうに信仰の事實物語を集めたもの	▲舊新約聖書の話平易な文章にて青少年に分り易く物語的に書かれたもの	▲バルトの第二論文集の中より選びしもので「復活」の説教を加ふ	▲遅れ走せでも歐米文化にこぎつた日本民族固有の宗教的價値を説く	▲第一、第二、第九、アキナスの人格其他五章	▲基督教に生きた病床七年の記録	▲神は全被造物と偕に余を造り給うたことを信ず他三篇	▲日本神學校の教授を中心とした筆者十數名の神學論文集	▲緒論、特質と資料第一章、宗教の公理以下第十三章までを収む	▲神學博士高木太郎著の増補で原著以後の記録を補つたもの	▲明治十四年米國聖書會社から出版された口語體の「馬可傳」を其文體のまま、收めたもの	▲聖書に出でくるその位置を明らかにし解説す	▲ザバタイエの著を譯せるフランチェスコの評傳、青春時代、回心の段階外十八章	▲モーセの人物を評價し、彼の十誡の意義を明かしてイスラエルの宗教の發展其他を叙す



宗教(基督教)

關根文之助	聖書シヤロンの野花	並四六製判	150	六〇	教文館	月十	▲聖書から材を集めて劇や對話に作りしもので、クリスマス祝會などに上演し得るもの。
細貝貞子	信仰生活の手引 我に效へ	上四六製判	3.1	八〇	教文館	月二十	▲イエスの規範に效ひ彼の靈的眞理に従つて生活せんと欲する者の手引。
カトリック中央出版部	小 さ き 伯 爵	並四六製判	95	四三	カトリック中央出版部	月九	▲僅か十二年で既に地上を終へた佛蘭西の貴族、ギイ・ド・フオンガランの傳記。
アンリ・ボルドゥク著 森雅子譯	新子 供 十 字 軍	並四六製判	284	六〇	カトリック中央出版部	月六	▲教皇を救ひ出したため、モウリエンヌ村の少年が十字軍を組織したカトリックの小説。
笹倉彌吉	家 庭 禮 拜 曆	並四六製判	92	二〇	日本基督教會日曜學校局	月一十	▲昭和十年・一九三五年用の禮拜日課を収む。
小平國雄	聖地の歴史 地理	並四六製判	134	四〇	日本基督教會日曜學校局	月七	▲沿岸地、ヨルダン河、聖都よりの放射道及びバウロの世界につき記述す。
富助一	かちく山の春	上四六製判	165	六〇	向山堂	月五	▲多年の體驗と研究から割りだした日曜教育の特殊のものである。
秋田道信	特 選 祈 禱 書	布四六製判	250	一〇〇	向山堂	月二	▲教會、家庭、團體、個人總てに利用さるべき新教各派に通ずる自由祈禱集。
舊約聖書續譯委員	舊約聖書續篇	布四六製判	500	二〇〇	出聖版公社會	月二	▲新約と舊約との中間の聖書たるギリシヤ語より全譯のアポクリファ。並製一冊。
スバクマン著 濱田敬一譯	靜 想 の 友	上菊半製載	200	四三	出聖版公社會	月三	▲基督傳と聖書研究を兼ねたる修養書。靜想の意義、工夫、準備、其他一切網羅。
オ・ケニオン	神の國の律法	上菊半製載	50	四〇	出聖版公社會	月九	▲舊約の十誡を新約の精神で解釋せる書で愛の光に輝く十誡の新研究。
バラド著 細貝貞子譯	ナ イ チ ン ゲ ー ル	上菊半製載	80	四三	出聖版公社會	月一十	▲クリミヤの天使、戰場の花と謳はれた赤十字看護婦の始祖たるナイチンゲールの傳記。
ハネ代城助著	舊 約 の 話	上四六製判	410	二〇〇	出聖版公社會	月一十	▲ヘブル民族の光榮ある歴史と文學で寫眞三十六枚を有する舊約聖書神學。

宗教(基督教)

ウオルトン	主 祈	上四六製判	130	六〇	出聖版公社會	月一十	▲「主の祈」の新しい趣味ある研究で實生活に調和して力の漲れる祈の研究書。
中山吾一	祈禱書研究の手引	上四六製判	190	六〇	出聖版公社會	月一十	▲日本聖公會で使用せる祈禱書の根本なる研究註釋書。

ヴァン・ルーン著  
前田晁譯  
**聖書物語**

定價 三・五〇 税 三三

著者		書名	裝訂	頁數	定價	發行所	月行發	内容大意
東京帝國大學教授 山本 作樹	教育學講義	洋函六 布入判	248	二、八〇	東洋圖書株式會社	五月	▲帝國教育會冬季講習會に於て講義せる教育學の速記に加筆せるもの。 ▲教育に關して述べたもので、研究の範圍に就て、教育の力、教育の地位外二章。	
東京帝國大學教授 福島 政雄	教育學緒論	洋函六 布入判	263	二、五〇	東洋圖書株式會社	十一月	▲日本教育の批判、文化の本質と教育、個性と教育、教育の新規準、其他。	
早稲田大學教授 小澤 恒一	教育學新講	洋函六 布入判	330	二、九〇	厚生閣	六月	▲ソクラテス、プラトンの辨證法による教育學を述べた書で、辨證的教育本質論外三篇。	
東京高師師範學校教授 石山 倫平	辨證的教育學	洋函六 布入判	159	一、四〇	目黒書店	十二月	▲カントの教育學を邦譯せるもので、緒論、物理的教育論、德育論、宗教教育論外一章。	
西田 宏譯	全譯カント教育學	洋函六 布入判	370	二、三〇	岩波書店	六月	▲ベスタロッチの教育學に就て研究せるもので、ベスタロッチの教育學の方法外九章。	
長岡 新	ベスタロッチ教育學	洋函六 布入判	346	二、一〇	政經書院	二月	▲哲學者デュウイの著に準據して、教育の本質及び理想社會に於ける教育に就て述ぶ。	
廣島文理科大學 教育學研究室	教育學	並編 製判	232	一、三〇	岩波書店	六月	▲理想主義教育學の新形態(長田新)ソクラテス對話法(稻富榮次郎)外二篇。	

### 三、教育

#### 教育學・教育史

版三忽

## 舊約聖書續篇

特價版一圓・布裝天金二圓・皮裝四圓五十錢  
新約と舊約との中間の聖書

魂の文學！イスラエルの子等の靈的ローマンス！  
永遠の旅を歌ひ行く順禮民族の内面的物語！  
神と偕に生活する選民の光榮ある歴史と文學！  
駱駝と天幕。教會と聖書。エヂプトからの解放。エロヒムとヤークエ。  
ヨシユア。支族の勇將達。豫言者サムエル。王統なる權威。ソロモンの  
神殿。お、イスラエルよ汝らの天幕に歸れ。我らの神ヤークエ唯一のヤ  
ークエ。奇蹟。イスラエルよ汝の神に會ふ準備なせよ。ヤークエの慈悲。  
イスラエルの聖なる者。ベテレム及エフライム。義しき者はその信仰に  
よつて生くべし。宗教改革。その心の上に録さん。學者の幻。汝ら慰めよ。  
最初の教會員。最後の豫言者達。神の豊かなる智慧。聖言に就いての深  
奥な學者ら。聖徒の兩刃の劍。天の御國。エステル。人の靈魂は主の燈  
火なり。空の空なる哉。アレキサンドリア。シラク及ソロモン。イスラ  
エルの讚美の中に住み給ふ。主の僕。以上の三十四章よりなる。

クラシックな零圍  
氣を豊かに醸す寫  
眞三十六枚(五十七  
成)を有し、極め  
て趣味的にして新  
鮮味の躍如たる、  
舊約聖書神學の大  
衆的研究書！

最新刊

# 舊約の話

四六版・上製  
コットン上等紙  
地圖及索引附  
寫眞三十六枚入  
定價二圓九十錢

ケンブリッジ大學教授 神學博士 ネアン 著 八代斌助譯

東京市麻布區聖公會出版社  
電話 青山七〇八  
東京市東區四丁目二番

田邊 壽	大志 萬	篠原 助	協大 日本	乙竹 岩	西山 哲	石山 脩	井上 助	大日本 學	千葉 敬	文部省 學	木村 泰
利譯	宗治	助市	會編	造	治	平	太郎	術協	止	務實	夫
教育と社會學	哲學的によつて教育の理論と實際	補増 批判的教育學の問題	最新 教育學概論	現代 教育學汎論	現代 新教育汎論	西洋 教育史	約說 日本・西洋教育史	國民教育發達史	日實業補習教育史	實業教育五十年史	本邦教育學說史
洋四六	洋四六	洋四六	上四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六
布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判
250	213	350	458	644	360	656	346	294	512	530	244
一、八〇	一、八〇	二、一〇	二、一〇	四、八〇	二、八〇	二、五〇	一、八〇	一、八〇	二、三〇	二、五〇	一、八〇
登文社	モナス	寶文館	モナス	培風館	新生閣	目黒書店	啓文社	モナス	東洋圖書株式會社	實業教育五十年紀念會	南光社
月七	月七	月二十	月五	月三	月一十	月五	月一	月三	月八	月二十	月三
▲デュルケムの教育學的傳統を明らかにするもので、デュルケムの教育學的著述外四篇。	▲ルドルフシュタイナーの人間學と教育思想、人間學の立場より見る兒童の教育外一章。	▲最近の教育理想、生活準備と連續的發展、社會的教育學の概念外十篇の論文を收む。	▲教育學の概論を述べ、文檢の既出問題をも配し、各科教授法と教授原論との關聯を説く。	▲現代の教育學一般に就てその趨勢を説明した書で、現代に於ける主要なる教育學說其他を述べた書で、機械時代の教育外廿章。	▲新教育の主眼する特徴及びそれに對する批判を述べた書で、機械時代の教育外廿章。	▲希臘教育史の地位とその時代區分、古希臘時代第一期外三章。	▲日本、東洋、西洋の教育史を説述したもので、西洋教育史外一編。	▲國民教育發達史、國民教育本質(附録)の二篇にて論述す。	▲我が國最初の實業補習教育、大正九年大改正後の實業補習教育其他。	▲明治初年より最近に至る間の我國に於ける實業教育發展の過程を明かにせる書。	▲明治初年より昭和の今日に至る我國教育界を支配せる海外の教育學說を批判叙述す。

教育(教育學・教育史・教育心理學・兒童研究)

久保 良	久保 良	關 寬	波部 盛	阪 本	霜田 靜	上澤 謙
英編	英編	之	政	泉	志	二
兒童研究	兒童研究	兒童學	教育的兒童觀の研究	不具兒童の教育	子供への理解	子供の生活を裏から観る
洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六
布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判
1108	354	601	265	41	330	268
一、〇〇〇	三、八〇	四、八〇	二、八〇	二、五〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
中文館	中文館	東洋圖書株式會社	啓文社	育社協會	刀江書院	新生堂
月六	月五	月二	月四	月七	月一	月七
▲職業指導用テストの試み(久保良英) 譯註兒童の宗教意識の研究(關寬之)其他。	▲第十六卷は兒童の類型、特に直觀像に就て(林清一)外十一篇より成る。	▲兒童及兒童學、兒童研究法、兒童及兒童學の歴史、發育現象、兒童期の精神其他。	▲教育の主觀的基礎たる兒童、青年の身體、精神、生活の如何なるものかを究む。	▲不具兒童に就て、不具兒童の心の發達、個々の不具とその影響、不具兒童の教育外一篇。	▲子供を如何に理解すべきかを、體驗によつて書かれたもので、兒童のために外二部。	▲特殊の子供の生活を事實に即し事情に照して觀察し、解剖し、考量す。

教育思潮・教育論・教育一般

教育(教育心理學・兒童研究・教育思潮・教育論・教育一般)

教育(教育思潮・教育論・教育一般)

稲毛 風	廣瀬 豊	加藤 仁平	中野 光治	武喜田 煉七郎	川井 勝雄	立花 繁男	岡登 貞治	河原田 十吉	春山 作樹	松原 至大	長田 新	福島 政雄
現代思潮と新日本の教育	松陰先生の教育力	山鹿素行の教育思想	貝原益軒山鹿素行吉田松陰	構成教育大系	アメリカの發達とその教育	歐米美育大觀	現象學と現象學的教育思想	現代人の修養と教育	教育餘論・職の書	この子の供たち	ペスタロッチの宗教教育論	ペスタロッチの根本思想研究
洋四六 布入判	布四六 裝入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	上四六 裝入判	洋四六 布入判	布四六 裝入判	上四六 裝入判	布四六 裝入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋三五 布判	洋四六 布入判
661	426	313	487	518	357	575	166	383	277	497	120	275
二、三〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	一、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
株明式會社	武藏野書院	目黒書店	世界教育會	培風館	采文閣	東光書院	東洋圖書株式會社	世界教育會	世界教育會	世界教育會	渾池社	目黒書店
月二	月五	月十	月十	月三	月二	月七	月十	月二十	月十	月九	月四	月四
▲教育の本質、現代教育思潮、新日本の教育外一篇にて現代思潮及び新日本の教育を説く	▲松陰先生の教育力、松陰研究の諸問題の二編にて吉田松陰の教育に就て説く	▲日本精神を理念にして實踐せる山鹿素行の教育思想に就て研究せるもの	▲貝原益軒(入澤宗壽)山鹿素行(田制佐重)吉田松陰(中野光治)の傳記を叙す	▲日本精神を理念にして實踐せる山鹿素行の教育思想に就て研究せるもの	▲アメリカの歴史及び教育に就て述べた書で植民地時代とその教育外三章	▲歐米各國の美育觀察記で、佛蘭西、英吉利獨逸、伊太利、洪牙利、亞米利加外九篇	▲現象學並に現象學的教育思想を平易に説いた書で、現象學の概念其他	▲えらい人、成功の道、各自の努力、指導者の教育、等二十餘項にて述ぶ	▲教育全般を論じた「教育餘論」教育者の心得を叙した「職の書」の譯	▲ウオートン女史六十六歳の時の作で子供達をめぐつて動く新舊アメリカの姿を描く	▲ペスタロッチの宗教教育論、宗教教育の本質の二篇にて説述	▲ペスタロッチの思想を著者が反省思想せる書で、ペスタロッチの自然觀と教育思想其他

教育(教育思潮・教育論・教育一般)

吉田 熊次	初等 教育	寺田 彌吉	滋賀縣島小學校編	入澤 宗壽	大伴 茂	長 義正	新教育協會編	立教大前教授	芦田 正喜	加藤 仁平	入澤 宗壽	小山 文太郎	東京府豊島師範學校附屬小學校編
教育學說と我が國民精神	最近日本教育研究大觀	新日本教育の建設	新日本教育の實踐工作	日本教育論	日本教育の基礎工作	日本教育の指導原理	日本精神と新教育	日本精神と國民教育の本質	日本精神の發展と教育	日本精神への道	雄飛期日本と教育躍進	雄飛期日本の教科及訓練の研究	
洋四六 布入判	上四六 裝入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	上四六 裝入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	
506	312	402	190	367	374	212	370	451	396	462	530	372	
二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	一、五〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	
目黒書店	三友社	株明式會社	株明式會社	同文書院	株明式會社	株明式會社	株明式會社	株明式會社	同文書院	株明式會社	株明式會社	株明式會社	
月二十	月二十	月二	月六	月十	月五	月七	月一十	月三	月四	月六	月五	月三	
▲教育と國民精神の關係に就て述べたもので教育學說と我が國民精神外一篇	▲現實の世界的論理的構造(西田幾多郎)ペスタロッチの眞理感と自然(福島政雄)其他	▲新日本教育は何を要求するか、新教育研究の諸方法、人間教育の研究外三章	▲日本精神に基いて教育の建設を述べたもので、新日本教育論、新日本教育綱領外六章	▲日本精神の内容を検討し日本教育の發展を顧みて如何に革新すべきかを論述す	▲日本精神顯揚の實踐、個性を生かす生活の訓練外一篇にて論述	▲教育の根本をなす哲學的論述で、日本教育の究極が如何なる處に落ちつくかを見通す	▲日本精神と教育改造(三上參次)新教育と日本精神(入澤宗壽)外九篇	▲日本精神とは何ぞ、國民教育の淵源外八章にて日本精神及び國民教育の本質を叙述す	▲日本精神と日本教育に關する論述で、神益並に神勅を通して見たる日本精神の發展其他	▲日本精神涵養の方法としての體驗教育原論で世界觀としての體驗其他	▲驚異的發達をなせる日本と教育の躍進に就て述べたもので、序論、日本凝視外一篇に就て述べたもの	▲雄飛の途上にある日本の教育及び訓練に就ての研究で、雄飛期日本の教育外五篇	

教育(教育思潮・教育論・教育一般)

早瀬	上田	中等	高瀬	下田	丹澤	檜崎	佐藤	佐藤	長倉	白土	尼子	
早瀬 松藏	上田 庄三郎	中等教育談話會編	高瀬 越	下田 次郎	丹澤 美助	檜崎 淺太郎	佐藤 熊治郎	佐藤 熊治郎	長倉 燭介	白土 千秋	尼子 止	
新應能教育の理論と實際	激動期の教育構圖	中等學校に於ける教育	生命の教育	魂の教育	新注入主義の教育	教育革新の本道	國民教育の中心問題	國民教育の中心問題	國家意識への教育	内外の實愛國教育	皇道教育論	
上四六	上四六	布四六	洋四六	布四六	上四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	上四六	
製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	
242	271	153	290	378	278	389	202	235	175	321	233	
一八五	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	
育英書院	啓文社	三省堂	東光書院	式合資會社	モナス	日黒書店	日黒書店	日黒書店	日黒書店	寶文館	モナス	
月一	月一十	月六	月二	月八	月九	月六	月五	月一	月二	月八	月六	
▲皇道中心の日本精神に於ける教育に就て論述せる書で、皇道教育論、日本精神論の二篇	▲愛國教育に關する歴史の考察、愛國心の本質と國民教育の根本原則外七章。	▲國家意識への公民教育に就ての論文を収めたもので、國家意識への教育外十三章。	▲其の三は國民教育の理想に就て説述せる書で、教育の對象の心理的考察外六章。	▲國民教育の中心問題たる修身科、國語科及び國史科に就ての教授論。	▲家庭の親、學校の教師として心得て置くべき問題を収めた書で、就學前の子供外六章。	▲日本教育の革新に就て述べた書で、序論、日本の使命、日本教育革新の本道外一篇。	▲歐米教育學說の模倣を排した著者の注入主義の教育論で現代教育に對する疑問外廿六章	▲私の半生録、教師論、女子の天職、女子と家庭生活其他。	▲生命の内面より全人的に伸展せしめんとする教育論で、全人教育の原理外二篇。	▲全國の中等學校よりの回答七十三通を収めたもので、日本賢哲の觀たる行の精神其他。	▲虚無と不安の重壓下に喘ぐ現代の教育現實に對して批判し解剖す。	▲應能教育の眞義、妥當性、能力別より見たる兒童の特質、實際、教師論、學制改革案等

教育(教育思潮・教育論・教育一般)

前田	帝國大學	杉本	河村	保仙	下村	馬城	寺田	竹内	河野	古賀	兼子	池内
前田 若尾	帝國大學新聞社編	杉本 榮一	河村 幹雄	保仙 和夫	下村 虎六郎	馬城 麓	寺田 彌吉	竹内 重雄	河野 通保	古賀 益城編	兼子 常四郎	池内 信嘉
教育と實際	學制改革論	日本のベス	名も無き民のこゝろ	教育への得ぬ悩み	教育的反省	教育者秘帖	教育者の解脱を語る	新編日本が教師の資格十ヶ條	學校事件の法律的實際研究	教育聖典と語録	性教育と優生問題	能樂と教育
布四六	洋四六	並四六	洋四六	洋四六	洋四六	並四六	布四六	洋四六	洋四六	上四六	布四六	並四六
製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判
385	287	106	364	370	272	302	223	67	437	578	271	30
一、三〇	一、二〇	二、〇〇	一、三〇	一、三〇	一、三〇	一、三〇	一、三〇	一、三〇	一、三〇	一、三〇	一、三〇	一、三〇
向山堂	帝國大學	啓方閣	岩波書店	文開堂	泰文館	大同館	明治圖書	共文社	文化書房	東光書院	芝書店	育社協會
月一	月十	月四	月五	月一十	月四	月二	月十	月七	月五	月一	月六	月五
▲教育の實際に關する所感集で、大自然の威力とその恩恵、愛の極致外四十三篇。	▲學制改革の着眼點と調査方法、吉田藤次、學制改革私見(美濃部達吉)其他。	▲無月給追害等の中に自己、妻子を犠牲にして教育に殉ぜし正田校長の事蹟を述ぶ。	▲教育及び思想に關して述べたもので、國防の將來、小定員學校論、新章卓撰論其他。	▲小學校訓導である著者の教育に就ての經驗録で、初陣、教ふる者の喜び其他。	▲教育に關する短論隨筆集で、自己表現と奉仕教育的反省第一次善外廿編。	▲現代生活戰術概論、時代と教育人の生活方針、思想問題心得帖、新教育心得書外二章。	▲親鸞聖人の教異鈔に依つて教育者の解脱の道を説いた書で、解脱への道外四篇。	▲十ヶ條を擧げて教育者の本質の資格を古今東西に亘り點檢す。	▲學校事件の活きた事實とその法則とを研究した書で、下巻は教授上の諸問題研究外三篇	▲教育精神論、教育本質論、教育思潮論外三篇にて日本精神と之に基づく日本教育を述ぶ	▲性教育により若人に理想、感化、訓練、習慣を與へ性を順當に發育せしむる事を説く	▲能は最も完備した藝術、能の起原と變遷、徳川幕府と能、能の教育上に及ぼす效果其他

教育(教育思潮・教育論・教育一般・國民道德・詔勅・社會教育)

市川源三	宮越卓	福島縣教育新聞社	大元茂一郎	互理章三郎	互理章三郎	杉上長造	大久保龍	川本宇之介	吉田熊次	石川
新撰講話資料	教育職員必携	福島縣教育關係職員錄	國民道德要領	詔勅の聖訓と道德教育	教育勅語釋義全書	教育勅語精解	教育勅語精解	社會教育原論	社會教育原論	近世社會教育史の研究
洋四六	洋四六	洋三六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六
607	491	258	200	786	604	398	173	546	452	542
三三	二八〇	六	一三〇	五八〇	四八〇	一三〇	一〇〇	二二〇	三三〇	二〇〇
明治圖書	盛義堂	古今堂	文光社	明治圖書	中文館	文化書房	大同館	北文館	同文書院	章華社
五月	三月	六月	二月	五月	五月	三月	二十	二月	三月	四月
▲女學校の年中行事に關する訓話例、處女會婦人會の講演要領、婦人問題の論說等を収録の研究で、恩給法解説、書式及解説外三編。	▲官等及俸給表、福島縣廳各市役所、各小學校専門學校其他を収めた職員錄。		▲國民道德の概説、教育勅語・戊申詔書・精神興詔書・朝見式御儀の詔勅等の謹解。	▲國民道德の見地から詔勅の聖訓の解釋と其服務奉體とに關する論文を収録す。	▲教育勅語を解釋せるもので、教育勅語の方針、朕惟フニ、我力皇祖皇宗其他。	▲教育勅語の意義を述べ、更に字義の取扱ひ及び音義を研究す。	▲教育の淵源、御仁慈、學びの道、孝、大和魂其他に分けて明治天皇御製を解説す。	▲社會教育の體系的考察で、人類社會に於ける教育現象とその根本力其他。	▲石門心學史の研究に必要な背景を調査研究したもので、近世社會教育史の若干問題其他	▲獨逸國民高等學校運動に就き述べたもので、獨逸民衆教育の發展外三篇。

教育(社會教育・公民教育)

戸田貞三	戸田貞三	戸田貞三	戸田貞三	戸田貞三	戸田貞三	戸田貞三	戸田貞三	戸田貞三	協調會編	鈴木誠治
公民科大講	公民科大講	公民科大講	公民科大講	公民科大講	公民科大講	公民科大講	公民科大講	公民科大講	英國とその成人教育	獨逸國民高等學校運動
洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六
183	366	184	182	179	200	1102	1246	1102	176	46
一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	七五〇	七五〇	七五〇	八	四
中文館	中文館	中文館	中文館	中文館	中文館	中文館	中文館	中文館	協調會	協調會
六月	五月	四月	三月	三月	一月	十一月	十月	十一月	三月	一月
▲第九卷は國法、裁判所、國防の三章より成る。	▲第八卷は、帝國議會、國務大臣、樞密顧問行政官廳の三章を説述。	▲第七卷は、國家、皇室と臣民、立憲政治の二章より成る。	▲第六卷は、貨幣及び金融、交通の二章から成る。	▲第五卷は、農村と都市、産業の二章より成れるもの。	▲第四卷は市町村、府縣の二章を説述せるもの。	▲下巻は第一章國家より第十五章世界と日本迄を収め新しい教育的立場より説述す。	▲第四卷は市町村、府縣の二章を説述せるもの。	▲第五卷は、農村と都市、産業の二章より成れるもの。	▲英國に於ける成人教育に就ての説述で、英國成人教育の概観、大學と成人教育外三篇。	▲娛樂が如何に重要であるかを教育の見地より説けるもので上巻は社會教育の意義外十三章

教育(公民教育・農村教育)

戸田貞三 監修	戸田貞三 監修	戸田貞三 監修	佐藤隆徳	山崎延吉	千代田敬	倉澤剛
公民科大講	公民科大講	公民科大講	公民科新講	女子の公民科	生かすための公民科	女子の公民科
第十卷	第十卷	第十卷	第十一卷	第十一卷	第十一卷	第十一卷
洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六
布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判
189	205	234	200	358	653	653
二、五〇	二、五〇	二、五〇	二、五〇	二、五〇	二、五〇	二、五〇
中文館	中文館	中文館	南光社	三元堂	成美堂	成美堂
月七	月七	月七	月六	月二	月一十	月一十
▲第十卷は國文(國交、國際協同)財政(歳入と歳出、租税、公債外一節)の二章。	▲第十一卷は我が國の産業(我が國の産業外二節)人口と國土(人口と國土外一節)。	▲第十二卷は第十四章社會改善及び第十五章世界と日本の二章より成る。	▲中等學校の公民教科書及び参考書を中心とし、小學校教員檢定試験公民科の問題を解く地方自治、國家其他にて講述。	▲國家、皇室と國民、立憲政治、帝國議會國務大臣、樞密院顧問、行政官廳、國法外八章。	▲女子の立場から社會生活及女子独自の社會的任務を闡明して女子公民教育を説く。	▲二十數年の體驗に基づき農村教育更生の理論を説き實際を語る。

教育(農村教育・勞作教育・學習指導・學級經營)

協調會編	教育資料編纂會	山崎延吉	東郷實	小林澄兄	三浦喜雄	平戸喜太郎	和歌山市宮寺高等小學校編	草野德治	草野德治	京都府師範學校附屬小學校
農村に於ける熱風教育	全勤勞國民學校農村熱風教育	日本精神の新農村教育	精神日本の建設	勞作教育思想史	人間學と勞作教育の實踐	勤勞教育の實際	全人勞作學校の新經營	農業勞作の一ケ年	農業的勞作の施設と經營	日本精神を基調とせる各科教育の諸問題
並菊	洋菊	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六
製判	布判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判
457	138	360	248	450	370	218	502	330	288	508
一、八〇	八〇	二、四〇	一、五〇	三、五〇	二、八〇	一、七〇	二、八〇	二、三〇	二、〇〇	二、八〇
協調會	版第一會出	株明治圖書	出川學部	式丸會社	新生閣	育英書院	教育實際社	二松堂	啓文社	政經書院
月十	月九	月十	月二十	月五	月五	月一	月二	月四	月十	月二十
▲農村日本の精神を説き、更に精神日本建設の爲めに教育の革新に就て述ぶ。	▲日本精神の教育思想、農村形態の教育理解新農村學校の經營外二編。	▲現代の社會狀況の下に勃興せる國民高等學校、農村塾、農民道場を紹介研究批判す。	▲農村に刊行した「農村に於ける特色ある教育機關」に増補改訂せる書で國民高等學校其他	▲勞作教育の意義を明かにし、歐洲に於ける發達を考究、批判せるもの。	▲作業主義、勞作主義、體驗主義の教育を融合した書で、實際教育及び具體案を解説す。	▲昭和二年より八年まで勤勞教育の實際の方面についての施設體驗の記録をまとめたもの。	▲勞作教育の原理其他の教育思潮に準據し、宮校の郷土立脚、生活中心の勞作教育を述べ、	▲著者の體驗を基礎とし、それに一般的事項を補遺して農業勞作一ケ年の經營計畫を述べ	▲小學校に於ける農業的勞作を如何に見、如何に取扱ふかを研究し施設經營法を述べ。	▲日本精神を基調とせる小學教育の全科に亘つての問題に就て論述す。





教育(學習指導・學級經營・修身教育)

附屬小學校	熊本縣師範	東谷義夫	東繁光	河野通頼	松本浩記	毛利芳太郎編著	兒童學研究會編	兒童學研究會編	教育經營編輯部	坂田政吉	大森保平	守内喜一郎	協同社會教育の研究
我が國の教育を全體觀の修身教育	尋常小學校修身教育の系統案	日本精神陶冶の修身教育	人格主義の倫理と修身	修身教育の發展と歸結	生徒缺席月統計早見表	教師日誌	教師日誌	文部省訓令 學校災害の準備と非常訓練	水産補習學校に於ける實習施設經營	協同社會の新教育	協同社會の立場から我が國民教育の立場から	協同社會教育の研究	
洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	
布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	
337	611	358	379	368	448	202	204	88	98	440	477	477	
二、一八〇	三、〇〇〇	二、三〇〇	二、〇〇〇	二、三〇〇	二、一〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	四、〇〇〇	七、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	
文教書院	株明治會社	新生閣	厚生閣	啓文社	モナス	小山書店	小山書店	版第一會出	杉山書店	株明治會社	株明治會社	株明治會社	
月一十	月六	月四	月一十	月一十	月二	月三	月四	月二十	月八	月三	月三	月一十	
▲全體觀に立脚せる修身科の研究で、修身教育に於ける全體觀と國の教育三章。	▲尋常小學校に於ける修身教育の實踐指導法を述べたもので、個人と社會の關係其他	▲日本精神の陶冶と修身教育とに就ての論述で、日本人的の修身教育論外十二章。	▲人格主義の上に立つ倫理と修身の原理と實際とを叙述せるもの。	▲修身教育に於ける全體の立場に立脚し、歴史的にその發展を述べ今後の動向を説く。歴	▲缺席數、出席總數、日々出席數、百分比の早見表で、附録發育概評決定早見表。	▲第一學期の各科教授日案を兼ねた新しい方法の下に編纂された教師用日記。	▲各科教授日案を兼ねた小學教師日記で、兒童の理解、世界教育思想等を記載。	▲文部省訓令に準據して述べた火災、地震其他の災害に對する防備と非常訓練の實際案。	▲我國水産業の位置、漁村教育、漁村の施設調査、水産科實習指導法外四章。	▲協同社會の立場から我が國民教育の立場から	▲協同社會の立場から我が國民教育の立場から	▲協同社會の立場から我が國民教育の立場から	

教育(修身教育)

岩瀬六郎	安部清見	鷲山重雄	野澤正浩	赤坂清一	松本浩記	野村芳兵衛	川島次郎	熊井甚太郎	三浦藤作	堀之内恒夫	堀之内恒夫	修身教育編輯部編
新定修身書精説	尋一新修身指導案	訓化尋一修身指導書	訂尋常小學修身指導詳案	實踐化したる尋一の修身と訓練	尋一修身教育の實踐	共同體社會尋一の修身指導書	小學修身指導書	細目式修身科指導書	確定修身例話新選	尋常修身新指導書	代修身教育の根本的省察	改訂修身書の新修身教授細目
洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六
布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判
474	476	663	498	462	303	475	416	410	562	455	380	268
二、一八〇	二、一八〇	二、一八〇	二、一八〇	二、一八〇	一、三〇〇	三、四〇〇	二、四〇〇	二、一八〇	二、三〇〇	二、〇〇〇	二、一八〇	一、〇〇〇
株明治會社	株明治會社	株明治會社	南光社	南光社	文化書房	厚生閣	目黒書店	目黒書店	大同館	東洋圖書株式會社	賢文館	文化書房
月五	月三	月三	月六	月三	月九	月七	月五	月七	月六	月四	月一	月五
▲尋一修身書をあらゆる方面より研究した指導の實際案で、入學當初の生活指導外二章。	▲尋一修身科に於ける指導案で、新修身指導總論、新修身學習指導の實際の二篇。	▲尋一修身各課に就き、主眼點及教材、指導事項、訓化補材其他の理論又は工夫を説く。	▲尋常小學修身書卷一の各課を要旨、教材、區分、準備、教法外二項目にて指導法を説く。	▲尋常一年の修身教授の實際と訓練とを中心にして述べたもの。	▲尋一修身教育の指導教授案等を記述せるもので、尋一修身教育の體系外四篇。	▲具體的な子供生活を對象として最高の道徳を培はせて行く組織教育の方法を説く。	▲尋常小學修身書卷一の各課に就て、目的、教材、指導計劃、指導の實際其他を記述する。	▲尋常一年より六年までの修身の各課に目的、教材、區分、方法、注意、備考等を示す。	▲確定教科書に準據して尋一修身の例話を輯集せるもので、學校、天長節外廿五篇。	▲尋常修身例話新選	▲代修身教育の根本的省察	▲改訂修身書の新修身教授細目





教育(國語教育)

東京府豊島区立豊島小学校 綿貫 數夫	東京府豊島区立豊島小学校 綿貫 數夫	東京府豊島区立豊島小学校 坂本 豊	東京府豊島区立豊島小学校 坂本 豊	東京府豊島区立豊島小学校 秋田 喜三郎	東京府豊島区立豊島小学校 秋田 喜三郎	東京府豊島区立豊島小学校 宮川 菊芳編者	東京府豊島区立豊島小学校 宮川 菊芳編者	東京府豊島区立豊島小学校 如藤 賢	東京府豊島区立豊島小学校 福家 弘	東京府豊島区立豊島小学校 浅黄 俊次郎	東京府豊島区立豊島小学校 浅黄 俊次郎
新小 新讀本指導日案	新小 新讀本指導日案	新小 新讀本指導日案	新小 新讀本指導日案	新小 新讀本指導日案	新小 新讀本指導日案	新小 新讀本指導日案	新小 新讀本指導日案	新小 新讀本指導日案	新小 新讀本指導日案	新小 新讀本指導日案	新小 新讀本指導日案
布面四六	布面四六	布面四六	布面四六	布面四六	布面四六	布面四六	布面四六	布面四六	布面四六	布面四六	布面四六
405	455	438	653	598	393	438	620	769	419	402	523
二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇
株明式會社	株明式會社	株明式會社	株明式會社	株明式會社	株明式會社	株明式會社	株明式會社	株明式會社	株明式會社	株明式會社	株明式會社
月三	月三	月九	月五	月一十	月六	月一十	月三	月九	月二	月四	月十
▲尋常科用卷一、新讀本の指導案を、教材解説、指導案の二項目にて述ぶ。	▲尋常科用卷二、新讀本の各課を、教材の観照と指導案の二項目にて記述せる指導案。	▲尋常科用卷三、新讀本の各課を、教材の観照と指導案の二項目にて記述せる指導案。	▲尋常科用卷四、新讀本の各課を、教材の観照と指導案の二項目にて記述せる指導案。	▲尋常科用卷五、新讀本の各課を、教材の観照と指導案の二項目にて記述せる指導案。	▲尋常科用卷六、新讀本の各課を、教材の観照と指導案の二項目にて記述せる指導案。	▲尋常科用卷七、新讀本の各課を、教材の観照と指導案の二項目にて記述せる指導案。	▲尋常科用卷八、新讀本の各課を、教材の観照と指導案の二項目にて記述せる指導案。	▲尋常科用卷九、新讀本の各課を、教材の観照と指導案の二項目にて記述せる指導案。	▲尋常科用卷一〇、新讀本の各課を、教材の観照と指導案の二項目にて記述せる指導案。	▲尋常科用卷一一、新讀本の各課を、教材の観照と指導案の二項目にて記述せる指導案。	▲尋常科用卷一二、新讀本の各課を、教材の観照と指導案の二項目にて記述せる指導案。

教育(國語教育)

奈良女子高等師範学校 岩瀬 六郎	奈良女子高等師範学校 岩瀬 六郎	津々 美信三	東京府豊島区立豊島小学校 小林 佐源治	東京府豊島区立豊島小学校 小林 佐源治	三省堂編輯所編	三省堂編輯所編	水 上 健二	中村 彌四郎	垣内 喜松治	東京府豊島区立豊島小学校 東京府豊島区立豊島小学校	東京府豊島区立豊島小学校 東京府豊島区立豊島小学校	永野 探
新小 國語讀本指導案	新小 國語讀本指導案	新小 國語讀本指導案	新小 國語讀本指導案	新小 國語讀本指導案	新小 國語讀本指導案	新小 國語讀本指導案	新小 國語讀本指導案	新小 國語讀本指導案	新小 國語讀本指導案	新小 國語讀本指導案	新小 國語讀本指導案	新小 國語讀本指導案
布面四六	布面四六	布面四六	布面四六	布面四六	布面四六	布面四六	布面四六	布面四六	布面四六	布面四六	布面四六	布面四六
392	363	126	407	396	32枚	32枚	267	130	232	730	730	290
二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇
南 光 社	南 光 社	文 學 社	三 省 堂	三 省 堂	三 省 堂	三 省 堂	文 錄 社	育 英 書 院	育 英 書 院	育 英 書 院	育 英 書 院	北 海 出 版 社
月三	月十	月五	月四	月十	月三	月三	月九	月一	月一	月十	月十	月四
▲新小 國語讀本卷三の指導案を、教材解説、指導案の二項目にて述ぶ。	▲新小 國語讀本卷四の指導案を、教材解説、指導案の二項目にて述ぶ。	▲新小 國語讀本卷五の指導案を、教材解説、指導案の二項目にて述ぶ。	▲新小 國語讀本卷六の指導案を、教材解説、指導案の二項目にて述ぶ。	▲新小 國語讀本卷七の指導案を、教材解説、指導案の二項目にて述ぶ。	▲新小 國語讀本卷八の指導案を、教材解説、指導案の二項目にて述ぶ。	▲新小 國語讀本卷九の指導案を、教材解説、指導案の二項目にて述ぶ。	▲新小 國語讀本卷一〇の指導案を、教材解説、指導案の二項目にて述ぶ。	▲新小 國語讀本卷一一の指導案を、教材解説、指導案の二項目にて述ぶ。	▲新小 國語讀本卷一二の指導案を、教材解説、指導案の二項目にて述ぶ。	▲新小 國語讀本卷一三の指導案を、教材解説、指導案の二項目にて述ぶ。	▲新小 國語讀本卷一四の指導案を、教材解説、指導案の二項目にて述ぶ。	▲新小 國語讀本卷一五の指導案を、教材解説、指導案の二項目にて述ぶ。



教育(書方教育・數學教育)

竹田津永安	竹田津永安	河野伊三郎	雄山閣編輯局編	佐藤良一郎	上田信一	寺田彌吉	小野本文重	東京市算術教育研究会編	小林佐平	福本重次郎	青木誠四郎
小學書方手本新指導書	小學書方手本新指導書	小學書方手本指導精案	算術教育汎論	算術教育概論	論生活實踐の算術教育	辯證法的算術とは何ぞや	數學史の實踐指導體系	形式方面 國定算術書の活用指針	ベリリア新數學教育論の根本思想	ソイン低學年算術の新教授法	劣等生の算術教育
上編	上編	上編	並編	並編	並編	並編	並編	並編	並編	並編	並編
製判	製判	製判	製判	製判	製判	製判	製判	製判	製判	製判	製判
235	320	208	184	428	492	306	521	321	337	349	361
一、五〇	二、四〇	一、四〇	一、〇〇	三、九〇	三、五〇	一、〇〇	二、五〇	二、二〇	一、八〇	一、九〇	二、三〇
東洋圖書株式	東洋圖書株式	東洋圖書株式	雄山閣	培風館	培風館	モナス	モナス	モナス	モナス	モナス	モナス
月十	月三	月四	月五	月一十	月五	月一十	月六	月三	月四	月六	月五
▲尋二書方手本の指導につき、要旨、指導方法並各頁に互に詳述せる指導書。	▲高等小學二年の新手本に付各頁に互に筆法其他を詳述せる指導書。	▲尋二上書方手本の各頁に互に各時間配當し其の指導方法を懇切に詳述せる書。	▲序論、現代を孕む過去の算術教育、算術教育私論外三篇にて算術教育に就て述ぶ。	▲小學校の算術全範圍に互て、その内容の根本義を説き教材を述べ取扱方法を叙す。	▲小學校の算術教材中基本的なものに生活實踐の算術教育の立場より實際具體案を述ぶ。	▲主として辯證法的算術を説き、加上法的算術をも述べた書で、辯證法的算術外三章。	▲算術教育上如何に數學史を活用するかの時機、教材等に就ての實際的記述。	▲數學、運算、算式等形式方面に重點を置き國定算術書の指導指針を示す。	▲ベリリア、ムーア、クラインが新數學教育の理念とした所を把握し思想の全般を叙述す。	▲ソインダイクの算術教科書に基づいて、低學年の算術教授法を説く。	▲小學校の算術教材の取扱方法を説き、劣等兒を作らぬ方及び劣等兒の救済策を述ぶ。

教育(數學教育)

坂口完二	算術教育編輯部編	三ツ本重長	古川正登	八木瞭	日本算術教育聯盟	池内房吉	岩下吉衛	二階源玄	關根忠	鈴木龜太郎	福本重次郎	
算術科の主要教材研究	新時代の生活算術	算術教授用具と其取扱	教育珠算の理論と實際	算術教育の動向と革新	算術教育の理論と實際	暗算教授の系統と實踐	最近世界各數學教育の變動と趨勢	算術教授の事實問題指導の深究	算術指導様式の研究	高等小學教材の綜合と其活用	高等小學教材の綜合と其活用	
上編	上編	上編	上編	上編	上編	上編	上編	上編	上編	上編	上編	
製判	製判	製判	製判	製判	製判	製判	製判	製判	製判	製判	製判	
275	177	348	281	420	107	576	608	246	381	200	196	
一、五〇	一、〇〇	一、九〇	二、五〇	二、五〇	四、五〇	三、三〇	三、三〇	一、六〇	三、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	
モナス	モナス	モナス	モナス	モナス	日本算術聯盟	明治圖書	明治圖書	明治圖書	目黒書店	南光社	育英書院	
月一十	月三	月十	月二十	月一	月一十	月四	月二	月三	月五	月五	月五	
▲尋常三、四年の算術經營の重要性を説き、學習の實際指導法を述ぶ。	▲尋一數量生活指導の態度と環境の整理構成上の要點(上田信一)外十四篇。	▲数の數へ方と唱へ方と書き方、足し算の勉強、引き算の勉強外七章にて譯述。	▲計算カード、計數器其他の算術教授用具と其取扱方法を述べたもの。	▲小學校に於ける珠算教育の指導書實際篇に於て各學年の教授細目方法を詳述せり。	▲現内閣の教育方針に就て(松田源治)新算術書編輯の精神(鹽野直道)其他。	▲算術教育は如何にあるべきかと云ふ事に就て著者の信念と其の實行案を述べた書。	▲尋常三年より六年迄の暗算教材配當案を作り其取扱及び練習の實際を詳述す。	▲暗算の重要性を述べ、特に三年以後の暗算指導要點たる暗算教材の系統を立案す。	▲歐米主要各國に於ける最近の數學教育の變動と趨勢とを内面的に概観紹介せるもの。	▲算術教授に於ける事實問題の指導實踐の方向と具體的方法とを示す。	▲算術教育の指導法を述べたもので、本様式の提唱に到るまで、本様式の概観外五章。	▲高一及高二の教材中最も至難とせる代數幾何の教材に關する取扱の研究。

教育(數學教育・理科教育)

東京青山師範學校 教育研究會編	福本重次郎	福本重次郎	受驗と小學生 編輯部	藤原安治郎	清水甚吾	高木佐加枝	高木佐加枝	堂東佐加枝	岩下吉衛	小山敏郎	北川若松	神戶伊三郎
小學校算術科の指導細案	高1算術の勉強	高2算術の勉強	受驗準備書 最近入試算術科基礎 問題準題 勉強の仕方	生活算術新教育の實踐體系	尋五六算術教育の 新系統 導の實際	細目式算術科指導書	細目式算術科指導書	細目式算術科指導書	新時 代の珠算教育	尋一より 尋ばせる 新時代の珠算教育	實踐理科教育	幼學年理科教育實際
並菊	並菊	並菊	洋菊	洋菊	洋菊	洋菊	洋菊	洋菊	洋菊	洋菊	洋菊	洋菊
製判	製判	製判	洋判	布判	布判	式判	式判	式判	布判	布判	布判	布判
330	274	290	144	604	408	368	379	408	408	410	324	410
一、〇〇〇	七〇〇	七〇〇	四〇〇	三、八〇〇	二、八〇〇	二、八〇〇	二、八〇〇	二、八〇〇	三、六〇〇	二、〇〇〇	二、八〇〇	三、四〇〇
教育書房	北海出版社	北海出版社	現代教育社	同文社	目黒書店	目黒書店	目黒書店	目黒書店	賢文館	新生閣	賢文館	日黒書店
月十	月十	月二十	月九	月二十	月六	月四	月四	月四	月四	月十	月四	月四
▲尋一より尋六迄の算術教科書を縮刷版とし 詳細な解説を施したものを。 ▲高一小算術書の解説、全国各師範學校入 學試験問題外練習問題多敷、全国各師範學校入 ▲高二算術書の解説、上級校入試参考書、全 國師範學校試験問題、模範試験多敷提出。 ▲全国中等學校の最近に於ける入試問題に準 據して算術の基礎問題を收め勉強法を説く。 ▲生活算術教育の實踐體系を述べた書で、算 術新教育對象論、生活算術實踐要目外五章。 ▲尋五六算術教育に於ける新系統と指導 法を述べた書で、現代の日本と算術教育其他 ▲算術の指導案を細目式に解説したもので、 上巻は尋常一年より三年までを説く。 ▲下巻は、尋常四年より六年までの指導方針 を説いたもの。 ▲前篇にて珠算の加法及減法、乗法、除法等 の算法を述べ、後篇にて珠算教授法を解説す ▲尋一より尋ばせる珠算教育の理論と實際に 就て述べた書で、時代と珠算教授外十三章。 ▲著者の體驗に照らして指導原理の實際問題 を取扱った書で、理科教育の歴史の概観其他 ▲養に刊行した「母の指導する子供の理科」 を増補改訂した書で、春の自然研究外四講。												

教育(理科教育)

桑原理助	理科教育學會編著	理科教育學會編著	理科教育學會編著	藤岡正信	藤岡正信	藤岡正信	藤岡正信	東京青山師範學校 教育研究會編	大地書院編	大地書院編	大地書院編	村松七郎	山福羽井田 儀玉光 儀兵夫治
理科實驗觀察の新建設	理科教材の側面的研究	理科教材の側面的研究	理科教材の側面的研究	理科教材の精説とその指導	理科教材の精説とその指導	理科教材の精説とその指導	理科教材の精説とその指導	小學校理科の指導細案	小學校生物實驗教材	小學校生物實驗教材	小學校生物實驗教材	博覧會の 實地指導 習	合綜理科教育講座第一回
洋菊	洋菊	洋菊	洋菊	洋菊	洋菊	洋菊	洋菊	洋菊	洋菊	洋菊	洋菊	洋菊	洋菊
革入判	裝入判	裝入判	裝入判	布入判	布入判	布入判	布入判	製判	式判	式判	式判	式判	布入判
623	400	456	400	515	532	430	400	200	64	56	38	354	352
四、五〇〇	二、八〇〇	三、三〇〇	二、八〇〇	二、八〇〇	二、八〇〇	二、八〇〇	二、八〇〇	六、八〇〇	二、〇〇〇	一、五〇〇	一、〇〇〇	一、八〇〇	二、〇〇〇
明治圖書	有文書院	有文書院	有文書院	啓文社	啓文社	啓文社	啓文社	教育書房	大地書院	大地書院	大地書院	日本圖書	地人書館
月三	月五	月七	月七	月三	月三	月三	月三	月十	月二	月二	月二	月十	月十
▲小學兒童の理科教育に關し、各課を精説し た書で、實驗觀察指導の再吟味外一章。 ▲尋四理科教育に於て純科學的、趣味的其他 何れも各教材に就て二局部を深く研究す。 ▲尋五理科教材に於て從來見逃され或は不十 分なりし部分及び一局部のみを深く研究す。 ▲尋六理科の各教材の各方向を一局部に就き 研究せる書で、海藻の話外四十二篇。 ▲尋常科四學年に於ける理科教材を精説し、 その指導案を述べたもの。 ▲理科教材を精説し、その實際指導案を叙述 せるもの、尋常科五學年用。 ▲尋常科六學年の理科教材を研究し、教材に 即し郷土的取扱を織込み作業を加味せる書。 ▲尋四より尋六までの教科書を縮刷版とし詳 細なる解説を施したものを。 ▲尋常四年の理科の生物を實驗觀察本位に圖 版を多敷挿入し、個々に解説を施す。 ▲尋常五年の理科の生物を實驗觀察本位に圖 版を多敷挿入し、個々に解説を施す。 ▲尋常六年の理科中特に生物を實驗觀察本位 に圖版を挿入し、個々に付解説を施す。 ▲學習園の指導に就て述べたもので、總論、 各論(學習園内の類別外六章)。 ▲小學校の理科、中等學校の理科の諸科目を 綜合統一して學術的解説と教授法を指導す。													











教育(體育・體育ダンス・學校遊戯)

川口英明	安田弘嗣	中島海	水間一人	齋藤薰雄	八尾秀雄	森秀	齊藤薰雄	升元一人	升元一人	升元一人	齊藤薰雄	平岩勇一
東京女子高等師範學校教授	東京高等師範學校教授	東京高等師範學校教授	東京高等師範學校教授	東京高等師範學校教授	東京高等師範學校教授	東京高等師範學校教授	東京高等師範學校教授	東京高等師範學校教授	東京高等師範學校教授	東京高等師範學校教授	東京高等師範學校教授	東京高等師範學校教授
運動會の體操遊戯	學校競技の指導精神	小學校の遊戯	體操教授指針	運動會資料精選	學童相撲指導法	活用體操教材の解説	細目式體操科指導書	的系統教育舞蹈指導書	的系統教育舞蹈指導書	的系統教育舞蹈指導書	新體育ダンス教本	遊戯競技マシム新しい繩とび百種
洋函六 布入判	洋函六 布入判	洋函六 布入判	洋函六 布入判	布函六 裝入判	布函六 裝入判	布函六 裝入判	布函六 裝入判	上函四 裝入判	上函四 裝入判	上函四 裝入判	並函四 裝入判	上函四 裝入判
352	424	321	88	360	250	244	205	159	155	174	200	164
三、二〇〇	二、八〇〇	三、八〇〇	一、〇〇〇	二、三〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇	一、六〇〇	二、五〇〇	二、五〇〇	二、五〇〇	三、〇〇〇	一、五〇〇
目黒書店	目黒書店	目黒書店	北海出版社	教育書房	教育書房	目黒書店	目黒書店	北海出版社	北海出版社	北海出版社	新生閣	啓文社
月二十	月二十	月八	月一十	月九	月一十	月五	月四	月七	月九	月九	月九	月九
▲尋常一年より高等科までの體操遊戯の指導法を解説せるもの。	▲學校競技の指導の精神を記述した書で、温故知新、競技精神の發達、學校競技外七章。温び記述せる書で、遊戯の指導法に就て外一篇。	▲小學校兒童の遊戯として相應しいものを選び記述せる書で、遊戯の指導法に就て外一篇。	▲一般體育の郷土化に就ての具體的論述書で國民體育に對する體操科の使命、外十三項。直ちに活用出来る資料二百四十種目を精選せるもの。	▲著者の體験を基礎に研究して危険のない理論の實際指導書。	▲體操教材及び其の運用方法の研究で、現代の體育思潮、指導者の態度外六章。	▲尋常一年より六年までの體操指導方針を細目式に記述した書。	▲舞踊原理篇一、舞踊の教育的意義及び本質四節外三章十節。	▲中學年教材解説と取扱法を記述。	▲舞踊の基本訓練法一四編九章、高等學年教材解説と取扱法。	▲第六輯は寫眞指導篇(チヌリッップ外廿一篇)曲譜篇(銃後の花外廿八篇)外二篇。	▲體育としての繩とびの方法百種を記述したもので、繩跳の體育的價値、繩跳の實際其他	▲學校兒童、生徒、一般女性に妥當な體育を説述した書で、我が初等教育界の現状外六章

教育(體育・體育ダンス・學校遊戯・學校劇・學藝會)

小瀬峰洋	野村政夫	野村政夫	手塚岸衛	山室正山	安室泰山	福家弘	三浦藤作	村上寛	三浦成作	三浦成作	佐野信木	野田秀一	信田秀一
自由ヶ丘學團長													
學校體育と女性體育	學校劇の創作法と演出法	新作舞踊と兒童劇	實演學校劇	兒童唱歌劇	兒童唱歌劇	兒童唱歌劇	兒童唱歌劇	兒童唱歌劇	兒童唱歌劇	兒童唱歌劇	學校劇傑作集	學校劇傑作集	學校劇傑作集
洋函四 布入判	洋函四 布入判	洋函四 布入判	洋函四 布入判	洋函四 布入判	洋函四 布入判	洋函四 布入判	洋函四 布入判	洋函四 布入判	上函四 裝入判	上函四 裝入判	上函四 裝入判	上函四 裝入判	上函四 裝入判
142	374	201	182	258	258	517	236	544	240	229	204	54	54
八〇	一、八〇〇	一、二〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	三、〇〇〇	一、〇〇〇	二、五〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
文書堂	吉田書店	吉田書店	南光社	大明堂	株式會社	株式會社	文化書房	文化書房	厚生閣	厚生閣	盛林堂	盛林堂	盛林堂
月四	月五	月六	月二	月九	月九	月二	月二	月九	月一	月一	月二十	月二十	月二十
▲學校兒童、生徒、一般女性に妥當な體育を説述した書で、我が初等教育界の現状外六章	▲學校劇の創作法と演出法に關して述べたもので、學校劇總論、學校劇構成論外十八章。内で直ちに實演出來る様注意指導を附す。	▲學校劇に關する言語の訓練、指導其他を述べ、一かくれんぼ」外十二篇の脚本を収録。	▲學童唱歌劇の理論を述べ、更に新作した尋常一年高二年までの學童唱歌劇の演出法を述べた書で、學習劇をするまで外七篇。	▲鬼瓦と地藏さん、花まつり、雲雀が丘、ケブル・カ1外六篇の兒童劇脚本集。	▲幼兒後期から兒童前期にかけての子供に語り聞かせる童話を収録したもの。	▲尋一の新讀本を戯曲化せるもので、サクラガサイタ、安宅の關其他より成る兒童劇。	▲新讀本を臺本として戯曲化せる尋常二年の兒童劇集で、牛若丸、コブモラヒ外十二篇。	▲優秀なる劇三十六篇を各學年別に配列し各篇に振付歌曲舞臺面等を附して指導す。	▲秀吉・義經・乃木・曾我、東郷等兒童の崇拜して居る英雄の幼時を巧みに劇化したもの				





教育(學校・受験)

中等教育社編	各種試験年鑑	並編 半載	124	特 三五〇	東華堂	二月二十	▲検定試験規定全集、官費採用試験規則、官費學校入學試験の三部より成る試験年鑑。官費の目的に對する五十箇條のヒントを與へたもので、職業志望に關する選定の秘訣五十箇條を述べた書で、専門的であれ、教育家外四十八條の職業志望に對して、學科試験とその對策、人物考査とその對策外二篇にて受験對策を説く。
正木 昊	受驗必勝秘訣五十箇條	上四六 製入判	140	六〇	三成社	二月二	▲職業志望に關する選定の秘訣五十箇條を述べた書で、専門的であれ、教育家外四十八條の職業志望に對して、學科試験とその對策、人物考査とその對策外二篇にて受験對策を説く。
正木 昊	志望選定秘訣五十箇條	上四六 製入判	93	六〇	三成社	二月二	▲職業志望に關する選定の秘訣五十箇條を述べた書で、専門的であれ、教育家外四十八條の職業志望に對して、學科試験とその對策、人物考査とその對策外二篇にて受験對策を説く。
赤尾 好夫	入試突破の對策を語る	並編 四六	202	八〇	歐文社	一月一	▲受験勉強に就て、學科試験とその對策、人物考査とその對策外二篇にて受験對策を説く。
松田 友吉	最新文檢修身科受驗法	洋四六 製入判	744	一三〇	大同館	五月	▲文檢修身科、指導法を述べたもので、研究法並に受驗の要諦、修身参考書の研究外二章論外八篇にて現今の教育學を解説す。
松田 友吉	文檢國語科受驗法	洋四六 製入判	527	二二〇	大同館	五月	▲文檢國語科に於ける作文の對策を説述したもので、文檢と作文、文章觀、擬答案の三篇の試験に關する談、讀書法其他を述べた。
川島 益太郎	文檢國語科作文要訣	上四六 製入判	232	八〇	大同館	三月	▲文の構成、解剖の研究、解剖實習篇の三篇よりなる文檢受驗參考書。
奥村 芳夫	文檢蠶業科受驗要訣	洋四六 製入判	395	二二〇	大同館	三月	▲文檢蠶業科の指導書で、總論、英語書解學概論、最近十年試験問題研究外一篇にて説く。
三澤 諄次郎	文の構成とその解剖	布四六 製入判	391	二〇〇	大同館	三月	▲文檢修身科教育科委員の中心思想の解明で吉田熊次博士の教育思想研究外八篇。
高須 豊	文檢英語科徹底的研究	布四六 製入判	506	一四〇	大同館	五月	▲文檢修身科受驗の指導書で、緒論、試験委員、修身科の準備法、答案作成の研究外四章の範圍程度、受驗準備法等を説述せる書。
富田 義雄	文檢修身科委員の思想研究	洋四六 製入判	400	一四〇	大同館	五月	▲文檢修身科受驗の指導書で、緒論、試験委員、修身科の準備法、答案作成の研究外四章の範圍程度、受驗準備法等を説述せる書。
藤谷 保	文檢修身科受驗準備の指導	洋四六 製入判	336	一三〇	啓文社	二月一	▲文檢修身科受驗の指導書で、緒論、試験委員、修身科の準備法、答案作成の研究外四章の範圍程度、受驗準備法等を説述せる書。

教育(學校・受験)

藤原 信	文檢教育科受驗新指導	洋四六 製入判	286	一八〇	啓文社	二月二	▲文檢教育科受驗者の指導書で、準備篇、研究法論(一ヶ年準備合格法)其他にて説述。
目黒 禧一	新文檢歴史科受驗新指導	洋四六 製入判	527	二四〇	啓文社	二月一	▲獨學に依つて中等教員歴史科檢定試験を受験する人の爲の指導書。
齋田 コト	小學校裁縫科受驗準備講義	上四六 製入判	407	一八〇	啓文社	二月二	▲小學校裁縫科専科正教員受驗者の指導書で、實際の實際、裁縫科教材並に指導法外一編。
神谷 ゆきへ	裁縫科受驗準備の指導	洋四六 製入判	438	二二〇	啓文社	六月	▲文檢裁縫科受驗者の爲め準備法並に受驗の實際を示し、基礎的事項に解説をなす。
岩部 捷	教育勸導法成申書 解説	洋四六 製入判	460	二二〇	啓文社	十月	▲文檢國民道徳要領受驗者の爲め教育勸導法其他の諸書を解明し受驗準備、既出問題を説述を分類檢討し重要問題に解説を施す。
飯田 淺治	農業各科重用問題研究	洋四六 製入判	652	二四〇	地人書館	九月	▲文檢農業科第一回より現在までの各科問題を分類檢討し重要問題に解説を施す。
水口 廣編	音楽檢定受驗必成	洋四六 製入判	398	一四〇	共益商社	八月	▲音楽檢定受驗者の指針書で、理論篇、受驗講話篇、教育篇、試験問題篇の四篇及附録。
山上 徳信編著	文檢歴史科獨學受驗法	洋四六 製入判	423	一八〇	大明堂	十月	▲文檢歴史科の本質を究明しつゝ、其の研究法と準備法に就て詳述せる参考書。
石川 木魚編著	文檢習字科獨學受驗法	上四六 製入判	396	一八〇	大明堂	十一月	▲文檢習字科の受驗豫備知識、準備指導、實際受驗研究法等を説き試験規定及問題を附す。
坂本 六合編	文檢公民科獨學受驗法	上四六 製入判	437	一八〇	大明堂	五月	▲文檢公民科の特質を究明し、基礎準備の確立指導及び實際受驗合格就職の對策を説く。
塚本 勝義編	文檢漢文科獨學受驗法	上四六 製入判	384	一八〇	大明堂	十一月	▲中等教員漢文科獨學受驗準備法を述べたもので、文檢漢文科受驗法總論外六篇。
大和 喜榮編	文檢手工科獨學受驗法	上四六 製入判	349	一八〇	大明堂	十一月	▲主として文檢作業科と手工科の受驗者を對象として獨學受驗法を述べた。
大明堂編輯部編	小學校専科正教員全科受驗法	上四六 製入判	362	一八〇	大明堂	八月	▲小學校専科正教員的全學科に互り準備法、受驗法其他を解説せる指導書。「新訂改訂版」

教育(學校・受験)

大明堂編輯部編	大明堂編輯部編	大明堂編輯部編	大同堂編輯部編	岡田 怡川	岡田 怡川	野間 端夫	平岡 照章	文信社編輯部編	文信社編輯部編	佐藤 隆 德編	阪本英雄 編著	巖松堂編輯部編	文祥堂編輯部編
小學教員各府縣別最近問題全集	高等試驗 獨學 受驗法	小學校教員 獨學 受驗法	小學校教員 獨學 受驗法	小學校教員 獨學 受驗法	小學校教員 獨學 受驗法	小學校教員 獨學 受驗法	小學校教員 獨學 受驗法	小學校教員 獨學 受驗法	小學校教員 獨學 受驗法	小學校教員 獨學 受驗法	小學校教員 獨學 受驗法	小學校教員 獨學 受驗法	小學校教員 獨學 受驗法
四六	四六	四六	四六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六
358	359	432	432	169	252	331	354	1084	495	319	326	308	304
一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
大明堂	大明堂	大明堂	大明堂	莊人社	莊人社	三友社	三友社	文信社	文信社	南光社	出版大學	巖松堂	岡田文祥堂
八月	四月	五月	五月	四月	五月	十月	九月	九月	九月	二月	三月	九月	五月
▲全國各府縣に於て最近施行された試験問題を各府縣毎に分類し出題傾向其他を示す。	▲高等試験本試験の獨學受驗法に於ける行政科、外文科の部で、高等試験受驗法其他。	▲小學教員檢定試験總説、小學教員檢定受驗準備指導其他より成る獨學受驗法。	▲小檢、專檢、高檢、實檢、普文等の受驗者の爲め公民科全般の知識を収録し表解す。	▲小檢、專檢、高檢、實檢、普文等の受驗者の爲め試験問題を分類し説述す。	▲小檢に於ける教育史と論理學に就て各府縣に出た問題出さうな問題を答案式に記述す。	▲小學校教員檢定音樂科受驗に就ての注意、受驗準備勉強法及び各種の試験問題を解説す。	▲大正元年より昭和六年までの法律、經濟、商業、哲學、社會學、文學に關する問題集。	▲大正十三年より昭和九年までの東大、京大法學部、經濟學部の學年試験問題を收む。	▲小學校教員檢定の教育に關する受驗參考書で、教育學、各科教授法、學校管理法其他、の合理化を述べたもの、附録受驗感想。	▲明治三十五年より最近年度に至るまでの各種の高等試験問題を輯集し分類す。	▲大阪府兵庫縣京都府和歌山縣全校掲載、入學案内口頭試験問題附。		

教育(學校・受験)

四國初等教育	慶文堂編輯部編	慶文堂編輯部編	野島忠太郎監修	中等教育研究會編	青年教育普及會編	青年教育普及會編	青年教育普及會編	歐文社通信添削會	歐文社通信添削會	歐文社通信添削會	女子中等教育	女子中等教育	女子中等教育
四國中等學校標準模範練習	高等諸學校入學試験模範答案集	高等諸學校入學試験模範答案集	小學校教員檢定問題集	入學試験問題集	入學試験問題集	入學試験問題集	入學試験問題集	入學試験問題集	入學試験問題集	入學試験問題集	女子專門學校入學試験問題集	女子專門學校入學試験問題集	女子專門學校入學試験問題集
四六	四六	四六	四六	四六	四六	四六	四六	四六	四六	四六	四六	四六	
240	619	150	413	185	714	603	517	217	287	189	360	328	
一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	
四國教育圖書株式會社	慶文堂	慶文堂	慶文堂	慶文堂	慶文堂	慶文堂	慶文堂	慶文堂	慶文堂	慶文堂	慶文堂	慶文堂	
二月二十	四月	六月	三月	二月二十	二月二十	二月二十	二月二十	四月	六月	七月	九月	十月	
▲四國四縣の各中等學校の入學問題を網羅しそれに標準解答書を添付せる書。	▲昭和九年度の高校、大學豫科、專門學校等の入學問題を蒐め英數國漢其他に分けて解答す。	▲續編は正編に収録の英數、國漢、理化及び地歴、圖畫、商業、簿記の問題に解答す。	▲小學校檢定試験受驗準備と各科共六回分の試験問題を掲載し檢定關係法を附す。	▲昭和五、六、七、八、九年度に於ける八高、岐阜高農、富山藥專外三校の入學問題を解答す。	▲文部省直轄學校の昭和七、八、九年度の英語問題並に講評を載録す。	▲昭和七八九年度文部省直接學校の國語、漢文、作文の入學問題並に講評を三冊に收む。	▲文部省直轄學校の昭和七、八、九年度の數學に關する入學問題並に講評を収録す。	▲陸軍士官學校の内容、出題規則、卒業生の進路、出題傾向及び過去の入學問題を解答す。	▲東京高師の内容、出題規則、卒業生の進路、生活、出題傾向等の展望。	▲第一高等學校の内容、出題規則、出題傾向等を展望し昭和二年以後の問題を解答す。	▲昭和五年より九年までに於ける女子專門學校の入學英語問題に指針、語句、譯文を施す。	▲最近五ヶ年間の女子專門學校に於ける入學問題中の國語に解釋及び解法指針を施す。	







(9-50)

教育(學校・受験)

日昭館編輯部	日昭館編輯部	日昭館編輯部	日昭館編輯部
新調東京學校案 女子用	新調東京學校案 男子用	新調東京學校案 男子用	最新就職受験教典
並四六製判	並四六製判	並四六製判	洋函四六布入判
250	400	600	598
六	八	一〇	三〇
日昭館	日昭館	日昭館	大望書院
月二	月二	月二	月七
▲東京市内有名學校二百校の所在地修業年限 其他を收む。	▲東京市内有名學校三百校の所在地修業年限 其他を收む。	▲東京市内有名學校五百校の所在地修業年限 其他を收む。	▲鐵道新規採用試験に出る科目に對して解説 し志願者心得等を述べたもの。

三二八

中島半次郎著(東京堂版)

### 教育思潮大觀

定價 二・二〇 送料一四

## 四、文學

### (A)文學一般・外國文學研究

#### 文學總論・文藝評論

著者	書名	裝形 釘體	數頁	送定 料價	發行所	月行發	內容大意
竹友藻風	文學總論	並函菊	製入判	二、五〇	梓書房	月一	▲主として古代文學の宗教的春景を取扱つた書で、宗教外三章。 ▲“Appreciation of Literature”の譯で、根本原理、抒情詩、物語詩、劇詩假作文學外二章
ウツドベリイ著 徹譯	文學概論	洋函菊	布入判	二、三〇	東學社	月七	▲悲劇の誕生——その體験及び論理、世界思潮の意味、比較文學序説外五篇にて説述す。
阿部次郎	世界文化と日本文化	洋函菊	布入判	三、三〇	岩波書店	月四	▲文學評論集で、小説の藝術、小説の詩學、詩と小説、ロマン論、批評の原則外十九篇。
春山行夫	文學評論	上函菊	製入判	二、六〇	厚生閣	月七	▲文學と純粹、リアリズムの問題、文學の健全性、ジョイスと短篇小説外十四篇。
阿部知二	文學の考察	上函菊	製入判	二、〇〇	紀伊國屋出版部	月七	▲ラノボオ論、年末感想、作家志願者への助言、文藝時評、手帖外八篇より成る。
小林秀雄	續々文藝評論	上函菊	製入判	二、三〇	芝書店	月四	

文學(文學總論・文藝評論)

三二九

三木清	谷川徹三	正宗白鳥	小林秀雄	杉山平助	雅川澁	林房雄	林房雄	德永直	矢崎彈	河上徹太郎	中島健藏	大木析夫
文學復興論	文學復興論	我最近の文學評論	文學復興論	文學復興論	文學復興論	文學復興論	文學復興論	文學復興論	文學復興論	文學復興論	文學復興論	文學復興論
上四六製判	上四六製判	上四六製判	上四六製判	上四六製判	上四六製判	上四六製判	上四六製判	上四六製判	上四六製判	上四六製判	上四六製判	上四六製判
288	299	301	301	325	271	406	425	301	479	276	237	38
一、八〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇
改造社	改造社	改造社	改造社	改造社	東學社	ナウカ社	ナウカ社	ナウカ社	紀伊國屋	芝書店	作品社	二里木書店
月七	月六	月六	月五	月六	月七	月二	月九	月四	月一十	月一十	月九	月二
▲文學に於ける世代の問題、ネオヒューマニズムの問題と文學、詩歌の考察外六篇。	▲事實・眞實・眞理、リアリズムと構成の問題、個性の文學と類型の文學外十四篇。	▲横光利一論、久保田万太郎論、大衆文學論、西洋の文豪と女性、明治劇壇總評外十二篇。	▲様々なる意匠、志賀直哉、物質への情熱、横光利一、マルクスの悟達其他より成る。	▲商品としての文學、批評の敗北、統一主義論の文學的適用、文學時評、文壇從軍記其他手紙外十五篇の評論隨筆作品集。	▲我々の問題、森鷗外小論、井伏鱒二氏への手紙外十五篇の評論隨筆作品集。	▲文學のために、出てきたばかりの挨拶、文學のない文壇外卅一篇の評論集。	▲酒中文學放談、文學時評、六號放談、睡仙山房記、政治か文學外六篇の評論集。	▲新らしき出發、ゴリキに關する断片、坐つて話す、創作方法の新轉換其他の評論集。	▲日本の思考の弱點を衝き、觀念の是正、新作家の環境を説き、其の制作精神を擁護す。	▲詩と現代生活について、思想の實現について、個性と流派其他の文學評論集。	▲ヴァレリイ會見記開書、ゴアドレエル、歴史の横顔、半作家の運命外十篇の文學評論集。	▲藝術の構造、藝術と感情、諸領域の獨立と範疇の體系の三章にて論述す。

大和資雄	成瀬無極	成瀬無極	宇野浩二	早稲田大學	宮島新三郎	モウルトン	本田顯彰	J.A.シモンズ	田部重治	丸山和馬	トリストイ	河野與一	中島健藏	佐藤彰	安德レ・ベルジュ	水田進哲	トムリンソン	朱牟田夏雄
教育的文學理論	評論集人間凝視	文學思想研究	文學思想研究	現代文藝思潮	世界及一般文化におけるその位置	詩	藝術とはどういふものか	ポアドレエル藝術論集	近代文學の精神	文學論パンフレット(19)	文學論パンフレット(19)	文學論パンフレット(19)	文學論パンフレット(19)	文學論パンフレット(19)	文學論パンフレット(19)	文學論パンフレット(19)	文學論パンフレット(19)	文學論パンフレット(19)
上四六製判	上四六製判	上四六製判	上四六製判	上四六製判	上四六製判	上四六製判	上四六製判	上四六製判	上四六製判	上四六製判	上四六製判	上四六製判	上四六製判	上四六製判	上四六製判	上四六製判	上四六製判	上四六製判
411	429	428	326	289	358	515	223	142	263	257	190	57						
二、八〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇	二、〇〇〇	二、五〇〇	一、八〇〇	二、〇〇〇	一、三〇〇	一、八〇〇	二、三〇〇	二、三〇〇	一、八〇〇	二、三〇〇	二、三〇〇	二、三〇〇	二、三〇〇	二、三〇〇	二、三〇〇	二、三〇〇
啓文社	政經書院	第一書房	白水社	平凡社	東京出版社	岩波書店	第一書房	岩波書店	岩波書店	岩波書店	芝書店	春秋書房	研究社	研究社	研究社	研究社	研究社	研究社
月四	月六	月一	月七	月五	月六	月一十	月一	月八	月三	月十	月二	月二	月二	月二	月二	月二	月二	月二
▲文學作品批判の規準となるやう古今東西に通ずる文學表現の方法と取材態度を考究す。	▲人間凝視と人間描寫、藝術の分類に就いてホツカチオと獨逸文學外十七篇の評論集。	▲文學鑑賞の講話「母性思潮十話」を収む。母性愛思潮の講話「母性思潮十話」を収む。	▲作家の道、作家の印象、畫家の道、ロシア文學断片、作品評、隨筆評論等卅三篇収録す。	▲正岡子規の小説(鳥田青峰)「ゴリ」とドストイエフスキイ(岡澤秀虎)「外八篇」。	▲現代文藝思潮の諸傾向、現代文藝批評の諸傾向、ジョージ・バーナード・ショー研究。	▲世界文學に就けるの叙述で、序論、世界文學の概観、教育に於ける世界文學の地位の三篇。	▲「文藝復興」並に「ダンテとプラトンの愛の理想」の二篇よりなる。	▲Nicolas Boileau Despreauxの著Art poétiqueを平易に意味を傳ふる爲め散文にて譯する論文「藝術とは何か」の翻譯。	▲テオフィル・ゴオチエ、青年文學者への忠告、笑の本質外四篇の評論集。	▲近代文學の精神を能動的に批評せるもので外部現實追及の文學、作家と作品外五章。	▲英國の隨筆家評論家兼小説家トムリンソンの講演「Between the Lines」の譯。							

(9-4)

グ ア イ ン ズ 著	三 留 久 雄 著	上 巴 田 勤 著	植 田 虎 雄 著	堀 ノ 大 司 著	鍋 島 能 弘 著	梅 原 義 一 著	田 上 元 徳 著	原 一 郎 著	上 田 進 編	ト リ フ オ ノ 著	キ ユ ニ ツ 著	木 村 利 美 著	外 村 三 造 著	田 村 三 造 著
文學論パンフレット(20)	文學論パンフレット(21)	文學論パンフレット(22)	文學論パンフレット(23)	文學論パンフレット(24)	文學論パンフレット(25)	文學論パンフレット(26)	文學論パンフレット(27)	文學論パンフレット(28)	現代ソヴェト文學概論	文學と社會	文學は如何なる道に進むべきか	無からの創造		
並四六	並四六	並四六	並四六	並四六	並四六	並四六	並四六	並四六	並四六	並四六	並四六	並四六	並四六	並四六
216	314	314	337	328	86	66	72	94	81	61	51	79		
一、五〇	一、八〇	一、三〇	一、四〇	一、五〇	一、六〇	一、七〇	一、八〇	一、九〇	二、〇〇	二、一〇	二、二〇	二、三〇	二、四〇	二、五〇
三笠書房	橋書店	白揚社	ナウカ社	岩波書店	研究社	研究社	研究社	研究社	研究社	研究社	研究社	研究社	研究社	研究社
月七	月一十	月六	月四	月五	月十	月十	月十	月七	月七	月七	月二	月二		
▲「無根の神化」と「端初と終末」からマ イが選譯せし全譯し、シエスタ論外一篇	▲原名「ロシア文學と猶太人」の譯譯でロシア 史の黎明から十九世紀の六十年代まで外三章 ▲ソヴェト文學について(ゴリキイ)ソ ヴェトの劇文學(キルボチン)其他。	▲「大ロシア文學」十月革命以前の文學外四章) ソヴェト諸民族の文學の二篇より成る。	▲藝術に關するマルクス、エンゲルスの述作 中重要なものにルカツチの解説を附す。	▲古典的、浪漫的と云ふ言葉を歴史的に闡明 したグリアソンの「古典的と浪漫的」の譯。	▲イギリスの詩人メイスフィールドの詩學た るWilliam Heinemannを譯す。	▲シドニー・リーの「シエイクスピアとイタリ ア文藝復興」の譯。	▲古典的、浪漫的と云ふ言葉を歴史的に闡明 したグリアソンの「古典的と浪漫的」の譯。	▲「藝術に關するマルクス、エンゲルスの述作 中重要なものにルカツチの解説を附す。	▲大ロシア文學(十月革命以前の文學外四章) ソヴェト諸民族の文學の二篇より成る。	▲原名「ロシア文學と猶太人」の譯譯でロシア 史の黎明から十九世紀の六十年代まで外三章 ▲ソヴェト文學について(ゴリキイ)ソ ヴェトの劇文學(キルボチン)其他。	▲「無根の神化」と「端初と終末」からマ イが選譯せし全譯し、シエスタ論外一篇			

(9-5)

外國文學史・研究・評傳

石 川 涌 著	エ ミ ル フ ア 著	五 島 茂 著	大 阪 商 科 大 學 助 教 授 廣 津 和 郎 著	谷 崎 潤 一 郎 著	文 章 讀 本	小 説 作 法 講 義	學 術 論 文 の 書 き 方	讀 書 術
文學各論	文學各論	文學各論	文學各論	文學各論	文學各論	文學各論	文學各論	文學各論
上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六
231	215	226	290	290	290	290	290	290
一、三〇	一、八〇	一、五〇	一、五〇	一、五〇	一、五〇	一、五〇	一、五〇	一、五〇
松柏館	甲文堂	萬昇堂	中央公論社	中央公論社	中央公論社	中央公論社	中央公論社	中央公論社
月二十	月二十	月五	月一十	月一十	月一十	月一十	月一十	月一十
▲「讀書に就ての技術」を述べた書で、ゆつくり 讀むこと、論文、小説、難解な作家外七章。	▲「讀書に就ての技術」を述べた書で、ゆつくり 讀むこと、論文、小説、難解な作家外七章。	▲「讀書に就ての技術」を述べた書で、ゆつくり 讀むこと、論文、小説、難解な作家外七章。	▲「讀書に就ての技術」を述べた書で、ゆつくり 讀むこと、論文、小説、難解な作家外七章。	▲「讀書に就ての技術」を述べた書で、ゆつくり 讀むこと、論文、小説、難解な作家外七章。	▲「讀書に就ての技術」を述べた書で、ゆつくり 讀むこと、論文、小説、難解な作家外七章。	▲「讀書に就ての技術」を述べた書で、ゆつくり 讀むこと、論文、小説、難解な作家外七章。	▲「讀書に就ての技術」を述べた書で、ゆつくり 讀むこと、論文、小説、難解な作家外七章。	▲「讀書に就ての技術」を述べた書で、ゆつくり 讀むこと、論文、小説、難解な作家外七章。

文學(外國文學史・研究・評傳)

早稲田大學教授 本間久雄	西脇順三郎	十一谷義三郎	早稲田大學 英文學會編	寺井邦男	佐久間原	後藤末雄	豐島與志雄	大井俊夫	雪山俊夫	日本文學協會 東京帝國大學編	山岸光宣	新關良三	早稲田大學 露西亞文學會編									
近世英國唯美主義の研究	現代英吉利文學	英文學の知識	早稲田英文學	英國小説研究	アメリカ小説研究	佛蘭西精神史の一側面	佛蘭西文學の知識	佛蘭西文學の知識	ニールン基礎の研究	獨逸文學の研究	獨逸文學の知識	現代獨逸文學の展望	露西亞文學研究									
上四六倍判	洋編	洋編	洋編	洋編	洋編	洋編	洋編	洋編	洋編	洋編	洋編	洋編	洋編									
469	347	265	204	333	470	370	290	601	318	258	251	296										
七、五〇	二、〇〇	六〇	一、五〇	二、八〇	二、〇〇	二、三〇	六、〇〇	二、三〇	二、五〇	六〇	二、〇〇	一、〇〇										
東京堂	第一書房	非凡閣	早稲田大學 文學部事務所	健文社	研究社	第一書房	非凡閣	大岡山書店	建設社	非凡閣	第一書房	排進社										
月五	月七	月七	月二十	月十	月一	月三	月五	月三	月五	月五	月二	月一										
▲唯美主義の全面的研究書で、唯美派の起源唯美派の経路及要素、唯美派の模相外四章。の主に戦後文學を中心に叙述す。	▲ラファエル前派あたりより一九三三年頃までの古代文學、チヨイサー以前の文學、チヨイサーについて、シエイクスピア時代外十一章。叫び(長谷川誠也)外十二篇。	▲英國小説の傳統を辿る、The New Battle of the Bunkersの三篇にて英國の小説を研究す	▲アメリカ文學の成長を邊境精神の立場から小説の上に試みたもので、現代の小説外三篇の科學化とソラの自然主義外四篇。	▲中世紀、第十六世紀、第十七世紀、第十八世紀、第十九世紀外一篇にて説述す。	▲「ニールン」の歌の基礎に就ての文學的、綜合的、批判的考察の集成。	▲世界戦争以後の獨逸文學を眺めて(上村清延)最近の獨逸文學境より(星野慎一)其他。	▲獨逸文學の特色、中世紀の文學、近代文學の曙光、啓蒙主義の文學外七篇にて述ぶ。	▲獨逸文學思潮の推移、世界大戦の悲劇外四篇にて現代獨逸の文學を展望す。	▲ソグエート文學批評史研究(岡澤秀虎)戯曲「第一騎兵隊」(國枝重雄)外十篇	▲古代及び中世文學、近世文學、近代文學、露西亞近世文學の四篇。	▲ダンテからゴッリキイまでの歐洲文學を歴史的に展望せるもの。	▲トマス・ヘアアテイの長篇小説に就て研究せるもので、「戀人歸る」研究外九篇。	▲ラスキンに關する隨筆的なるもので、チャン・ス・ロイマン、最後の戀、若き僧外八篇。	▲ハツクスレが編輯したロレンスの手紙を一部分選んで譯出したもので小傳を附す。	▲シヤルル・ボオドレエルの研究で、人と態度、思想、傳記的研究其他。	▲ルソールよりバルザックへ、バルザックの世界的二篇及び附録「比較文學」外一篇。	▲その一生(三木治)女友達(森本文雄)テ1メのバルザック論(丸山和馬)其他。	▲バルザックの作品を分析したもので、バルザックの作品における社會批判外二篇。	▲獨逸人クルチウスがバルザックをフランス的評論とは趣を異にして思索研究す。	▲猶太人ブルウスト(生島遼一)ブルウストのこと(中島健蔵)序文(淀野隆三)外六篇	▲バルザックとブルウスト(水野亮)ブルウスト傳(生島遼一)外八篇より成る。	▲ブルウスト傳(生島遼一)ブルウストの譯について(井上究一郎)外七篇。

文學(外國文學史・研究・評傳)

昇曙夢	高沖陽造	木下準之助	御木本隆三	織田正信譯	矢野文一夫	長谷川一夫	太宰施門	太宰施門編著	マリイ・ボオル著 石川湧譯	クルチウス著 長谷川一譯	久米文夫編	久米文夫編	久米文夫編
羅シヤ文學の知識	歐洲文學の歴史的發展	トマス・ヘアアテイ研究	ラスキン隨想	D・H・ロレンスの手紙	ボオドレエルの研究	ルソールよりバルザックへ	バルザック總説	バルザック批評	バルザック批評	バルザック研究	ブルウスト研究	ブルウスト研究	ブルウスト研究
洋編	洋編	洋編	洋編	洋編	洋編	洋編	洋編	洋編	洋編	洋編	洋編	洋編	洋編
288	216	414	220	235	330	302	390	136	516	105	104	104	
八〇	一、五〇	二、三〇	二、〇〇	一、八〇	二、八〇	一、〇〇	一、九〇	四〇	三、二〇	六〇	六〇	六〇	
非凡閣	清和書店	東京出版社	岡倉書房	紀伊國屋	叢文閣	政經書院	河出書房	樂浪書院	建設社	作品社	作品社	作品社	
月七	月二十	月一十	月三	月三	月八	月十	月一十	月六	月九	月七	月九	月十	
▲露西亞文學の歴史的發展	▲トマス・ヘアアテイの長篇小説に就て研究せるもので、「戀人歸る」研究外九篇。	▲ラスキンに關する隨筆的なるもので、チャン・ス・ロイマン、最後の戀、若き僧外八篇。	▲ハツクスレが編輯したロレンスの手紙を一部分選んで譯出したもので小傳を附す。	▲シヤルル・ボオドレエルの研究で、人と態度、思想、傳記的研究其他。	▲ルソールよりバルザックへ、バルザックの世界的二篇及び附録「比較文學」外一篇。	▲その一生(三木治)女友達(森本文雄)テ1メのバルザック論(丸山和馬)其他。	▲バルザックの作品を分析したもので、バルザックの作品における社會批判外二篇。	▲獨逸人クルチウスがバルザックをフランス的評論とは趣を異にして思索研究す。	▲猶太人ブルウスト(生島遼一)ブルウストのこと(中島健蔵)序文(淀野隆三)外六篇	▲バルザックとブルウスト(水野亮)ブルウスト傳(生島遼一)外八篇より成る。	▲ブルウスト傳(生島遼一)ブルウストの譯について(井上究一郎)外七篇。		

久米文夫編	ブルウス・ト	研究	並新 菊製判	100	六〇	作品社	月二十	▲バルザックの小説にて(鈴木健郎)花咲ける少女の蔭に(久米文夫・井上究一郎)其他
小宮カ	ジイド	研究	並四 六製判	347	一〇五	三笠書房	月二	▲第一部にジイドの傳記を収め第二部には彼の藝術の最も本質的な諸特徴の研究を収録す
小原久保一	ジイド	禮讚	並菊 製判	250	一〇〇	叢文閣	月六	▲手記(アンドロ・ジョイド)アンドレ・ジョイ
小田秀人	ゲエ	テ	並四 六製判	573	二、五〇	清和書店	月七	▲ゲエテなる存在の精神的意義を述べたシュ
東京帝國大學教授 木村謹治	「若きゲーテ」	研究	洋四 六倍判	960	九、八〇	伊藤書林	月一	▲青年ゲーテの人間の成長の眞實相を取扱つたもので、稟性と時代思潮の背景外七章。
三井光彌	父親としてのゲーテ	研究	並三 六製判	355	一、〇〇	第一書房	月八	▲ゲーテの父親としての生活と心情を描いたもので、父親の幸福外三章。一普及版。
ハ中象	ハインネ・浪漫派	研究	並菊 製判	254	四、五	春陽堂	月八	▲ハインネが一八三二年頃パリで書いたドイツ浪漫派の紹介と批評。
高野三郎	ニイチエとジイド	研究	布四 六製判	261	二、三〇	建設社	月二十	▲アンリ・ドランの評論「ニイチエとジイド」の譯で、歡喜の追求、生成と永遠外五章。
米澤正六	トルストイ研究	研究	布四 六製判	230	二、三〇	隆章閣	月五	▲ロシア革命の鏡としてのレフ・トルストイ(レーニン)外十篇。
中山省三郎	トルストイ研究	研究	布四 六製判	672	二、一〇	清教社	月十	▲「戦争と平和」とナボレオン、トルストイの作品と其の宗教外四章。
丸川仁	ドストイエフスキイ研究	研究	布四 六製判	178	一、〇〇	新生堂	月五	▲わが最高權威者によるドストイエフスキイの総合的研究で、米川正夫外十九氏執筆。
鈴木謙彰	ドストイエフスキイの手紙	研究	布四 六製判	461	一、八〇	隆章閣	月五	▲辯證法的神學の建設者の一人ツウルナイゼンのドストイエフスキイ研究。
昇曙夢	ドストイエフスキイの再観	研究	布四 六製判	297	一、五〇	ナウカ社	月五	▲醫學的、心理學的立場からドストイエフスキイの手紙に現れた作家チエーホフ、年譜の五篇。
神西清	チエーホフの手帖	研究	布四 六製判	411	二、〇〇	芝書店	月二十	▲ドストイエフスキイから近親者及び友人等へ宛た手紙を譯し年表、回想記、印象を附す

文藝評論編輯部編	刊季 文藝	評 論	並新 菊製判	108	六〇	白水社	月二	▲チエーホフ断片(宇野浩二)「パルムの僧院」前後(前川堅市)瀧(三好達治)外十四篇。
文藝評論編輯部編	刊季 文藝	評 論	並新 菊製判	110	八〇	白水社	月六	▲はるのよを(佐藤春夫)太初に言葉ありき(阿部六郎譯)外十一篇。
文藝評論編輯部編	刊季 文藝	評 論	並新 菊製判	110	八〇	白水社	月六	▲映畫になつた「居酒屋」(長谷川如是閑)ジュエル・ロマン(伊吹武彦)其他。
文藝評論編輯部編	刊季 文藝	評 論	並新 菊製判	110	八〇	白水社	月六	▲評論、詩、文學時評等を掲載せるもので、作家精神の一つの面(雪山俊之)其他。
文藝評論編輯部編	刊季 文藝	評 論	並新 菊製判	110	八〇	白水社	月六	▲評論、詩歌、文學時評、隨筆、感想其他を収めた書で、批評と現實(中島榮次郎)其他
文藝評論編輯部編	刊季 文藝	評 論	並新 菊製判	110	八〇	白水社	月六	▲詩中心の純粹文學季刊誌、西脇順三郎、堀口大學、萩原朝太郎、室生犀星他卅家執筆
文藝評論編輯部編	刊季 文藝	評 論	並新 菊製判	110	八〇	白水社	月六	▲ラケビイ(堀口大學)旅情歌(三好達治)栗(室生犀星)不安と自我(増田篤夫)其他
文藝評論編輯部編	刊季 文藝	評 論	並新 菊製判	110	八〇	白水社	月六	▲善薩のうた(室生犀星)易者の哲理(萩原朝太郎)舞踊の近代性(蘆原英了)其他。
百田宗治	百田宗治	百田宗治	百田宗治	百田宗治	百田宗治	百田宗治	百田宗治	百田宗治

文學(文學辭典・文藝年鑑・圖書・國文學史・研究・雜纂)

藤村	山田清三郎編	文藝家協會編
作編	文藝科學小辭典	文藝年鑑
日本文學大辭典	文藝年鑑	文藝年鑑
第三卷	一九三四年版	一九三四年版
新編	白揚社	改造社
新潮社	白揚社	改造社
月六	月十	月六
▲日本文學に關する大辭典で、第三卷は「と」より最終の「わ」までを收む。	▲文學一般及び廣く藝術上に於ける問題、用語を五十音順に配列して解説す。	▲彙報、文學、演劇、映畫、ラヂオ、文藝團體、文藝家總覽、小説其他を收めた年鑑。

圖書

玉城	芸	彌多野	古典社編輯部	川島五三郎編
書	會	賢一編	圖書	圖書
一七の起原と發達の物語	太田先	長編	圖書	圖書
一、三〇	生記念	長編	圖書	圖書
弘文莊	圖書	長編	圖書	圖書
月二	圖書	長編	圖書	圖書
▲書物の起源と發達に就て述べた書で、生きて居る書物、文字の移入、蠟の書物外九篇。	▲産業圖書館(植村長三郎)索引の考察(高田定吉)典籍作者便覽(森銑三)外七篇。	▲學問の各科各目に就て辭書統計書年鑑年表沿革史其他を網羅せる研究調査の參考文獻。	▲日本國寶圖書目録、明治大正昭和歌書年表平家物語讀本一覽其他數十項の圖書案内。	▲第四輯は歴史、考古、風俗、地理に關するものを輯録す。

(B) 國文學・漢文學

國文學史・研究・雜纂

增子	懷永	日本文學史綱要	同文社	月六	▲日本文學の史的變遷と歌文の講讀を説述せるもので、大和時代、平安時代外四篇。
布函菊	裝入判	二、五〇	同文社	月六	▲日本文學の史的變遷と歌文の講讀を説述せるもので、大和時代、平安時代外四篇。

文學(國文學史・研究・雜纂)

丸山林平	大澤重夫	沼澤龍雄編	原田芳起	野村八良	高野辰之	武田祐吉	折口信夫編	廣島文理科大學國語文學研究會編	久松潜一	菅原重兼	倉野憲司	阪口玄
新國文學史綱要	しやい國文學史	日本文學史表覽	日本小説史概説	武家時代の日本精神	古文學踏査	國文學研究	國文學論究	國文學	上代民族文學とその學史	日本精神史としての上代文學の展開	上中古文學論攷	中世國文學の研究
洋函菊	上函四六	洋函菊	洋函菊	洋函菊	洋函菊	洋函菊	洋函菊	洋函菊	洋函菊	洋函菊	洋函菊	洋函菊
布入判	裝入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判
200	305	278	431	215	584	427	392	319	346	360	379	323
一、五〇	一、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	一、三〇	三、三〇	三、八〇	二、八〇	一、八〇	二、三〇	三、三〇	二、八〇	二、三〇
目黒書店	厚生閣	明治書院	耕進社	大岡山書店	大岡山書店	大岡山書店	高遠書房	中文館	大明堂	金星堂	叢文閣	樂園書房
月五	月三	月六	月二	月十	月七	月一	月七	月一十	月六	月二	月九	月五
▲奈良時代以前以下六時代に國文學史の時代區畫を具體的にして記述せる入門書。	▲國文學史をやさしく書いたもので、上古文學、中古文學、近古文學外二篇。	▲日本文學の主要な作者及び作品の簡便な一覽表で、別冊に標準年表其他收録。	▲日本小説に於ける様式展開の考察で、小説の理念、表現、素材、美的様相、形態等論述の鎌倉より徳川時代まで、諸文獻を引用して傳統的日本精神を論述してある。	▲歌・物語・朗詠・説經等に關する、新事實新發見の學術的報告書である。	▲萬葉道、萬葉集用字法の一編、元曆校本萬葉集卷第十七の一考察外十八種。	▲國學院大學國文學科における卒業論文の一部で、副詞表情の發生(折口信夫)其他。	▲落葉集考(土井忠生)讀み方教育の動向(原田直茂)手帖の中から(藤井乙男)其他。	▲大和時代文學概説、上代日本文學、上代民族文學研究史等三編にて考察せる書。	▲精神史的立場より上代文學の展開に就いて考察せる書で、文學の發生に就いて外三篇。	▲上古、中古の日本文學に就て述べたもので、上古文學と萬葉集、記紀歌謠外七篇。	▲中世に於ける國文學の研究で、序説、中世思潮の混沌、調和、統一外六篇。	▲中世に於ける國文學の研究で、序説、中世思潮の混沌、調和、統一外六篇。



山田孝雄	源氏物語の音楽	洋書	布入判	463	三、八〇	寶文館	月七	▲源氏物語全部に互り音楽に関する記事を網羅抽出し説明を加ふ。
石川誠	源氏物語概説	洋書	布入判	390	二、〇〇	大同館	月一十	▲源氏物語を理論的に研究し、更に教科書として適する原文を収録し註を附す。
武笠正雄	源氏物語書史	洋書	布入判	379	二、八〇	平原社	月六	▲源氏物語の本文に就て、源氏物語の批評の變遷、源氏物語の註釋方面の研究の三章。
關みさを	源氏物語女性考	洋書	布入判	822	六、五〇	建設社	月十	▲源氏物語に描かれた女人に関する部分を選めた書で、桐壺更衣、空蝉と軒端の萩其他。
池田龜鑑	伊勢物語に就きての研究	洋書	布入判	870	一、〇〇	大同山書店	月五	▲第一系統論、第二成立論、第三語彙論、各篇等に分けた伊勢物語の研究。
森銑三	近世文藝史研究	洋書	布入判	687	六、五〇	弘文社	月二十	▲近世期に於ける文藝史上の人物を研究せる書で、新資料に據る下河邊流傳の研究外八篇
鈴木敏也	近代國文學素描	洋書	布入判	456	四、〇〇	目黒書店	月十	▲江戸中葉より明治期までの國文學の論述を集めた書で、近代詩と柳村・上田敏其他。
水谷不倒	草雙紙と讀本の研究	洋書	布入判	545	五、〇〇	奥川書房	月一	▲江戸文學の根幹をなす草雙紙と讀本とを主とし他一般にわたる小説體系の史的記述。
小紫值一編著	江戸小咄研究	洋書	布入判	430	一、八〇	東治書院	月五	▲江戸時代の小咄七百十餘を年代順に編述し頭註を附せるもので、醒睡笑、私可多咄其他
三田村鳶魚編	西武家義理物語論	洋書	布入判	207	一、〇〇	早稻田大學出版部	月一	▲三田村鳶魚、鈴木南陵外九氏の講述せる西鶴の武家義理物語論。
坂元雪鳥	能學論叢	洋書	布入判	204	一、八〇	らんや	月七	▲嘗て雜誌其他に發表せるものを収録せるもので國文學史に於ける諸曲の價值外廿四篇。
國文學會編	二十五周年記念論文集	洋書	布入判	780	五、三〇	星野書店	月一十	▲國文學科卒業四十餘氏の論文集で、各時代各方面の研究の集大成。

石山徹郎	日本文學書誌	洋書	布入判	932	五、三〇	大倉廣文堂	月九	▲日本古來の文學書を時代と種類によつて分類し解説を施し、本文の諸本と参考書を示すに於ける研究とを記述せる國文學の書史。
佐藤良三	國文學書史	洋書	布入判	493	三、四〇	厚生閣	月一	▲古代歌謡に関する研究で、上代歌謡形態の發達、萬葉集の韻律、宴曲の研究外十四篇。
藤田徳太郎	古代歌謡乃研究	洋書	布入判	509	八、三〇	金星堂	月九	▲日本の歌謡及び漢詩の想における類似と異同に就て述べた書。
早川祐吉	和漢詩想の撰一	洋書	布入判	403	三、〇〇	古川出版部	月二十	▲白樂天の長恨歌を研究せる書で、長恨歌評釋、長恨歌が日本文學に及ぼしたる影響其他
遠藤實夫	長恨歌研究	洋書	布入判	428	三、五〇	建設社	月九	▲萬葉集を文化史的觀點から考察したもので人種學的考察、工藝學的考察外四章 増訂版
西村眞次	萬葉集の文化史的研究	洋書	布入判	461	二、五〇	東京堂	月十	▲第二輯は東歌として萬葉集卷十四に収録せられた短歌二百三十首に就ての論究。
松岡静雄	萬葉集論	洋書	布入判	405	三、八〇	章華社	月六	▲萬葉集卷五の一字一音書きの歌を一句づつ一語づつ品詞解剖を試みて其文法を究明す。
大塚悦三	萬葉集の研究	洋書	布入判	516	三、八〇	大倉廣文堂	月五	▲本輯は單行本(本文、註釋鑑賞其他)雜誌(解説、解釋其他)雜誌(關係文獻其他)雜誌
萬葉三水會編	萬葉集研究年報	洋書	製判	181	一、〇〇	岩波書店	月六	▲萬葉集に關する各種の研究紹介等を輯録せる書で、三枝に就いての論證外廿四篇。
彌富破摩雄	萬葉集研究	洋書	布入判	337	三、三〇	大同山書店	月一	▲萬葉の植物に就て研究せるもので、草本類、木本類、竹類に分け五十音順に排列す。
松田修	萬葉植物新考	洋書	布入判	672	四、八〇	春陽堂	月六	

奥野健治	萬葉大和志考	洋園菊	布入判	三、三〇	同人會	月一十	▲萬葉集に歌はれた大和の地名を多くの例歌を挙げて考査せる書。大和地名索引。
松岡静雄	萬葉集論	洋園菊	布入判	三、八〇	章華社	月二	▲萬葉集の言語学的研究をなせる書で、第一輯は第十三卷、第十四卷を檢討す。
岡不崩	萬葉集草木考	洋園菊	布入判	七、三〇	建設社	月七	▲第三卷は百合考、萱草考、合歡木考、須岐乃木考の四編より成る。
齋藤茂吉	柿本人麿	洋園菊	布入判	三、三〇	岩波書店	月一十	▲人麿に就ての種々なる研究を収めたもので人麿傳諸記、人麿作歌年次配列其他。
佐佐木信綱	増賀茂真淵と本居宜長	洋園菊	布入判	一、八〇	湯川弘文社	月二十	▲賀茂真淵と本居宜長の傳記、學問に關する論文、小品を収めた書。増訂版。
野田實	續平賀元義評傳	和三四六綴判	布入判	二、三〇	文正社	月二	▲近世に於ける吉備歌壇の鬼才として又一世の奇行家として知られたる平賀元義の評傳。
釋道空編	曙覽の研究	布園菊	裝入判	二、八〇	高遠書房	月一	▲歌人橘曙覽の研究で、松嶺、福壽、外四紳よりなり釋道空外十七氏執筆評傳す。
相馬御風	曙覽と愚庵	布三六裝判	裝入判	一、〇〇	松柏館	月二十	▲人及び歌人としての橘曙覽、天田愚庵を述べ、兩者の短歌を抄録す。
加藤紫舟	俳人芭蕉傳	布園菊	裝入判	四、三〇	天來書房	月七	▲芭蕉の俳句を芭蕉その人の生活に結び付けて檢討せる傳記で、芭蕉の幼少年時代其他。
浦野芳雄	芭蕉論	洋園菊	布入判	二、〇〇	大同館	月八	▲芭蕉に就て研究せる書で、序論、人間芭蕉芭蕉の俳句、俳人芭蕉、芭蕉の功業外一篇。
荻原井泉水	茶雜記	布園菊	裝入判	一、六〇	大畑書店	月三	▲一茶に就て述べたもので、一茶の横顔、一茶の人間味、「終焉日記」の一茶外八篇。
浦野芳雄	俳人一茶	布園菊	裝入判	三、〇〇	大同館	月六	▲一茶の豪い理山を説き、古今俳壇の第一人者である事を述べた書で、一茶の作品其他。

高須芳次郎	明治文學史論	並菊	裝判	四、〇〇	日本評論社	月十	▲明治文學の全貌に就て叙説したもので、現代文學の大勢及び進歩、舊套墨守時代外三篇影響、明治文學思潮外一篇。
宮島新三郎	明治文學概論	布園菊	裝入判	一、六〇	東京出版社	月六	▲明治文學に足跡を残した人物百人を挙げ、その人から贈られた書簡等を掲げ傳記を記す。
佐佐木信綱	明治文學の片影	布園菊	裝入判	三、〇〇	中央公論社	月十	▲明治開化期の文學、坪内逍遙と二葉亭四迷唯物史觀明治文學ノト外十二篇。
木村毅	明治文學を語る	春園菊	洋入判	一、五〇	樂浪書院	月五	▲明治、大正年間の出版に係る詩の書者其他を掲載せる本文と圖録の二冊より成る。
山宮允	明治大正詩書總覽	春園菊	洋入判	特九、〇〇	啓成社	月二十	▲文學史の研究について、封建社會の文學、尾崎行雄氏の「新日本」、石川啄木小論其他。
徳田太郎	近代日本文學研究	洋園菊	布入判	三、〇〇	樂浪書院	月十	▲實説金色夜叉、赤根々の紅葉、あゝ小波のちさん、小波の思出、講演打明ばなし。
江見水蔭	實説金色夜叉	並四六裝判	裝判	四、〇〇	江水社	月六	▲小泉八雲の傳記で、ギリシヤからアイルランドへ、學校生活外十三篇。一改装版。
田部隆次	小泉八雲	洋四六布判	布判	一、八〇	第一書房	月二十	▲小泉八雲に關する隨想を集めたもので、蔵書より見た八雲、ヘルンと蟲外七篇。
高田力	小泉八雲の横顔	上園四六裝判	裝入判	一、五〇	北星堂	月一十	▲偉大なる人生記録者(秋田雨雀)藤村先座の飯倉時代(山崎斌)其他。
秋田雨雀編	鳥崎藤村研究	並四六裝判	裝判	一、五〇	樂浪書院	月一十	

明治大正文學史・同研究(附現代文學研究)

遠地輝武	石川啄木の研究	上四六 製入判	一、八〇	改造社	月七	▲啄木の全貌を成長の段階に應じて傳記的に 抽出し、その文學的遺産の諸問題を研究す。 ▲友人として接觸した石川啄木の一面で、 啄木餘響、追想記その折々外二篇。
金田一京助	石川啄木	布四六 製入判	二、五〇	文教閣	月三	▲石川啄木の著書其他啄木に關するあらゆる 單行本、専門雜誌等を網羅せる文獻。
吉田孤羊編	啄木研究文獻	並四六 製判	四〇〇	耕進社	月四	▲夏目漱石に關する隨筆を集めたもので、漱 石のあとを訪れて、猫の墓外十七篇。
松岡讓	漱石先生	上四六 製判	一、五〇	岩波書店	月一十	▲子規廿三回忌の歳に書いた「子規の回想」 を多少改訂し附録として母堂の斷片其他收録
河東碧梧桐	子規を語る	布四六 製入判	二、〇〇	汎文社	月二	▲森鷗外の傳記で、出生より上京まで、大學 入學より陸軍出身まで外十五篇。
森潤三郎	鷗外森林太郎	布四六 製入判	二、〇〇	昭和書房	月七	▲森鷗外の紀行その他の雜文類、序跋題辭、 廣告、遺族の思ひ出話其他を收録。普及版
森潤三郎	鷗外遺珠と思ひ出	上四六 製入判	一、五〇	昭和書房	月七	▲森鷗外の日露戰爭從軍記念詩歌集うた日記 を小説的に研究せるもの。
佐藤春夫	陣中の豎琴	洋四六 布入判	三、〇〇	昭和大同館	月六	▲芥川龍之介の研究で、概論、生涯論、時代 論、著作目録、作品の全容、結論。
竹内眞	芥川龍之介の研究	布四六 製入判	二、〇〇	大同館	月二	▲現代作家の作品及び人物の評論で、新現實 主義文學の輪廓、志賀直哉の世界外十篇。
片岡良一	現代作家論叢	布四六 製入判	二、八〇	三笠書房	月三	▲古事記を現代語譯し、難解な箇所は註を附 し、歌謠は原歌を平假名交りにし譯歌を掲ぐ ▲古事記の原文を収め、之に訓み下し文、口 譯、註解、參考書概説を附す。
蓮田善明譯	古事記	並四六 製判	一、二〇	机上社	月一十	
阿部政一編著	古事記	洋四六 布入判	二、八〇	中文館	月六	

井上通泰	肥前風土記新考	洋四六 布入判	二、〇〇	巧人社	月二十	▲肥前風土記に新考を施して解説せるもの。
澤瀉久孝	萬葉集新釋	布四六 製入判	三、〇〇	星野書店	月五	▲下巻は卷十一より卷二十までを収め、語釋 口譯、考を施す。
鴻巣盛廣	萬葉集全釋	洋四六 布入判	六、三〇	大倉廣文堂	月二十	▲第五冊は萬葉集の卷第十六、卷第十七、卷 第十八、卷第十九を収め全釋を施す。
高田浪吉	萬葉集鑑賞	洋四六 布入判	一、三〇	古今書院	月三	▲卷第二は、相聞、挽歌で、難波高津宮御宇 天皇代、後同本宮御宇天皇代其他。
高田浪吉	萬葉集鑑賞	洋四六 布入判	一、五〇	古今書院	月九	▲卷第三は雜歌、譬喻歌、挽歌を収め解説せ るもの。
松村英一編	萬葉集	布四六 製入判	二、〇〇	二松堂	月六	▲卷一より卷二十まで萬葉集の全部を譯し輯 録せるもの。
龍澤良清編	萬葉集	布四六 製入判	四、〇〇	建文社	月九	▲源氏物語中の桐壺、帚木の二卷の原文に語 釋、通釋を施せるもの。
宮田和一郎	源氏物語	洋四六 布入判	一、三〇	日本文學社	月六	▲源氏物語の中桐壺、帚木、空蟬の三卷に註 釋及び口譯を施す。
宮田和一郎	源氏物語	洋四六 布入判	一、三〇	日本文學社	月七	▲源氏物語の夕顔卷、若紫卷の本文を収めて 對譯を施せるもの。
宮田和一郎	源氏物語	洋四六 布入判	一、三〇	日本文學社	月九	▲源氏物語中の末摘花、紅葉賀、花宴の三卷 に語釋、通釋を施したるもの。
宮田和一郎	源氏物語	洋四六 布入判	一、三〇	日本文學社	月九	▲葵、賢木の二卷に語釋を施し通釋をなす。
宮田和一郎	源氏物語	洋四六 布入判	一、三〇	日本文學社	月十	▲源氏物語の花散里、須磨、明石の三卷の原 文を収め解釋をなし註を施す。
宮田和一郎	源氏物語	洋四六 布入判	一、三〇	日本文學社	月十	▲源氏物語中の浮標卷、蓬生卷、關屋卷、繪 合卷を原文對譯し註を附す。





太田悌藏譯註	寒山詩	興國詩	木村岳風編	木村岳風編	田中慶太郎	石田羊一郎	中島竦	中島竦	郭沫若	木村岳風編	國語漢文研究会編	國府犀東	細貝香塘
皇朝文集(1800-1867)	漢詩選	漢詩選	解註興國朗吟詩集	解註興國朗吟詩集	現代支那趣味文選	刊定老子王弼注	書契淵源第一帙	書契淵源第二帙	古代銘刻彙攷	皇漢名詩の吟じ方	和朗吟集新解	青年朗吟詩選	漢詩絶句作法と鑑賞
並四六裝判	洋四六裝判	洋四六裝判	上三五六裝判	上三五六裝判	並四六裝判	並四六裝判	和編	和編	和四六倍判	洋三五六布入判	並四六裝判	並四六裝判	布四六裝判
279	615	150	133	160	130	360	420	140	143	398	46	470	
四六	三〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	六五	五、四〇	六、四〇	三、〇〇	三、〇〇	一、八〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
岩波書店	弘道館	桑文社	桑文社	文求堂	文求堂	文求堂	文求堂	文求堂	文求堂	明治書院	明治書院	育社協會	東洋圖書株式會社
月十	月五	月六	月六	月六	月二十	月六	月九	月五	月一十	月一十	月一十	月十	月二十
▲寒山詩に讀み方を施し、註を附す。	▲兼の皇朝篇に對し漢人の作三百餘首を收め詳解を附す。	▲日本一の朗吟大家木村岳風先生が多年の詩吟講習の體験より編まれたる名詩吟集である	▲天地正大の氣を詠める漢士の名什數十篇を收めて註解を施せる詩吟集。	▲支那新聞紙記事中の風俗習慣學藝等に關するものを輯録し詳註を施せるもの。	▲諸本により王注老子の誤りを訂正して定本と爲せるもの。	▲支那古代の鐘鼎文字を系統的に解釋し説文の誤りを訂したるもの。	▲前書の續きにして本帙を以て完結。	▲骨白刻辭の一考察・再論石鼓文之年代等支那古代文字學に關する論文九篇を收む。	▲皇漢名詩十六篇に各吟じ方の符を付し初心者にも會得し易き様註解を施す。	▲最も朗吟に適する詩を精選し之を日本、支那二篇に類別して略解を施せる書。	▲主として今日の青年達が普通に通じてゐる詩を選び譯讀、通解、語解等を收む。	▲漢詩に於ける七言絶句、五言絶句の根本原則と一般知識を述べた作詩入門。	

新村出	小島烏水	内田魯庵	木下李太郎	壽岳文章	德富猪一郎	三宅雄二郎	下村海南	高田保馬	東郷實	八波則吉
典籍散話	書齋の岳人	續紙魚繁昌記	雪稠集	書物之道	靜思餘錄	隔日隨想	筆通風筒	貧者必勝	三等に乗りて	筆高きに登る
布四六裝判	木四六裝判	酒四六裝判	上四六裝判	布新編裝判	上三六裝判	布四六裝判	布四六裝判	布四六裝判	上四六裝判	上四六裝判
424	346	450	322	235	294	445	406	364	359	349
三、〇〇	二、八〇	三、〇〇	二、八〇	二、〇〇	二、〇〇	一、八〇	一、〇〇	一、六〇	一、五〇	二、五〇
書物展望社	書物展望社	書物展望社	書物展望社	書物展望社	明治書院	帝都出版部	四條書房	千倉書房	富山房	東洋圖書株式會社
月三	月八	月四	月一十	月二十	月五	月二十	月七	月八	月二十	月二十
▲「典籍叢談」以後の隨筆を集大成したものでサトウ氏の「日本耶蘇會刊行書志」其他。	▲登山家たる著者の書齋に於ける手記で、藏本記、米國の巷にて、山水帖外三篇。	▲魯庵翁の書物談中比較的長篇の研究と翁平素の持論等を蒐集したもの。	▲言はばでもよきこと、桐下亭隨筆、中隱日記晚春初夏、口腹の小説其他の隨筆集。	▲書物に關する論文、隨筆を集めた書で、愛書經序品、書誌學とは何か外二十三篇。	▲インスピレーション、田舎漢、得意と失意朋友、知己難、健康、故郷其他より成る。	▲八月十日、農、爵の今後、動機の純不純、?の地、二つの案外其他の隨筆集。	▲隨想篇、藝術篇、スポーツ篇、傳記篇、時局論篇等に分け五十七篇を收めた隨筆集。	▲感想隨筆集で、追憶を語る、貧乏の話、農村と政治との話、經濟を語るの四輯。	▲陣笠の群に入りて、展望車と機關車、仁王の草鞋と植民政策其他より成る隨筆集。	▲高きに登る、自分の力、自力の強さを信ぜよ、新興日本行進曲其他を收む。

丸山鶴吉	白柳秀湖	白柳秀湖	木下尙江	堀口九萬一	山本實彦	山橋一邦	三宅正太郎	高梨乙松	林要	宮本武之輔	大島正滿	林春隆
五十年と	自然と	山水と	神人間	外交と	小閑集	碧潭集	法窓五月	法窓五月	スポーツ・	技術・社	定芽	白雲庵
と	と	と	自由	文藝	集	集	雨雜記	雨雜記	宗教・社	會・人生	人生	話
468	346	475	436	355	436	520	327	354	257	445	264	355
一、六〇	一、八〇	一、八〇	一、七〇	一、八〇	二、八〇	二、四〇	二、三〇	一、三〇	一、四〇	一、四〇	一、八〇	二、三〇
講談社	三笠書房	千倉書房	中央公論社	第一書房	改造社	岩波書店	新小説社	大同書院	政經書院	工業雜誌社	刀江書院	同倉書房
月十	月十	月七	月九	月七	月七	月一	月二十	月二十	月三	月四	月七	月六
▲著者の五十年間のところん、の思出を小學校時代から大體年次順に列べたもの。	▲自然人間及び勞作、世相十年、藪田舎言海の三部に分け五十餘篇を収めた隨筆集。	▲物と影、旅にしての二部に分け山水自然人生歴史等自然と人生との渾融を扱った隨筆集。	▲神の解放、幸徳秋水と僕、政治の破産者田中正造、自由の使徒島田三郎外八篇の隨筆集。	▲外交官たる著者の隨筆集で、外交漫談、文藝雜筆、西班牙叢話の三篇より成る。	▲ひらが、心境、奥入瀬、西伯利の旅、藝術小言、アイシシユタインの片影其他の隨筆集。	▲行餘集、講演集、年頭感、語録、日記、雜編の六篇より成る橋田邦彦氏の隨筆集。	▲時論(可法制度の改革其他)隨筆(判例七話其他)附録(政黨の選舉運動其他)の三篇。	▲法律、政治、歴史、文藝其他に關する漫筆隨筆を収めたもので、法窓五月雨雜記其他。	▲スポーツ、宗教、社會、日本資本主義のモダンスポーツ三つの四編よりなる隨筆集。	▲著者の評論、紀行、感想、隨筆等を集めたもので、論説、時評、巴里通信、隨筆外一篇。	▲新島の小父さん、新渡戸博士の書、獨逸語を學ぶ、白切符の旅、魚界挿話其他の隨筆集。	▲進郷の事ども、狛犬の話、雜祭、孟蘭盆の話、歳晚風景、回顧五十年其他の隨筆集。

西川義方	川上漸	森田正馬	渡邊房吉	森於菟	太田千鶴夫	田中香涯	高橋喜平	堀尾實善	八重樫新美子	西村文則	佐藤吾一	たまかづら
断絃	望	生の慾	老醫の繰言	解剖臺に凭りて	警察醫の日記	文藝と醫事	雪と人	月と文	花と文學・傳説	酒道	豆腐を語る	我子に語る世相
横	絃	望	繰言	凭りて	日記	醫事	人	文	傳説	道	語る	相
529	250	414	437	284	335	472	184	338	512	341	145	407
二、五〇	二、三〇	二、三〇	二、一〇	一、〇〇	一、八〇	二、〇〇	一、八〇	一、三〇	二、八〇	二、〇〇	二、三〇	一、二〇
三省堂	人文書院	人文書院	東學社	昭和書房	昭和書房	東學社	朋文堂	出版部	野ばら社	健文社	遷友會	北文館
月二十	月十	月一十	月四	月一	月一十	月六	月二十	月二	月一十	月二十	月二	月二十
▲ボーレの話、酒の香り、レントンゲン遺物、國民木としての杉其他の隨筆隨想集。	▲断絃、瘦溪、孤烟、眠鏡、溪雲、弓影、晚箱、轉蓬外六篇の隨筆。	▲夢と迷妄、具象と抽象、一日間の體重増減上肢脱力試験、信仰其他の隨筆を収む。	▲肉腫、父子永別、臍茶畫談、しるし半天、山上億良の疾病、醫者と坊主其他の隨筆。	▲解剖學に就ての科學及び父鷗外を語つたもので、解剖室夜話、父鷗外と私外二篇。	▲死人を繞りて、警察醫の日記、船旅で、女拘摸、夜鷹のこと其他より成る隨筆集。	▲醫事を香景とせる文藝上の考證及び隨筆を蒐集したもので、日本美人の三型其他。	▲雪の文學、雪と人生との相關を思索せる書で、雪と人生、俳句より見たる雪外九篇。	▲月の美觀について日本、支那、印度及び西洋文學の一部並びに理學方面を記述す。	▲各種の花を収め其の來歴、種類、文學、傳説等を収録せる書。	▲義に刊行した「酒譜」を増補改訂したもので、酒の中性其他に就て叙す。	▲各種の方面から豆腐を眺め、その本質を闡明し、人生觀を樹立せし豆腐物語。	▲近來に於ける思想問題、小説「母」の讀後感其他の感想、歌論及び近詠等を収録。

文學(隨筆・感想・文集)

品川義介	野人野語	石坂養平	文明の高士	常盤大定	學と道	永井瓢齋	俗つれづれ	友松大正	論不二の世界	高神覺昇	眞理を歩む	與謝野品子	優勝者となれ	岡本かの子	筆かの子抄	松原寛	流轉風景	澁澤敬三	祭魚洞雜錄	金田一京助	北の隨筆	黒田亮	復松園隨筆	吉村冬彦	鵬		
上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六
製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判
418	322	435	308	416	401	364	338	323	452	336	314	481	357	389	308	254	294	196	230	373	348	248	219	165	357	389	
一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
平凡社	清和書店	時潮社	人文書院	第一書房	第一書房	天來書房	不二屋書房	郷土研究社	四條書房	三省堂	三省堂	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店
月二十	月一十	月四	月十	月三	月一十	月三	月九	月三	月一	月五	月五	月二十	月五	月三	月二	月二	月九	月七	月二	月三	月二十	月五	月一	月三	月五	月十	月二十
▲著者の過去二十年間に於ける教育の實驗記で、野人袋論外二篇。	▲教育、思想其他に關する論文隨筆を集めたもので、國家教育と社會教育其他。	▲箇中消息、白雲流水、無弦有聲、花鳥風月其他にて學と道との隨感隨想を集めた書。	▲俗つれづれ、問答、弘法大師に就いて、行詰れる現代新聞、酒と女外廿一篇。	▲入不二門抄、異國雜文、隨園漫筆の三篇より成る隨筆集。	▲數年來一個の人間として、生活したる人生觀を表現せる著者の思想隨筆集。	▲日本國民たることの幸ひ、優勝者となれ、階級闘争の非、女子の獨立其他の感想集。	▲女人一家言、かの子抄、人のこと折々、佛敎のルネッサンス、見在西洋の五篇の隨筆集。	▲わが子が親の記、旅日記、芝居と音楽、世相雜感、感傷錄、交遊記の六篇より成る。	▲紀行其他の文集で、南海見聞錄、祖父の後ろ姿、伊太利旅行記、本邦工業史の一考察等。	▲太古の國の通路から、盲詩人、葉がくれの花、言葉たから外廿二篇の隨筆集。	▲三省録を拾ひ讀、轉宿雜感其他の隨筆集。	▲鯛、詩と人、映畫及び附録の四項に分けKからQまで、思出草其他の隨筆を収む。	▲旅、京城、季節、人と本、回想、小品、雜篇の七篇數十章より成る隨筆集。	▲ゲーテ博物館、ベルリンの一日、澁柿抄、黃金蟲、飢饉記録外十二篇の隨筆集。	▲巴里に於ける「モスコウ藝術座」の見物日記で、巴里滞在記、ストックホルム外一篇。	▲フランス文明、その多角性とその弱點、巴里と「音」、文學のこと其他の隨想集。	▲里子さんのこと、リモージュ風景、巴里の聯盟臨時會議傍聴の事外十篇の隨筆集。	▲著者の歐米滯留記——メリ・イングラント——の隨筆集。	▲著者の海外紀行、海外異聞等の隨筆及び大衆小説に關する論說を集めた文集。	▲酒、女、音楽、惜春詩話、體技綺談、日本の秋、歐羅巴の夏其他の隨筆集。	▲著者十二年の海外生活に於ける見聞、印象等を述べた書で、北支・滿洲・朝鮮外四篇。	▲釣師と銃獵者、「脱線帳」から、魚心、恐慌、ちびとその友、苦心其他の隨筆集。	▲チヨオサアの夕、英吉利の新年、納涼一夕話、アーネスト・ダウソン其他の英文學隨筆。	▲詩友抄、風雅抄、先人抄、アメリカの思ひ出の四篇より成る隨筆集。	▲佛蘭西文學漫筆、おもひで、空談、演劇雜俎、……を讀む、スポオツ費言の六篇。		

文學(隨筆・感想・文集)

安倍能成	靜夜集	小宮豐隆	黃金蟲	小宮豐隆	巴里滯在記	松尾邦之助	巴里素描	佐藤美子	巴里セレナード	福原麟太郎	メリ・イングラント	伊集院齋	展望車の窓から	柳澤健	三鞭酒の泡	柳澤健	異國趣味	岡倉由三郎	吳岸越勢集	平田禿木	隨筆學爐に凭りて	竹友藻風	冬扇帖	辰野隆	隨筆學爐に凭りて		
上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六
製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判
389	308	254	294	196	230	373	348	248	219	165	357	389	308	254	294	196	230	373	348	248	219	165	357	389	308	254	294
二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇
岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店
月十	月二	月二	月二	月九	月七	月二	月三	月二十	月五	月一	月三	月五	月六	月一	月一	月一	月一	月六	月一	月一	月一	月三	月五	月十	月十	月十	月十
▲旅、京城、季節、人と本、回想、小品、雜篇の七篇數十章より成る隨筆集。	▲ゲーテ博物館、ベルリンの一日、澁柿抄、黃金蟲、飢饉記録外十二篇の隨筆集。	▲巴里に於ける「モスコウ藝術座」の見物日記で、巴里滞在記、ストックホルム外一篇。	▲フランス文明、その多角性とその弱點、巴里と「音」、文學のこと其他の隨想集。	▲里子さんのこと、リモージュ風景、巴里の聯盟臨時會議傍聴の事外十篇の隨筆集。	▲著者の歐米滯留記——メリ・イングラント——の隨筆集。	▲著者の海外紀行、海外異聞等の隨筆及び大衆小説に關する論說を集めた文集。	▲酒、女、音楽、惜春詩話、體技綺談、日本の秋、歐羅巴の夏其他の隨筆集。	▲著者十二年の海外生活に於ける見聞、印象等を述べた書で、北支・滿洲・朝鮮外四篇。	▲釣師と銃獵者、「脱線帳」から、魚心、恐慌、ちびとその友、苦心其他の隨筆集。	▲チヨオサアの夕、英吉利の新年、納涼一夕話、アーネスト・ダウソン其他の英文學隨筆。	▲詩友抄、風雅抄、先人抄、アメリカの思ひ出の四篇より成る隨筆集。	▲佛蘭西文學漫筆、おもひで、空談、演劇雜俎、……を讀む、スポオツ費言の六篇。	▲佛蘭西文學漫筆、おもひで、空談、演劇雜俎、……を讀む、スポオツ費言の六篇。														



成瀬無極	成瀬無極	室伏高信	土田杏村	田部重治	長與善郎	高安月郊	登張竹風	土井晚翠	藤井浩祐	鍋井克之	木村莊太	森田恒友	
無極隨筆	人生戲場	人間記	筆思慕の春	心の行方を追うて	自然とともに	高安の里	人間修業	雨の降る日は天氣が悪い	枇杷の葉と犬	和服の人	晴耕雨讀集	畫生活より	
布面菊	上四六	上四六	上四六	並四六	上四六	上四六	上四六	布面菊	上四六	布面菊	並四六	布面菊	
裝入判	裝入判	裝入判	裝入判	裝入判	裝入判	裝入判	裝入判	裝入判	裝入判	裝入判	裝入判	裝入判	
290	420	434	285	367	381	291	394	282	159	285	484	433	
二、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、	一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、	一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、	二、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、	一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、	二、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、	一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、	一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、	一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、	一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、	三、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、	一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、	二、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、	
白水社	政經書院	第一書房	第一書房	第一書房	小山書店	書物展望社	中央公論社	大雄閣	昭和書房	書物展望社	春秋社	古今書院	
月一十	月九	月二	月二	月三	月七	月六	月七	月九	月八	月一十	月一	月七	
▲文藝坐談、諸曲漫談、大正文壇の追憶、演劇六講、西京夜話外三篇の隨筆小品集。	▲音樂的陶酔、讀書餘録、梅干とあなご井、サアカス、生命の木其他の隨筆小品戲曲集。	▲日記にかへる、三澤村雜記、ルソウと彼と野に叫ぶもの、若鳩の死其他の隨筆集。	▲麥湯のことば、馬糞録、無題録、雜草、紫野より、若き日の懐疑外十篇の隨筆集。	▲人生、心の行方を追うて、郊外雜記、春窓雜感、隨想其他の論文、隨筆を収む。一普及版一	▲春景小品二三、或る友の家で、言葉と人、文藝の仕事と僕、魅力論其他より成る隨筆集	▲不安の里、明治の大坂歌舞伎、放浪、京都雜、不味と八雲其他より成る自叙隨筆集。	▲酒修行、酒上の文豪、吾等の文科大學の思ひ出、明治時代の思ひ出其他の隨想隨想集。	▲氣が悪い、銷夏漫筆其他の隨筆集。	▲アルプス山首登先の登攀、雨の降る日は天氣が悪い、銷夏漫筆其他の隨筆集。	▲枇杷の葉と犬、大のある繪巻、私のクロンチ、龍と犬外十五篇の隨筆集。	▲「話」の話、泰西名美人畫と情慾美、天城を越へて其他の隨筆集。一普及版一	▲渡歐途中、漂泊者の多い西班牙より、日本の新彩として、畫生活の斷片其他の隨筆集	▲詩歌雜考、震災記、父の心、半農生活、田園雜稿、春日郊居、讀書談其他の雜稿集。

文學(隨筆・感想・文集)

中川一政	中川一政	倉田白羊	小杉放庵	小杉放庵	津田青楓	津田青楓	鍋木清方	鍋木清方	小野賢一郎	西川一草亭	大田黒元雄	辰野隆
武藏野日記	永福寺餘暇園	雜草	工房小閑	草畫隨筆	墨莊雜記	雜炊	築地川	銀砂子集	陶心集	筆風流生活	筆氣樂な散步	隆・え・ら
上四六	上四六	上四六	布面菊	布面菊	布面菊	上四六	上四六	布面菊	上四六	並四六	並四六	並四六
裝入判	裝入判	裝入判	布入判	裝入判	裝入判	裝入判	裝入判	裝入判	裝入判	裝入判	裝入判	裝入判
339	355	385	310	187	361	405	201	254	198	320	255	450
二、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、	二、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、	一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、	一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、	二、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、	二、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、	二、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、	四、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、	二、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、	一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、	一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、	一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、	一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、
竹村書房	竹村書房	竹村書房	竹村書房	交蘭社	樂浪書院	樂浪書院	書物展望社	岡倉書房	寶雲舎	第一書房	第一書房	白水社
月一十	月七	月五	月八	月四	月七	月二	月十	月五	月三	月一十	月二十	月七
▲丹波路、關西の景色、南畫院を評す、新東京スケッチ、永福寺雜記其他の隨筆を収む。	▲著者が永福寺に移住してから十年間の隨筆論文を抜録したもので、美術の眺め其他。	▲とび色の冬、雜草園手記、山居苦樂、母、たま／＼感ずる事、偽作物語其他の隨筆集。	▲山住居の話、少林拳法、洛外三題、劍俠小話、水郷の人々、山歌水禽錄其他の隨筆集。	▲「話」の話、泰西名美人畫と情慾美、天城を越へて其他の隨筆集。一普及版一	▲土地の歴史、好きな花嫁ひな花、讀書時間飽心即求新、畫家の轉向問題其他の隨筆集。	▲迂餘曲折の思想の斷簡零墨を集めた著者の隨筆集で、留置場素描、京洛雜記其他。	▲樂地川、土用前後、繪かき商賣、葛蒲湯、ジョリイ、濡衣、きいろい花其他の隨筆集。	▲雨、團扇と浴衣、美女物語其他の隨筆集。	▲佛敎、陶器其他に關する隨筆集で、邦彦王殿下、花まつりの夜、正倉院拜觀外廿九篇。	▲利休像、清風莊の陶庵公、畫を描く氣持と花を生ける氣持、屋外廣告論其他の隨筆集。	▲手袋、盜人劇場主、女海賊記、演泰會今昔靴下雜記、奇妙な遺書外六篇の隨筆集。	▲佛蘭西文學とは、一瞥、演劇漫筆其他より成る佛蘭西文學の評論隨筆集。一普及版一

文學(隨筆・感想・文集)

土岐善磨	薄田泣菫	横瀬夜雨	内田百間	内田百間	内田百間	佐藤春夫	室生犀星	日夏耿之介	佐藤惣之助	水上瀧太郎	水上瀧太郎	水上瀧太郎
晴天手記	獨樂園	雪あかり	百鬼園隨筆	續百鬼園隨筆	無絃琴	閑談半日	藝林泉	殘夜焚艸錄	釣魚釣心魚	馬鹿の記	親馬鹿の記	親馬鹿の記
四條書房	創元社	書物展望社	三笠書房	三笠書房	中央公論社	白水社	中央公論社	竹村書房	第一書房	改造社	改造社	改造社
四月	四月	六月	九月	九月	十月	十月	七月	五月	五月	五月	五月	五月
▲五月を讀へる、曝書の詩趣、秋から冬へ、短冊笑話、現代の短歌其他より成る隨筆集。	▲早春の一日、春の賦、新柳の言葉、雲の匂、木犀の香、柿、蠟梅其他より成る隨筆集。	▲明治四十年代から過去の直前に至る夜雨氏の隨筆集で、田舎の新春外四十四篇。	▲琥珀、進水式、大人片傳、百鬼園新装、フロッグコート其他より成る隨筆集。一普及版一	▲近什前篇、文章世界入選文、篋底稗稿、近什後篇等より成る隨筆集。一普及版一	▲彈琴圖、校長就任式、檢閱使、網帽、虎の尾、漱石遺毛、老提督其他より成る隨筆集。	▲最近の谷崎潤一郎を論ず、備忘録記、僕等の結婚、郷土の俗語其他の評論隨筆集。	▲京洛日記、文藝雜誌、和歌、馬込林泉記、鉛筆詩集、感想小品集、俳諧雜記其他。	▲隨筆恥振窓、眠林夢語、隨筆緊箍咒、芥川龍之介君、郷童の春外四篇の隨筆集。	▲釣魚に關する隨筆集で、魚笑ふ、魚美人、マルメ風情、春と秋、釣意魚情の五篇。	▲宇野四郎氏を憶ふ、その後のドウケル、元祿屋敷、喰へない文學、親馬鹿の記其他。	▲隨感隨想集で、上巻は新聞記者を憎むの記「八千代集」を讀む、愚者の鼻息其他。	▲下巻は噂の迷惑、取消、「三田文學」の復活、讀後所感、山を想ふ、新聞雜其他。

久保田万太郎	里見淳	菊池寛	十一谷義三郎	井伏鱒二	窪川稻子	林芙美子	林芙美子	川端康成	笹本寅文	杉山平助	高田保	新居格
語	自然解	話の厨籠	ちりがみ文章	田園記	一婦人作家の隨想	旅だよ	厨女雜記	川端康成	文壇手帖	氷河のあくび	有閑雜記	女性點描
四條書房	新小説社	不二屋書房	厚生閣	作品社	ナウカ社	改造社	岡倉書房	改造社	橋書店	日本評論社	改造社	南光社
一月	八月	八月	四月	五月	八月	九月	三月	十月	三月	九月	九月	十月
▲雷門以北、吉原附近、夏のおもひで、あやめ團子、伊井善峰のこと外五篇の隨筆集。	▲よもやま、幸兵衛、ひとびと、目・耳、大吉利の五篇より成る感想、隨筆、小品集。	▲文藝春秋(文學志望者の今昔其他)話の厨籠(昭和六年より九年まで)の二篇の隨筆集。	▲大正の末年から最近までの文章を集めたもので、文學目錄、バット馬鹿の告白外一篇。	▲田園記、文學的讀書、アラヤ殿下のこと、いかさま病院外一篇の隨筆集。	▲仕事のあひまに、子供とペンと、室生先生のこと、讀んだ作品から其他の感想集。	▲小さい境地、旅だより、摩周湖紀行、花と曆、秋の文藝感想、柿の實其他の隨筆集。	▲早春、散歩の苦言、庭、花、大鳥行、住んでみた街、涼しき隠れ家其他より成る隨筆集。	▲第一巻は隨筆集で、わが犬の記、舞踊界實際、作家と作品、文藝時評の一其他。	▲大家作家・世に出るまで(大佛次郎の卷其他)人と生活、作家訪問記外三篇。	▲氷河のあくび、縁が丘漫筆、暗さの問題、長篇評論の説其他より成る隨筆、評論集。	▲有閑雜記帳、ダンス雜記帳、近代遊廓雜記帳、ハア小唄、圓タク世相曲其他の漫筆。	▲女性及び女性問題に關する評論、隨筆、小品、創作等を収載した女性觀。

相馬御風	相馬御風	島崎藤村	今西吉雄	湯朝竹山人	水野芳艸	李家正文	伊井藤吉郎	櫻井忠温	中根榮	徳川夢聲	徳川夢聲	生方敏郎
一人の想	砂に坐して語る	文學讀本	今流行唄物語	集筆杯洗の掬	風呂の微笑	降る話	黄金病患者	斬壕のある顔	愛犬風物雜景	閑散無雙	くらがり二十年	人のアラ世間のアラ
布面四六 裝入判	布面四六 裝入判	洋面四六 布判	布面四六 裝入判	布面四六 裝入判	上四六 裝入判	布面四六 裝入判	布面四六 裝入判	布面四六 裝入判	洋面四六 布判	上四六 裝入判	布面四六 裝入判	布面四六 裝入判
406	337	351	393	286	247	218	474	452	357	228	216	342
一、 二〇〇	一、 〇〇	一、 〇〇	一、 〇〇	一、 二〇〇	一、 八〇〇	一、 八〇〇	一、 二〇〇	一、 二〇〇	一、 二〇〇	一、 〇〇	一、 八〇〇	一、 八〇〇
厚生閣	厚生閣	第一書房	東光書院	書物展望社	平野書房	一誠社	出版之社	善醒社	番町書房	アオイ書房	アオイ書房	香風閣
月十	月四	月二十	月七	月三	月十	月三	月六	月六	月五	月七	月四	月八
▲著者の身邊雜記と種々の印象及び感想を集めたもので、人生五十、冬籠漫筆其他。	▲春を聴く、秋にわがづく、雪五題其他の隨筆集	▲土、信濃の婦人、秋風の歌、甲州街道、落葉、雪國のクリスマス其他を収む。	▲古今の流行歌の物語で、汽笛一聲、光明世界、大阪人と江戸ッ兒、歌と聯想繪卷其他。	▲小曲諸流の展望、流行小唄節の實質、歌謡文獻雜感、歌謡隨筆紅燈の影其他の隨筆集。	▲我國古來の風呂に就ての種々資料を収めたもので、風呂に關する文學篇外一篇。	▲甘露、血、赤雪、星、天女、天地其他を載。	▲政界好色病患者、没落富豪秘話、金色風雲録、	▲犬に關する隨筆で、風物篇(愛犬過去帳、犬の母性愛其他)雜景篇(軍犬手柄帳其他)殉國三代記、故郷よなつかし外四十九篇。	▲愛の花組曲、親馬鹿に榮光あれ、兩手のある丹下左膳、閑散無双外八篇。	▲愛の花組曲、親馬鹿に榮光あれ、兩手のある丹下左膳、閑散無双外八篇。	▲愛の花組曲、親馬鹿に榮光あれ、兩手のある丹下左膳、閑散無双外八篇。	▲ユーモア隨筆集「人のアラ世間のアラ」改訂増補版で、蒼蠅心理、異象を見て外四篇

東健而	秦豐吉	村田孜郎	濱野修	沖野岩三郎	甲賀三郎	長谷川伸	平山蘆江	平山蘆江	平山蘆江	土師清二	田中貢太郎	直木三十五
ユーモア・ナンセンス集	僕の彌次喜多	支那女人繪卷	酒・煙草・賭博	話題手帳	罪・探偵・人生	耳を掻きつゝ	藝者花曆	花柳行狀記	人間道場	晴釣雨稿	酒星	直木三十五隨筆集
布面四六 裝入判	布面四六 裝入判	上四六 裝入判	上四六 裝入判	上四六 裝入判	上四六 裝入判	上四六 裝入判	布面四六 裝入判	布面四六 裝入判	布面四六 裝入判	上四六 裝入判	布面四六 裝入判	布面四六 裝入判
352	371	139	508	523	271	320	223	299	290	273	403	638
一、 八〇〇	一、 八〇〇	一、 四〇〇	一、 二〇〇	一、 二〇〇	一、 〇〇	一、 二〇〇	二、 〇〇	二、 〇〇	二、 〇〇	二、 〇〇	二、 一四〇	一、 一四〇
一元社	三笠書房	文聖舎	出版之社	四條書房	新小説社	新小説社	岡倉書房	岡倉書房	岡倉書房	岡倉書房	學藝社	中央公論社
月二十	月六	月十	月六	月八	月六	月七	月五	月二十	月一十	月八	月六	月四
▲ナンセンス集に題す、海は笑ふ(ベチヤン)に參つた話)外五篇のナンセンス文學集。	▲安來ぶしの旅、伊勢、志摩、大阪の夜ざくら其他十二篇の紀行、漫文、隨筆を収む。	▲支那女性の生活變遷史である。	▲隨筆コト實話及び物語等を収めたもので、接吻、タバコ、黒色デカメロン外十七篇。	▲宗敬味と文藝、考へすぎる、座談・熊野のゆふべ、病中讀書、名題になるまで其他。	▲犯罪、探偵及びそれらが人生に交渉を持つ所に就て述べた隨筆集で、恐るべき犯罪其他	▲耳を掻きつゝ、昨事・今事、處女上演以來馬鹿囃子、宿無し官員其他より成る隨筆集。	▲藝者花曆、鳩、蛇、鹿、花柳信心帖、藝者商賣往來、名妓物語、藝者春げしき外五篇。	▲花柳行狀記、口腹自傳外一篇の花柳情話集。	▲馬賊仁義、書物、旅行・講演、恐妻人情話伊勢詣、街頭小景、九州を語る其他の隨筆集	▲魚味魚品、双傷、鎌倉三代、釣師氣質、青葉五十年忌、青蛙と秋其他の隨筆集。	▲雙川居、旬會、留守宅の俳趣其他の隨筆集。	▲人の事、自分の事、文壇風土記、劍法の起源、武勇傳雜話外三篇より成る隨筆集。

馬郡沙河子	井上雅二	青木實	山口青邨	深田久彌	小川未明	藏原惟人	吉田絃二郎	萩原井泉水	萩原井泉水	萩原井泉水	萩原井泉水	百田宗治
海濱隨想	詩と人の境	花の筵	花のある山	わが山	童話と隨筆	旅行記	行人	遍路と巡禮	春秋草紙	芭蕉を尋ねて	青天の書	道次ぐらし
並四六 製入判	布四六 製入判	上編 製判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	並四六 製判	並四六 製判	並四六 製判	並四六 製判	並四六 製判	並四六 製判	並四六 製判
308	412	47	386	324	338	211	221	500	370	567	299	241
一、五〇	二、五〇	六〇	二、四〇	二、四〇	一、〇〇	六〇	六〇	八五	二、〇〇	一、〇〇	三、〇〇	一、〇〇
樂園書房	日實社	大連詩部	龍星閣	改造社	日協會	文化集團社	改造社	創元社	岩波書店	創元社	文芸社	厚生閣
月六	月三	月二十	月一十	月二十	月九	月四	月六	月三	月一十	月九	月四	月九
▲一日の祈り、夢物語、かつら道樂、婦人も進んで離婚すべし、婦人遊藝法其他の隨筆集	▲過去四十年の詩作三百九十五首を年代順に羅列し當時の人と環境を回想し註釋したものに	▲父の原稿、喪服、馬車、土筆摘み、時計、大正十一年四月のこと外九篇の散文集。	▲泥棒と桐の花、木と草、みどり色の蜘蛛其他、雪中風景、早春雜記其他の隨筆集。	▲陸奥山水記、僕のリュック、サツク、軍服登山、吹雪く蔵王其他の隨筆、紀行を収む。	▲隨筆集の爲に精選してある著者の童話と隨筆を集めた書で、助け合つた鳥達外數十章	▲藝術、文化に關する論集で、藝術史の方法、雜信、ソツエイト旅行記の四篇。	▲七月の旅の心、草に寝てあれば、秋來る、雲靜かに湧けり、小夜の中山其他の感想集。	▲通路前後(合掌三昧、遍路となりて外一篇)觀音巡禮(巡禮となりて外五篇)の二篇。	▲春とどり、北海の夏、秋さまさま、南國の冬、古人風景、今昔風景の六篇の隨筆集。	▲伊賀に來て、大和を歩く、駿河を過て、三河を見る、尾張とこころ、外三篇。	▲俳誌「層雲」の巻頭に掲げた萩原氏の對自然其他に關する感想集。一並製二四一	▲直江津の芭蕉、羈旅小品、前垂の歌、問ひに答へて、是如燕村、小學教師其他の隨筆集

葛西善藏	武者小路實篤	有島武郎	石川啄木	樋口一葉	幸田露伴	Lafcadio Hearn	小泉一雄	文体社編	西山文雄	帝國大學新聞社編	蘆谷蘆村	富田木歩	
葛西善藏感想集	武者小路實篤雜感	有島武郎日記集	評論感想集	樋口一葉選集	幽秘記	Letters from Shimane and Kyushu	小泉八雲妖魔詩話	集筆文	西山文雄遺稿集	隨筆讀書と散步	童心は微笑む	木歩文	
布四六 製入判	布四六 製入判	布四六 製入判	布四六 製入判	布四六 製入判	布四六 製入判	布四六 製入判	布四六 製入判	布四六 製入判	布四六 製入判	布四六 製入判	布四六 製入判	布四六 製入判	
314	305	321	324	356	372	72	48	184	177	225	394	276	
四〇	四〇	四〇	四〇	六〇	六〇	五、〇〇	八、〇〇	一、五〇	五、〇〇	一、〇〇	一、三〇	一、三〇	
改造社	改造社	改造社	改造社	改造社	改造社	向日庵	小山書店	文体社	文藝汎論社	帝國大學新聞社出版部	協會出版部	素人社	
月九	月一	月七	月七	月二十	月九	月十	月九	月二	月八	月六	月十	月二十	
▲感想隨筆集で、醉狸州七席七題、不愉快な程度其他、日録、作品批評、人物記等卅二篇。	▲もと「感想」と題した人生に對する著者の感想集。	▲觀想錄から、最後の日記、遺された手帖からの三篇より成る有島武郎の日記集。	▲明治四十二年より四十五年までの評論感想を収めたもので、「スバル」第二號の消息其他	▲第二巻はかれ尾花、開樓、別れ霜、雪の日琴の音、大つこもり、この子外十三篇。	▲長篇運命を始め眞眞、師師、樓舟斷橋、水殿雲廊、共命鳥、一枝花、泥人、外六篇を収む	▲小泉八雲が松江及び熊本在住時代に英字新聞に寄せた見聞通信、從來未發表のもの。	▲狐火、離魂病、ろくろ頭、雪女外八篇。	▲雑誌「文体」の合本で、六月の鳥(柳田國男)本場もの(戸川秋骨)外三十三篇。	▲妖怪に關する狂歌並に戲畫を収めたもので	▲文藝論、葡萄の葉、秋の戀情、巴里目指して、巴里小景、その他翻譯十數篇を含む。	▲古本漁り(市河三喜)自殺論(澤村寅二郎)那智田樂(高野辰之)外三十篇の隨筆集。	▲不具、肺患、貧困、加ふに義務教育も受けざる俳人木歩の評論、研究、隨筆其他を収む	▲童話及び一般の教育問題に關する評論、感想、隨筆、創作、翻譯、研究等を収む。